

**生物多様性の観点から
重要度の高い湿地
〔重要湿地〕**

平成 28 年 4 月

環境省自然環境局自然環境計画課

目次

I. 「重要湿地」選定の目的.....	1
II. 選定の方法	2
1. 重要湿地の見直しの検討	
2. 共通の選定基準	
3. 生物分類群毎の選定の考え方	
III. 重要湿地リスト.....	9
1. リストの項目	
2. 湿地の括り方	
3. 絶滅危惧種情報等の取り扱い	
4. 湿地タイプの定義	
5. 重要湿地リスト	
IV. 重要湿地の現状.....	118
1. 全国的な湿地の現状	
2. 全国的な湿地の劣化要因	
3. 生物分類群毎の劣化要因	
4. 悪化傾向にある湿地の改善策	
[参考]よくある質問.....	130

I. 「重要湿地」選定の目的

湿原・干潟等の湿地の減少や劣化に対する国民的な関心の高まり、ラムサール条約における湿地定義の広がりなどを受けて、ラムサール条約登録に向けた礎とすることや生物多様性の保全の観点から重要な湿地を保全することを目的に「日本の重要湿地 500」が平成13年に選定結果が公表され、すでに10余年が経過している。

これまで、「日本の重要湿地 500」は、保護区の設定や開発案件における保全上の配慮を促す基礎資料として活用され、我が国の重要な湿地の保全を推進する役割を果たしてきた。例えば、北海道においては、「自然環境保全指針」を策定する際、重要湿地であることが重要な要素として公表され、自然環境保全に効力を発揮した事例がある。また、ラムサール条約の潜在的な候補地を選定する際や、環境アセスメントの基礎資料として活用された事例もある。

しかしながら、近年の湿地環境の急速な変化、特に東日本大震災の影響、人的開発行為や保全管理の不足等による湿地の劣化、地球温暖化や外来種の侵入に伴う湿地環境の変化などから我が国の重要湿地は、選定当時とは状況が大きく変貌しており、現状を踏まえた見直しの必要性が高まっている。また、自然環境行政に関する法律や制度の体系も進展しており、平成24年9月に閣議決定した「生物多様性国家戦略 2012-2020」において、「日本の重要湿地 500」を見直すことが基本戦略や行動計画に掲げられることとなった。

幾つかの湿地では、自然再生推進法に基づく自然再生の取組も行われるなど地域住民が当該湿地の貴重な生態系を意識した取組も進められており、情報を更新する意義は大きいものと考えられる。また、社会環境や自然環境の変化に対応して、生物多様性の確保、科学的基盤の強化や湿地の保全管理などの基礎的な情報として、「日本の重要湿地 500」を改定することで引き続き貢献していくことが望まれる。

こうした背景を受けて、環境省では地域住民等が湿地の重要性を認識し、湿地保全・再生の取組が活性化することを目指して、情報収集のための基礎調査を行い、生物多様性の観点から有識者の意見などを踏まえて、「日本の重要湿地 500」の見直しを検討することとなった。

II. 選定の方法

1. 重要湿地の見直しの検討

まずは、平成13年度の選定時の考え方を踏襲することを基本として既存の重要湿地リストを整理した。そして、専門的な知見を踏まえ湿地に関する有識者による重要湿地見直し検討会（以下、「検討会」とする。）を設け、地方公共団体からの意見なども踏まえて検討を進めた。陸水域から沿岸域にいたる16の生物分類群にそれぞれ詳しい23名の有識者（以下、「検討委員」とする。うち当初選定の検討委員12名を含む。）による検討会を平成26年度に3回にわたって開催した。

検討会では、選定の考え方や湿地情報の収集・整理方法などを話し合った。また、関係地方公共団体等からの意見聴取や一部の地域では有識者による現地調査も行った。

検討委員一覧

No.	氏名	所属	生物分類群
1	小林 光	水生生物保全協会 理事	委員長
2	*岩熊 敏夫	函館工業高等専門学校 校長	(1) 湿原植生
3	新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター 主任技術委員	
4	高田 雅之	法政大学人間環境学部 教授	
5	谷口 真吾	琉球大学農学部 教授	(2) マングローブ
6	田中 次郎	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科 教授	(3) 海草・海藻
7	*藤原 秀一	いであ株式会社沖縄支社 常務執行役員技師長	(4) 造礁サンゴ
8	*角野 康郎	神戸大学大学院理学研究科 教授	(5) 水草
9	河地 正伸	国立環境研究所 室長	(6) 淡水藻類
10	植田 睦之	バードリサーチ 代表	(7) シギ・チドリ類
11	*呉地 正行	日本雁を保護する会 会長	(8) ガンカモ類
12	金井 裕	日本野鳥の会 参与	(9) 湿地性鳥類
13	*細谷 和海	近畿大学大学院農学研究科 教授	(10) 淡水魚類
14	松井 正文	京都大学大学院人間・環境学研究科 教授	(11) 爬虫両生類
15	*亀崎 直樹	岡山理科大学生物地球学部 教授	(12) ウミガメ
16	苅部 治紀	神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員	(13) 昆虫類
17	西原 昇吾	東京大学大学院農学生命科学研究科 研究員	
18	*林 正美	埼玉大学教育学部 特任教授	

19	*諸喜田 茂充	琉球大学 名誉教授	(14) 甲殻類
20	*近藤 高貴	大阪教育大学教育学部 教授	(15) 淡水貝類
21	*五嶋 聖治	北海道大学大学院水産科学研究院 特任教授	(16) 底生動物
22	*風呂田 利夫	東邦大学 名誉教授	
23	*和田 恵次	奈良女子大学大学院自然科学系 教授	

(注) 所属は平成 26 年 9 月 1 日 (第 1 回検討会開催) 時点。*は、平成 13 年時の検討委員

(1) 第 1 回検討会

見直しの方針として、当初の選定基準を踏襲することを基本とすることや、湿地の保全・再生に役立つ基礎資料とすることなどについて合意形成を図った。

その他、生態系ネットワークの視点も必要に応じて考慮するとともに、湿地の劣化要因を「生物多様性の 4 つの危機」等の視点から分析し、どの様に湿地を保全・再生していけば良いのかを提言することとした。具体的な作業として、重要湿地情報の収集・整理、地方自治体等の担当者向けの現状カルテおよび位置図の整備などに取り組むことにした。

(2) 第 2 回検討会

「共通の選定基準」、「生物分類群毎の選定の考え方」の検討、湿地の現状分析、湿地の統合等の考え方を話し合った。また、保全・再生のための課題整理方針の検討等を行った。

各生物分類群別に見た湿地環境は選定当時と比較して、その過半が劣化傾向にあることが有識者からの情報により判明した。また、劣化傾向にある湿地の劣化要因について「生物多様性の 4 つの危機」に基づき整理したところ、開発などの人間活動が要因となっているものが過半を占めた。さらに、地方の行政組織や市民等の管理者や利用者を意識して、更なる劣化要因の分析と保全・再生のための課題を抽出することなどに取り組むこととなった。

(3) 第 3 回検討会

「共通の選定基準」、「生物分類群毎の選定の考え方」の確認や都道府県の担当者からのヒアリングや有識者、検討委員からのコメントなどを踏まえて、都道府県向け基礎情報、見直し後の重要湿地リストの整理状況を報告した。

多数の湿地が劣化傾向にあることを明らかにしたが、将来的な回復可能性を期待して再選定する湿地も含まれることや、以前よりも湿地環境が改善している湿地があることなども現状カルテに含めることとした。一方、絶滅危惧種の種名と位置情報がセットで公開された場合には乱獲リスクが急増することにも留意する必要があることから、見直し結果の公表については慎重に対応することにした。

2. 共通の選定基準

「生物多様性の確保」が、自然公園法など環境関連法の改正の際に、「目的」に追加されるなどといった社会背景の変化も考慮すべきことを踏まえ、選定基準を確認した。そして、当初の選定基準は、生物多様性の観点から選定基準を定めており、当初の湿地環境の経年変化を同様の観点から見る必要があることから当初の選定基準を踏襲することを基本とした。

共通の選定基準

選定基準	内容
基準 1	湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟・砂浜・マングローブ湿地、藻場、サンゴ礁等の生態系のうち、生物の生育・生息地として典型的または相当の規模の面積を有している場合
基準 2	希少種、固有種等が生育・生息している場合
基準 3	多様な生物相を有している場合（ただし、外来種を除く）
基準 4	特定の種の個体群のうち、相当な割合の個体数が生育・生息する場合
基準 5	生物の生活史の中で不可欠な地域（採餌場、繁殖場等）である場合

3. 生物分類群毎の選定の考え方

この基準は、「共通の選定基準」を補うものである。生物分類群によっては、とくに基準に加えて、選定する際の留意事項を記した場合もある。選定にあたっては、情報提供者や地方自治体等から提供された知見や情報に基づき、下記の考え方等を参考にして各専門分野の検討委員が作業にあたった。

（1）湿原植生

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 湿原植生として典型的または相当の規模の面積を有している。
- ② 希少種、固有種等が生息している。
- ③ 多様な生物相を有している。

なお、選定にあたっては、以下の点にも留意する。

- 湿原、湧水湿地、雪田草原、河口干潟のある河口域、潟湖干潟のある汽水湖沼を対象とする。
- 小規模であっても保全上重要な湿地については対象とする。

(2) マングローブ

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① マングローブ生態系を代表する特異的な生態を有する塩生植物を主体に、固有的なマングローブ植物が汽水域に分布を呈している。
- ② マングローブ樹種の希少分布地である。
- ③ マングローブ樹種の絶滅危惧種が生育する。
- ④ マングローブ生態系の生物多様性が高い群落である。
- ⑤ ラムサール条約による湿地の分類に該当する。
- ⑥ 当該地域に過去から潜在分布し、現在も在来種として生育分布するマングローブ樹種が種ごとに一定規模（面積的な広がり）を有する健全な群落が成立する。
- ⑦ 当該地域に生育するはずのない（あるいは、過去に生育が確認されていない）マングローブ種が生育分布していない。また、マングローブの国内外来種が生育していない。

(3) 海草・海藻

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 各海域を代表する典型的な藻場であると判断できる。
- ② 特定の地域に限定された種が藻場を形成している。
- ③ 単一種が大規模な藻場を形成している。
- ④ 種の多様性が高い藻場が形成されている。
- ⑤ 従前の情報がある程度存在し、今後も長期調査が可能である。

(4) 造礁サンゴ

サンゴ群落も含むものとし、多くの種が生息し、礁池、礁湖、礁斜面、海草藻場、マングローブなど多様な生態系が存在することを基本とする。

なお、選定にあたっては、以下の点にも留意する。

- サンゴ群落の盛衰。
- 幼生加入の有無や、無性生殖のみで繁殖の可能性。

(5) 水草

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 種の多様性が高い。
- ② 希少種や絶滅危惧種が生息する。
- ③ 典型的な植生を特徴とする。
- ④ 他所に類を見ない水草の生息地である。

なお、選定にあたっては、以下の点にも留意する。

- 周辺の環境が変容しつつある。

- これまでの調査が不十分で、今後の調査を要する。
- 良好な生息環境が残されている。
- 生育地の保全に急を要する。

(6) 淡水藻類

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 絶滅危惧種や日本固有種の生育地である。
- ② 特定の種が生息する唯一の生育地である。
- ③ 野生絶滅種の復元の可能性が認められる。
- ④ 淡水産藻類の群集構成に際立った特徴が認められる生育地である（例えば、種の多様性が高い場合、複数の希少種が生育する場合、単一種の大規模群集が認められる場合など）。

なお、選定にあたっては、以下の点にも留意する。

- 生息環境や群集構成が安定している。
- 地理的分布上の特徴がある。
- 一部の地域にまとまった群集を形成している。

(7) シギ・チドリ類

以下の項目について多く該当する湿地を選定した。

- ① シギ・チドリ類の観察個体数が多い。
- ② 主要種の観察個体数が推定個体数の1%以上ある。
- ③ 日本で繁殖する主要種の観察個体数が多い。
- ④ 日本で越冬する主要種の観察個体数が多い。
- ⑤ 日本を渡りの中継地として利用する主要種の観察個体数が多い。

(8) ガンカモ類

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① レッドリスト掲載種が渡来する。
- ② 大規模な越冬地（水田も含む）、あるいは中継地である。
- ③ 規模が大きなくても重要な越冬地である。
- ④ 渡りの過程での重要な中継地である。
- ⑤ 越冬地からの分散先である。
- ⑥ レッドリストまたは天然記念物の掲載種の、重要な個体群の繁殖地である。

なお、選定にあたっては、以下の点にも留意する。

- 周辺の環境が開発の危機に瀕している。

(9) 湿地性鳥類

シギ・チドリ類とガンカモ類を除く、その他の湿地性鳥類を対象とする。以下の湿地に依存する絶滅の恐れのある鳥類について、以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 以下の種のいずれかの重要な営巣地となっている。
(カンムリカイツブリ、タンチョウ、チュウヒ、オオジシギ、オオセッカ、ベニアジサシ、エリグロアジサシ、コアジサシ(継続的に営巣))
- ② 以下の種のいずれかの観察個体数が推定個体数の1%以上ある。
(クロツラヘラサギ、マナヅル、ズグロカモメ)
- ③ 以下の種のいずれかの重要な越冬地となっている。
(クロツラヘラサギ、ナベヅル、マナヅル、オオバン、ズグロカモメ、チュウヒ)
- ④ クロツラヘラサギの重要な渡りの中継地となっている。

(10) 淡水魚類

汽水魚類も含むものとし、以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 種の多様性が高い。
- ② 固有種(亜種を含む)の生息地である。
- ③ 絶滅危惧種(亜種を含む)の生息地である。
- ④ 淡水魚類の生息地として特異な環境である。

(11) 爬虫両生類

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 固有種(亜種を含む)の生息地である。
- ② 絶滅危惧種(亜種を含む)の生息地である。
- ③ 爬虫両生類の生息地として特異な環境である。

(12) ウミガメ

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 重要な産卵場およびその沖合に隣接する水深6メートル以浅の海域である。
- ② ウミガメ類が餌場になっている海域で水深6メートル以浅の海域である。

(13) 昆虫類

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 種の多様性が高い、あるいは生息個体数が多い。
- ② 希少な種が生息する。
- ③ 昆虫類の生息地として希少な環境である。

- ④ 昆虫類の生息地として特異な環境である。

(14) 甲殻類

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 種の多様性が高い。
- ② 固有種（亜種を含む）の生息地である。
- ③ 絶滅危惧種（亜種を含む）の生息地である。
- ④ 甲殻類の生息地として特異な環境である。

(15) 淡水貝類

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 種の多様性が高い。
- ② 絶滅危惧種（亜種を含む）の生息地である。

なお、選定にあたっては、以下の点にも留意する。

- 特定地域に偏らないようにする。
- 水田、用水路、ため池などの生息地についても対象とする。

(16) 底生動物

以下の項目のいずれかを満たすことを基本とする。

- ① 種の多様性が高い。
- ② 希少な種が生息する。
- ③ 地理的分布の特異性から重要である。

Ⅲ. 重要湿地リスト

1. リストの項目

重要湿地リストに整理した情報の項目は以下のとおりである。

(1)番号、(2)湿地名、(3)都道府県、(4)市町村、(5)湿地タイプ（「4. 湿地タイプの定義」を参照のこと。）、(6)生息・生育域、(7)生物分類群、(8)選定理由、(9)選定基準（共通の選定基準に該当する1～5のいずれか、あるいは複数で示される。）

2. 湿地の括り方

「日本の重要湿地 500」では、複数の生物分類群で同一の湿地が選定されている場合には、これらをまとめて1ヶ所の湿地とした。また、同一でなくても近在して湿地群と見なせる場合には1ヶ所にまとめた。

今回の見直しでも、「日本の重要湿地 500」の括り方に準じ、同一地域において複数の湿地が存在する場合、生態的な関連性のほか地形や水系なども考慮して括る方向で作業を進めた。この方針で進めたのは、各生物分類群で選ばれた小規模な湿地が集まって、「重要湿地」が成り立っているという考えに基づいている。

例えば、「東京湾の干潟・浅瀬」といった大きく括った湿地は、「富津干潟」や「三番瀬」といった生息・生育域からなり、そこには「シギ・チドリ類」や「底生動物」などの生物分類群が生息・生育している。重要湿地リストでは、このように近隣の幾つかの湿地をまとまりとして捉えて示している。

なお、生息・生育域が複数の小規模な湿地で成り立っている場合、それらを括ることで、小規模な湿地が伏せられて表記上の生息・生育地の重要性が低くならないように、保全上重要な湿地や特記事項がある湿地については、選定理由欄に【 】で個別の湿地名を表記した。

3. 絶滅危惧種情報等の取り扱い

一般に、絶滅危惧種の種名と位置情報がセットで公表された場合に、乱獲および過剰採取のリスクが高まる。そこで、選定理由に記された種名と、市町村名等の記載内容を、各生物分類群の担当検討委員及び都道府県の自然環境担当部局等に照会し、情報の加除・修正を行った。

同一種であっても、生息・生育する地域により、絶滅の危険性が異なるため、地域ごとに個別に情報の取り扱いを検討した。

4. 湿地タイプの定義

- 高層湿原：泥炭が多量に蓄積されて周囲よりも高くなったために地下水では涵養されず、雨水のみで維持されている貧栄養な湿原。
- 中間湿原：雨水のみによって植生が維持されている高層湿原と、地下水で涵養され植生が維持されている低層湿原との中間の性質を持つ湿原。
- 低層湿原：地下水位が高いため、地下水によって直接涵養されている湿原。湖沼や河川の近くに成立する。
- 雪田草原：高山に堆積した雪がいつまでも残っている地域に形成された草原。
- 河川：地表をほぼ一定の流路をもって水が流れ、湖や海に注ぐもの。
- 淡水湖沼：さまざまな原因で地表につくり出された窪地に自然に水のたまった水域のうち、汽水でないもの。
- 汽水湖沼：汽水（河川などから流出する淡水と、海洋の海水とが混合して形成される中間的な塩分濃度の水体）をたたえた湖。
- 汽水域：汽水が恒常的に、あるいは季節的に存在する河口域や内湾。
- 干潟：干潮時に沿岸域に現われる、砂や泥がたまった場所。内湾や入江など、外海の波の影響が少なく、河川が流れ込み砂や泥を運んでくる場所にできる。
- 塩性湿地：海岸部の潟湖や河口部において高濃度の塩分の影響を受けるところで、塩分耐性の強い植生を主体とする湿地。
- 藻場：海岸域などで水生植物群落が生育する場所。
- 砂浜：砂の堆積した海岸。
- 浅海域：水深の浅い海域（低潮時における水深が概ね6 mを超えない海域）。
- サンゴ礁：主として造礁サンゴや海藻類・海綿類・有孔虫などの造礁生物の死骸が堆積し、海底から海面近くまで突出する石灰岩でできた地形。サンゴ群落を含める。
- マングローブ湿地：熱帯、亜熱帯の河口や海水から汽水域の海岸（潮間帯）に成立する樹木を含む湿地。
- 水田：水を引き入れて水稻などを栽培する耕地。
- 休耕地：かつて水稻栽培がおこなわれていたが、現在は何らかの理由で水稻の作付けが行われていない水田。
- ため池：降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域などで、農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造成された池。
- 水路：水田の灌漑などを目的として水を送るために人工的に整備された小河川。
- 湧水：地下水が透水層と難透水層との境、岩盤の割れ目、断層線などから地表に自然湧出する水。
- 湧水湿地：湧水によって形成される比較的小規模な湿地の集合体。
- その他湿地：上記のいずれにも該当しない湿地、もしくはいずれに該当するか不明な湿地。地下水系、水田以外の農地、ダム湖など。

5. 重要湿地リスト *印は、新規に追加された生物分類群であることを示す。

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
1	利尻島湿地群	北海道	利尻郡利尻富士町	中間湿原, 低層湿原	利尻島湿地群(オ タドマリ沼, クネトミ 種 富湿原など)	湿原植生	アカエゾマツ林床を中心に成立する亜寒帯の典型的な湿原植生。 【オタドマリ沼, 沼浦湿原】ヨシ群落, ヨシーヌマガヤ群落, アカエゾマツークマ イザサ群落. 林床にイソツツジ, ハイイヌツゲ, ミツバオウレンなどが生育する。 【南浜湿原】アカエゾマツ林, ワタスゲーミズゴケ群落, ヤマドリゼンマイ群落な ど. ホロムイイチゴ, イソツツジ, ツルコケモモが生育する。	1
2	利尻島・礼文島周 辺沿岸	北海道	利尻郡利尻 町・利尻富士 町, 礼文郡礼文 町	藻場	利尻島・礼文島沿 岸	海草・海藻	典型的なリシリコンブの大きな群落が形成される。ワカメの北限域であり, 多様な 生物相を有する。	1,3,4
3	クシュ 久種湖	北海道	礼文郡礼文町	低層湿原, 淡水湖沼, 河川	久種湖および後 背湿地	湿原植生*	ミズバショウ群落およびヨシ群落を中心とした低層湿原で, 砂丘でせき止められた 海跡湖に成立した国内最北の湿原の一つ。	1
					大備川	淡水貝類*	コガタカワシンジュガイの生息地。	2
4	メグマ沼湿原, コエトイ 声問大沼・声問 川	北海道	稚内市	中間湿原, 低層湿原, 淡水湖沼, 河川	メグマ沼湿原, 声 問大沼・声問川	湿原植生	久種湖と並び国内最北の湿原の一つ。ワタスゲ, エゾゼンテイカが優占する。ヨシ ーイワノガリヤス群落。ハンノキ林など。ガンコウラン, ヒメシャクナゲが生育す る。	1,3
					声問大沼	ガンカモ類	コハクチョウの渡来地。	4
					声問川	淡水魚類	イトウの生息地。	2
5	サルフツ 猿 払原野	北海道	宗谷郡猿払村	高層湿原, 中間湿原, 低層湿原, 淡水湖沼, 河川, 汽水湖沼, その他湿地	アサジノ 浅茅野湿原, 猿払 サルコツ 川, 猿 骨沼, モ ケウニ沼, カムイ ト沼, 瓢箪沼, 砂 丘間湿地	湿原植生	北オホーツク沿岸湿原の原形を残す重要な湿原。湿原に生育するアカエゾマツ林が とくに貴重, 湿原のケヤマハンノキ林も珍しい。ヒメタヌキモ, イトモ, エビモ類 などきわめて多様な水生植物が生育する。 【カムイト沼】タテヤママリモが生育する。	1,2,3
					猿払原野湖沼群 (ポロ沼, カムイ ト沼など)	水草	北海道北部の腐植栄養湖の植生の典型。	1
					ポロ沼, 猿骨沼	ガンカモ類	コハクチョウ, ヒシクイ (亜種オオヒシクイ) の渡来地。	4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					チライベツ 知来別川, オニシベツ 鬼志別川, 猿骨 川, 猿払川など大 小河川と周辺湖 沼群	淡水魚類	イトウの生息地. カラフトマスの自然産卵も見られる.	2
					北オホーツク湖 沼群	昆虫類*	【浅茅野湿原, 猿払川, モケウニ沼, カムイト沼など】低層・中間・高層の各湿原に加えて, 湖沼, 河川, 海浜, 岩場 (ガレ場) などさまざまな環境が存在するため, 種の多様性が高い. セスジアカガネオサムシ, ウスイロナガケシゲンゴロウなどの記録がある. ガ類では高山性のイソツツジノメムシガ, 湿地性のモウセンゴケトリバ, 北方系のゴマフヒメウスキヒゲナガなどが記録されている.	2,3
					猿払川	淡水貝類	種の多様性が高い (北方系貝類要素). カワシンジュガイ類, ミズシタダミ類, マメシジミ類の生息地.	2,3
					猿払原野湖沼群 (ポロ沼, モケウ ニ沼など)	底生動物	ヒメシラトリガイなど汽水性ベントスの生息地.	1
6	クッチャロ湖	北海道	枝幸郡浜頓別 町	低層湿原, 汽水湖沼	クッチャロ湖(ポ ン沼を含む), トンベツ 頓別原野, ベニ ヤ原生花園	湿原植生	ヨシーイワノガリヤス群落, ヤチヤナギムジナスゲ群落, ヤラメスゲ群落などの低層湿原植生と湿原に生育するアカエゾマツ林およびハンノキ林. 【ベニヤ原生花園】湿地植生と海浜植生が混合している. 【頓別原野】ナガバノモウセンゴケの生育地	1
					クッチャロ湖	ガンカモ類	コハクチョウの渡来地.	4
					クッチャロ湖	湿地性鳥類*	チュウヒ, タンチョウの繁殖地.	2
					ベニヤ原生花園	爬虫両生類*	氷河期の遺存種 (特定の地域に局地的に取り残されるようになった生物種) であるコモチカナヘビの生息地.	2
					クッチャロ湖	底生動物	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地. イトウ (淡水魚類) が捕獲されることもある.	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
7	サロベツ原野	北海道	天塩郡豊富町・幌延町・天塩町など	高層湿原, 中間湿原, 低層湿原, 淡水湖沼, 河川, その他湿地	サロベツ原野	湿原植生	【サロベツ湿原, 長沼湖沼群, ペンケ沼, パンケ沼, 兜沼】サロベツ湿原は国内最大の高層湿原であり, ホロムイイチゴイボミズゴケ群落などにナガバノモウセンゴケ, ツルコケモモ, ヒメシャクナゲをはじめ多種の湿原植物が生育. 湖沼にはオゼコウホネ, ネムロコウホネ, コウホネ, オヒルムシロ, ジュンサイ, ヒシなど多種の水生植物群落が分布. 長沼湖沼群にアカエゾマツ林, 砂丘植生としてトドマツ, ミズナラ林が成立.	1,3
					サロベツ海岸湖沼群	水草	稚咲内砂丘に成立した湖沼群. コウホネ類などの生育地.	1
					長沼湖沼群, ペンケ沼, 兜沼, 旧天塩川および周辺農地	ガンカモ類	オオハクチョウ, コハクチョウ, ヒシクイ (亜種オオヒシクイ), マガンの渡来地. ミコアイサ, アカエリカイツブリの繁殖地.	2,4
					サロベツ原野	湿地性鳥類*	チュウヒ, タンチョウ, ツメナガセキレイ, シマアオジ, オジロワシの繁殖地.	2
					サロベツ川など サロベツ原野の 河川, 湖沼	淡水魚類	イトウ, エゾホトケドジョウの生息地.	2
					サロベツ原野	爬虫両生類	コモチカナヘビの生息地.	2
					サロベツ原野	昆虫類	チャバネエンマコガネ, カラフトマルガタゲンゴロウ, イイジマルリボシヤンマ, カラカネイトトンボ, サロベツナガケシゲンゴロウの生息地.	2
					サロベツ原野湖沼群 (パンケ沼, ペンケ沼など)	底生動物	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地.	1
					8	テシオ 天塩川	北海道	天塩郡天塩町・幌延町・豊富町, 中川郡中川町・音威子府村・美深町, 名寄市, 上川郡下川町
天塩川河口	底生動物	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地.	1					

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
9	中峰の平湿原	北海道	天塩郡幌延町	高層湿原	中峰の平湿原	湿原植生*	多雪地の貧栄養ミズゴケ湿原であり、湿原内はアカエゾマツが生育する。ヌマガヤーミズゴケ群落。	1
10	松山湿原およびピヤシリ湿原	北海道	中川郡美深町、紋別郡雄武町	高層湿原	松山湿原およびピヤシリ湿原	湿原植生	亜寒帯に成立する典型的な山地湿原植生。 【松山湿原】ミネハリイワタミズゴケ群落、ミガエリスゲームラサキミズゴケ群落、イソツツジーチャミズゴケ群落など。 【ピヤシリ湿原】ホロムイソウミカヅキグサ群落、ムラサキミズゴケ群落など。ホロムイイチゴ、エゾゴゼンタチバナ、ガンコウランなどが生育する。	1
					松山湿原	昆虫類	トンボ類が豊富で、トリキンバエが生息する。	3
11	コムケ湖	北海道	紋別市、紋別郡湧別町	低層湿原、汽水湖沼、塩性湿地	コムケ湖(湖口湿原などを含む)	湿原植生	亜寒帯に成立する臨海低湿地植生。ハンノキーヨシ群落、オオカサスゲ群落、ガマ群落、フトイ群落、ミツガシワ群落、オニビシ群落。	1
					コムケ湖	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。オオジシギの主要な繁殖地。アカエリヒレアシシギ、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ハマシギ、ヘラシギ、セイタカシギ、ホウロクシギなどの渡来地。	2.3.4
					コムケ湖	ガンカモ類	オオハクチョウ、ヒシクイ(亜種オオヒシクイおよび亜種ヒシクイ)、オナガガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、オカヨシガモなどの渡来地。	4
					コムケ湖	湿地性鳥類*	チュウヒの繁殖地。	2
					コムケ湖	底生動物	カキ、ホッカイエビなどの生息地。	1
12	シブノツナイ湖	北海道	紋別市、紋別郡湧別町	汽水湖沼	シブノツナイ湖	ガンカモ類	オオハクチョウ、ヒシクイ(亜種オオヒシクイおよび亜種ヒシクイ)、オナガガモ、ヒドリガモの渡来地。	2,4
					シブノツナイ湖	底生動物	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地。	1
13	サロマ湖	北海道	北見市、常呂郡佐呂間町、紋別郡湧別町	汽水湖沼、塩性湿地、干潟、藻場	サロマ湖	湿原植生	塩沼地植生(アッケシソウ、ウミミドリ、オオシバナ、ウシオツメクサ、ハマシオンの群落)。海岸草原群落はハマナス、エゾゼンテイカなどの群落とエゾノコリンゴ群落。	1
					サロマ湖	海草・海藻	大規模な潟湖性アマモ場。広大なアマモ群落。	1
					サロマ湖	底生動物	湖底にはカキ礁遺骸が存在。ホタテガイ、ホッカイエビ、カキの生息地。塩生植物のアッケシソウ自生地周辺にはアリアケモドキが生息する。	1,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
14	ノトロ 能取湖	北海道	網走市	低層湿原, 塩性湿地, 汽水湖沼, 干潟, 藻場	能取湖	海草・海藻	スゲアマモの広大な海草藻場で, 分布は湖内の西岸. 大規模なスゲアマモの単純群落. その他, アマモ, コアマモの群落がある.	1,2
					能取湖	ガンカモ類	オオハクチョウ, ヒシクイ (亜種ヒシクイ) の渡来地.	2,4
					能取湖	底生動物	ホタテガイ, ホッカイベビの生息地. アッケシソウが生育する広大な塩性湿地を擁し, 周辺にはアリアケモドキが生息する.	1,3
15	網走能取岬周辺 沿岸	北海道	網走市	藻場	網走能取岬周辺 沿岸	海草・海藻*	オホーツク海沿岸の典型的な藻場生態系で, 流氷の影響を定期的にすることによる特徴的な生物相, 生態系を有する.	1
16	網走湖	北海道	網走市, 網走郡 大空町	低層湿原, 汽水湖沼, 干潟	網走湖	湿原植生	【湖周囲の低層湿原, 呼人地区の湿性林を含む】 ^{ヨビト} 女満別側には大規模なハンノキミズバショウ群落がある. ヤチダモ, ハルニレ, エゾノウワミズザクラ, エゾイラクサ, クサソテツ, オニシモツケ, オオバナノエンレイソウなどの生育地.	1
					網走湖	湿地性鳥類	タンチョウの繁殖地.	2
					網走湖	底生動物	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地.	1
17	モコト 藻琴湖 および トウツツ 濤沸湖	北海道	網走市, 斜里郡 小清水町	低層湿原, 塩性湿地, 汽水湖沼, 干潟, 藻場, その他湿地	濤沸湖	湿原植生	塩沼地にオオシバナ, ホソバノシバナ, エヅツルキンバイの群落, 淡水湿地にヨシ群落, ヤラメスゲ群落, ヌマガヤヤチヤナギ群落, ハンノキ林が形成される.	1
					濤沸湖	海草・海藻	コアマモの生育地として相当の規模の面積を有している.	1
					濤沸湖	ガンカモ類	ヒシクイ (亜種ヒシクイ), オオハクチョウ, ヒドリガモ, ミコアイサ, カワアイサ, ウミアイサの渡来地.	2,4
					藻琴湖, 濤沸湖, 小清水原生花園	湿地性鳥類	タンチョウ, チュウヒの繁殖地.	2
					小清水原生花園	昆虫類	カラフトキリギリス, アカメイトトンボ, カラフトシマケシゲンゴロウ, アナバネコツブゲンゴロウの生息地.	2
					藻琴湖, 濤沸湖など	底生動物	ヤマトシジミ, カキなどの生息地. 【藻琴湖】 広大な塩性湿地が広がり, その周辺にはアリアケモドキが生息する. 【濤沸湖】 アサリが生息する.	1
18	ガッタンコ湿原	北海道	斜里郡斜里町	高層湿原, 中間湿原	ガッタンコ湿原	湿原植生*	砂丘間の低地にミズゴケツルコケモモ群落, ミズゴケヤチヤナギ群落. キタヨシ, ヤナギトラノオ, ホザキシモツケなどの生育地.	1,2
19	知床半島サケ・カラフトマス遡上 河川群	北海道	斜里郡斜里町, 目梨郡羅臼町, 標津郡標津町	河川	知床半島サケ・カラフトマス遡上 河川群	淡水魚類	サケ, カラフトマスの自然産卵が見られる遡上河川.	1,5

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
20	知床半島山稜湿原	北海道	目梨郡羅臼町	高層湿原	知床半島山稜湿原	湿原植生	【羅臼湖岸とその周辺に点在する小湿原】 ミズドクサ群落, ヤラメスゲ群落など. 【二ツ池】 ヤチスゲ群落, チングルマーイボミズゴケ群落, タカネクロスゲ群落, ミネズオウクロマメノキ群落. 【知床沼高山湿原】 チングルマーイボミズゴケ群落.	1
21	知床半島東部沿岸	北海道	目梨郡羅臼町	藻場	知床半島東部沿岸	海草・海藻	希少種を含むコンブ目の複数種と, その他の海藻は暖寒両系から成り, 生態的景観に優れる. 国後島・択捉島に分布する種との関連性が深い.	1,2,3
22	ノツケ 野付半島, 野付 オダイトウ 湾, 尾岱沼	北海道	標津郡標津町, 野付郡別海町	低層湿原, 塩性湿地, 藻場	野付半島, 尾岱沼	湿原植生	塩沼地植生は, オオシバナ, ウミミドリ, ウシオツメクサ, エゾツルキンバイの群落, 淡水湿地は沼沢湿原. フトイ群落, サジオモダカ群落など. ワタスゲ群落にはムラサキミズゴケ, イソツツジ, チシマガリヤス, ヤチカワズスゲなどが生育する.	1
					野付湾	海草・海藻	広大でよく発達したアマモとオオアマモの群生地.	1,3
					野付崎, 尾岱沼	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い. キョウジョシギ, キアシシギ, ダイゼンなどの渡来地. アカアシシギ, オオジシギの主要な繁殖地.	2,3,4
					野付湾	ガンカモ類	オオハクチョウ, コクガン, スズガモ, ホオジロガモ, ヒドリガモの渡来地.	2,4
					野付半島と近隣河川	湿地性鳥類	タンチョウ, チュウヒの繁殖地.	2
					イチャニ トウホロ 伊茶仁川, 当幌 川, 春別川	淡水魚類	イトウ, ヤチウグイ, エゾトミヨの生息地.	2
					野付湾, 尾岱沼	底生動物	ホッカイエビ, アサリなどの生息地.	1
23	シベツ 標津湿原	北海道	標津郡標津町, 中標津町	高層湿原, 河川	標津湿原	湿原植生	イソツツジ・チャミズゴケ群落, スマガヤ・チャミズゴケ群落など. エゾゴゼンタチバナ, ガンコウランなどが多く生育する.	1
					標津湿原	湿地性鳥類	【ポー川, 標津川, 当幌川などの流域】 タンチョウの繁殖地.	2
					標津川	淡水魚類	イトウ, ヤチウグイの生息地.	2
24	バラサントウ 茨散沼湿原, カネヤントウ 兼金沼・西別 川湿原	北海道	野付郡別海町	低層湿原, 中間湿原, 高層湿原, 淡水湖沼, 河川	茨散沼湿原, 兼金沼・西別川湿原 (ヤチカンバ群落を含む)	湿原植生	【茨散沼湿原】 低層湿原でヨシーイワノガリヤス群落とヤチヤナギームジナスゲ群落など. 茨散沼にはフトイ群落, マコモ群落, ジュンサイなどの水生植物群落. 【兼金沼・西別川湿原】 西別川流域の兼金沼, 西別小沼とその周辺には広大な湿原が残存する. 西別川上流域にはヤチカンバが隔離分布し, カンチスゲ, ノルグスゲなど希少種が生育する湿原もある.	1,2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					茨散沼湿原, 兼金沼・西別川湿原	湿地性鳥類	タンチョウの繁殖地.	2
					トコタン床 丹川, 西別川	淡水魚類	イトウ, ヤチウグイの生息地.	2
25	根室半島湿原群	北海道	根室市	高層湿原, 低層湿原, 淡水湖沼	根室半島湿原群 (根室半島湿原, ホロニタイ・フレシマ湿原, 丹根沼, オンネ沼, 南部沼, 長節沼, 落石岬湿原, 落石西湿原, 落石湿原)	湿原植生	【歯舞の台地】高層湿原が発達している. 主要な植生はヌマガヤイボミズゴケ群落とイソツツジ-チャミズゴケ群落などで, ガンコウラン, イソツツジなどが生育する. 【落石岬とその周辺台地の湿原植生】アカエゾマツ林のほか, ヌマガヤイボミズゴケ群落, イソツツジ-チャミズゴケ群落, 落石岬にはサカイツツジが隔離分布する. 【海岸低地湖沼周辺の湿地】ヨシーイワノガリヤス群落とヤチヤナギ-ムジナスゲ群落を中心とする低層湿原. 水辺にはヤラメスゲ群落やフトイ群落, ガマ群落, その他水生植物群落.	1
					南部沼, オンネ沼, 長節沼	水草	ネムロコウホネ, 沈水性ヒルムシロ属などの種の多様性が大きい. 【南部沼, オンネ沼】環境が悪化しておらず, 道東本来の湖沼植生が残る.	1,3
					根室半島湿原群	湿地性鳥類	【フレシマ湿原, タンネ沼・オンネ沼, ヒキウス沼, 沖根辺沼, ホロニタイ・フレシマ湿原】タンチョウの繁殖地.	2,4
					根室半島高層湿原群	昆虫類	【別当賀川河口, 西落石湿原, 落石湿原, 落石岬, 温根別川流域, 昆布盛湿原, 西和田湿原, 双沖湿原, 婦羅理湿原, 歯舞湿原, タンネ沼, オンネ沼など】低地にもかかわらず, 高山性, 亜寒帯性昆虫類が数多く生息している. イイジマルリボシヤンマ, キタミズカメムシ, アナバネゴミムシ, ビリカチビゴミムシ, オクエゾクロマメゲンゴロウ, ノサップマルハナバチ, ヒメアミメトビケラ, コスギハマキ, イソツツジノメムシガ, シロマダラヒメハマキ, ホッキョクモンヤガなどが記録されている. カラフトルリシジミが高層湿原群のほとんどに生息している.	2,3
					根室半島湿原群	淡水貝類	種の多様性が高い (北方系貝類要素). ミズシタダミ類, マメシジミ類の生息地.	2,3
26	根室湾干潟	北海道	根室市	干潟	根室湾干潟	底生動物	砂質の干潟. オオノガイ, ウバガイなどの生息地.	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
27	フウレン 風蓮湖, シュンクニタイ 春国岱, オンネトウ 温根沼および周 辺湿原群	北海道	根室市, 野付郡 別海町, 厚岸郡 浜中町	低層湿原, 塩性湿地, 汽水湖沼, 河川, 藻場	風蓮川湿原	湿原植生	【風蓮湖に注ぐ風蓮川下流域に広がる湿原】規模が大きく、かつ人為の影響が比較的少ない湿原。ヨシーイワノガリヤス群落, ハンノキ林を主体とする低層湿原であるが, ムラサキミズゴケ, ワラミズゴケなど多種のミズゴケハンモックの群落が生ずる。 【湿原中心部】イソツツジーチャミズゴケ群落は分布し, チャミズゴケハンモックが著しく発達している。クシロハナシノブ, チシマガリヤスなどが生育する。	1
					走古丹湿原	湿原植生	風蓮湖北岸, 西別川下流域の広大な湿原。ヌマガヤイボミズゴケ群落, イソツツジーチャミズゴケ群落など。	1
					風蓮湖湿原, 春国岱, 温根沼	湿原植生	オオシバナ群落, ヒメウシオスゲ群落など。ほかに, ウミミドリ, ウシオツメクサなどが生育する。淡水湿地にはフトイ群落, ガマ群落, ヨシーチシマガリヤス群落など。アカエゾマツ林(林床はミズバショウが優占)が形成される。	1
					風蓮湖	海草・海藻	広大な干潟と, アマモやコアマモからなるアマモ場が形成される。	1
					温根沼	海草・海藻	コアマモの生育地として相当規模の面積を有している。	1
					風蓮湖	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。ミヤコドリ, メダイチドリ, キアシシギ, キョウジョシギ, ツルシギ, アオアシシギ, ハマシギ, ヘラシギ, セイタカシギ, ホウロクシギなどの渡来地。アカアシシギ, オオジシギの主要な繁殖地。	2,3,4
					風蓮湖, 温根沼	ガンカモ類	オオハクチョウ, ヒシクイ(亜種ヒシクイ), コクガン, ヒドリガモ, オナガガモ, スズガモ, ホオジロガモの渡来地。	2,4
					風蓮湖および周辺湿地	湿地性鳥類	【風蓮湖, 春国岱, 走古丹湿原, 温根沼, 風蓮川とその支流, ヤウシュベツ川, ポンヤウシュベツ川】 ^{ハシリコタン} タンチョウの繁殖地。	2,4
					風蓮川	淡水魚類	イトウ, ヤチウグイの生息地。	2
					風蓮湖 温根沼	底生動物 底生動物	アサリ, オオノガイ, エゾタマキビなどの生息地。 アサリ, キタユムシなどの生息地。	1 1
28	ユルリ島湿原	北海道	根室市	高層湿原	ユルリ島湿原	湿原植生	クロマメノキーチャミズゴケ群落, ムジナスゲーワタスゲ群落など。クロマメノキ, ガンコウラン, リシリビヤクシンなどが生育する。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
29	キリタツブ <small>ボロト</small> 霧多布湿原・幌戸 湿原および地先 沿岸	北海道	厚岸郡浜中町	高層湿原, 汽水湖沼, 河川, 藻場	霧多布湿原, 幌戸 湿原	湿原植生	ヌマガヤーイボミズゴケ群落, ヌマガヤーチャミズゴケ群落など. ジュンサイ, ヒシ, オヒルムシロなど各種水生植物群落, シバナなどの塩性湿地.	1,2
					幌戸沼	海草・海藻	幌戸湿原の中にある汽水の沼で, コアマモが生育する.	1
					浜中地先沿岸	海草・海藻	オオアマモの生育地.	2
					琵琶瀬湾	ガンカモ類	コクガン, オオハクチョウの渡来地.	2,4
					霧多布湿原, 幌戸 <small>エサント</small> 沼, 恵茶人沼	湿地性鳥類	タンチョウの繁殖地.	2,4
					琵琶瀬川	淡水魚類	イトウ, ヤチウグイの生息地.	1
					霧多布湿原	昆虫類	カラカネイトトンボ, イイジマルリボシヤンマ, リシリハマキ, カラフトスカシバ, セアカアメンボの生息地.	2,3
					琵琶瀬湾, 琵琶瀬 川河口	底生動物	アサリ, ヒメシラトリガイ, アナジャコなどの生息地.	1
30	ヒチリップ 火散布沼および モチリップ 藻散布沼	北海道	厚岸郡浜中町	低層湿原, 塩性湿地, 汽水湖沼, 藻場	火散布沼, 藻散布 沼	湿原植生	塩沼地植生 (オオシバナ, ウミミドリなど) とヨシーイワノガリヤス群落, ヤラメ スゲ群落.	1
					火散布沼	海草・海藻	コアマモの生育地として相当の規模の面積を有している.	1
					火散布沼, 藻散布 沼	湿地性鳥類	タンチョウの繁殖地.	2
					火散布沼, 藻散布 沼	底生動物	アサリ, カキ, ホソウミニナなどの生息地.	1
31	厚岸湖	北海道	厚岸郡厚岸町	汽水湖沼, 塩性湿地, 藻場	厚岸湖 (トキタイ 川下流域を含む)	湿原植生	塩沼地植生 (アッケシソウ, ウミミドリ, エゾツルキンバイ, ウシオツメクサ, オ オシバナ群落), ヨシ・スゲ群落など.	1
					厚岸湖	海草・海藻	アマモ, コアマモの生育地. みお筋にはエナガコンブが生育する.	1,2
					厚岸湖	ガンカモ類	オオハクチョウ, コクガンの渡来地.	2,4
					厚岸湖	湿地性鳥類	タンチョウの繁殖地.	2
					厚岸湖	底生動物	アサリ, カキなどの生息地.	1
32	厚岸湾	北海道	厚岸郡厚岸町, 釧路郡釧路町	藻場, 浅海域	厚岸湾	海草・海藻	寒流系コンブ類の多様性が見られる典型的海域. オオアマモの単純群落が見られ る. スガモ, アマモも生育する.	1,2
					厚岸湾	底生動物	アサリ, ニホンヒメハマトビムシなどの生息地.	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
33	ベカンベウシ 別寒辺牛湿原	北海道	厚岸郡厚岸町	高層湿原, 低層湿原, 河川	別寒辺牛湿原	湿原植生	低層湿原はヨシイワノガリヤス群落とヤチヤナギームジナスゲ群落, ヤラメスゲ群落, ハンノキ林. 高層湿原ではイソツツジ-チャミズゴケ群落, イボミズゴケ群落.	1,2
					別寒辺牛川	水草*	ホソバヒルムシロはじめ, 北海道でも希少となった水草が良好な状態で維持される.	2
					別寒辺牛川流域	湿地性鳥類	タンチョウ, チュウヒの繁殖地.	2,4
					別寒辺牛川	淡水魚類	イトウ, ヤチウグイの生息地.	2
					別寒辺牛川流域	昆虫類*	湿原性および寒地性の注目すべき昆虫類の種数が多い. カラカネイトトンボ, カラフトイトトンボ, エゾカオジロトンボなどの生息地.	2
					別寒辺牛湿原	淡水貝類	種の多様性が高い(北方系貝類要素). カワシンジュガイ類, ミズシタダミ類, マメシジミ類の生息地.	2,3
34	クッジャロ 屈斜路湖周辺および釧路川源流域	北海道	川上郡弟子屈町	淡水湖沼, 河川	屈斜路湖周辺および釧路川源流域	昆虫類*	サラサヤンマ, モリトンボ, リスアカネの生息地. オオアオイトトンボの生息地として道内東限であることが見込まれる.	2
					屈斜路湖	ガンカモ類*	オオハクチョウの渡来地.	2
35	阿寒湖と流入・流出河川	北海道	釧路市	淡水湖沼, 河川	阿寒湖の流出河川	水草*	チシマミズハコベが良好な状態で生育する.	2
					阿寒湖	淡水藻類	ヒメフラスコモ, カタシャジクモ, シャジクモ, マリモが生育.	2
					阿寒川, 仁々志別川	湿地性鳥類	タンチョウの繁殖地.	2
					阿寒川	淡水魚類	イトウ, ヤチウグイの生息地.	2
					阿寒湖, パンケ沼	淡水魚類	アジアにおけるヒメマス天然分布の南限地.	2
					阿寒湖および流入・流出河川	淡水貝類	種の多様性が高い(北方系貝類要素). コガタカワシンジュガイ, マメシジミ類の生息地.	2,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
36	釧路湿原	北海道	釧路市, 釧路郡 釧路町, 川上郡 標茶町・弟子屈 町, 阿寒郡鶴居 村	高層湿原, 中間湿原, 低層湿原, 淡水湖沼, 河川, その他湿地	釧路湿原	湿原植生	【赤沼, 塘路湖, 達古武湖, 遠矢採草地, シラルトロ湖など含む】 ^{トウロ} 広大な低層湿原. 植生はヨシーイワノガリヤス群落, ヤチヤナギムジナスゲ群落, ヤラメスゲ群落, ハンノキ林. 林床植生はカブスゲの谷地坊主. 【温根内赤沼とキラコタン岬周辺】イソツツジーチャミズゴケ群落, ワタスゲイ ボミズゴケ群落など. 池沼には水生植物群落が豊富.	1,2,3
					釧路湿原	水草	【シラルトロ湖】ナガバエビモ, カラフトグワイなど多数の水生植物の良好な生育 地. 【達古武湖】釧路湿原内の湖沼では水生植物の種の多様性が高く, 生育する量も多 い.	2,3
					釧路湿原	ガンカモ類	【シラルトロ湖, 赤沼, 塘路湖, 達古武湖, 遠矢採草地】オオハクチョウ, ヒシク イ(亜種ヒシクイおよび亜種オオヒシクイ)の渡来地.	2,4
					釧路湿原	湿地性鳥類	タンチョウ, チュウヒの繁殖地.	2,4
					釧路川	淡水魚類	イトウ, ヤチウグイの生息地.	2
					釧路湿原	爬虫両生類	キタサンショウウオの生息地.	2
					釧路湿原	昆虫類	カラカネイトトンボ, アカメイトトンボ, イイジマルリボシヤンマ, コエゾトンボ, エゾカオジロトンボの生息地. キスジホソハムシ, オオシマゲンゴロウ, キタアカ ジマウンカなど湿原に生息する昆虫が多い.	1,2
					釧路湿原	淡水貝類	種の多様性が高い(北方系貝類要素). ミズシタダミ類, マメシジミ類の生息地.	2,3
37	シカリベツ 然別湖	北海道	河東郡上士幌 町・鹿追町	淡水湖沼	然別湖	水草*	カラフトグワイの生育地.	2
					然別湖	淡水魚類	ミヤベイワナの生息地.	2
38	バシユクルトウ 馬主来沼	北海道	釧路市, 白糠郡 白糠町	低層湿原	馬主来沼	湿原植生	ヨシーイワノガリヤス群落, ハンノキ林, 水生植物群落.	1
					馬主来沼	湿地性鳥類	タンチョウの繁殖地.	2
39	キナシベツ湿原 ^{オンベツ} および音別川・ ^{シヤクベツ} 尺別川	北海道	釧路市	低層湿原, 河川	キナシベツ湿原 および音別川・尺 別川	湿地性鳥類*	タンチョウの繁殖地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
40	十勝海岸湖沼群	北海道	中川郡豊頃町, 広尾郡大樹町	低層湿原, 淡水湖沼, 汽水湖沼, 藻場, その他湿地	十勝海岸湖沼群	湿原植生	【十勝川河口湿原, 長節沼, 湧洞沼, キモントウ, 生花苗沼, 当縁湿原, ホロカヤントウ沼など】沼沢湿原と低層湿原. ヨシーイワノガリヤス群落, ヤチヤナギームジナスゲ群落, ヤラメスゲ群落. ハンノキ林. 小規模であるがヌマガヤ群落もある. 湖沼ではフトイ群落, マコモ群落, ミツガシワ群落などの水生植物群落が分布.	1
					湧洞沼	海草・海藻	コアマモの生育地として相当の規模を有している.	1
					湧洞沼, 長節沼, キモントウ, ホロ カヤントウ, オイカマナイ 生花苗沼, 当縁 湿原および周辺 農地	ガンカモ類	ヒシクイ (亜種オオヒシクイ), マガンの渡来地.	2,4
					十勝海岸湖沼群	湿地性鳥類	タンチョウ, チュウヒの繁殖地.	2,4
					十勝海岸湖沼群 (長節沼, 湧洞沼 など)	底生動物	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地.	1
41	十勝川下流湖沼群	北海道	中川郡豊頃町・池田町, 十勝郡浦幌町	淡水湖沼, その他湿地	十勝川水系河跡湖群	水草	河跡湖が多数残り, 水生植物の種の多様性も高い. ヒンジモが生育する沼がある.	3
					三日月沼, 育素多沼, 池田キモントウ, 幌岡大沼などおよび周辺農地	ガンカモ類	オオハクチョウ, ヒシクイ (亜種オオヒシクイ), マガン, ハクガン, シジウカラガンの渡来地.	2,4
					十勝川下流域	湿地性鳥類	タンチョウ, チュウヒの繁殖地.	2,4
42	サラベツ更別湿原	北海道	河西郡更別村	その他湿地	更別湿原 (更別ヤチカンバ生育地)	湿原植生*	ヤチカンバ群落は灌木性のカンバで氷河期の遺存種として貴重.	1
43	襟裳岬周辺沿岸	北海道	幌泉郡えりも町	藻場	襟裳岬周辺沿岸	海草・海藻	複数のコンブ目海藻類からなる大きな群落. 主となるミツイシコンブは, 襟裳岬の東西で外部形態が異なる.	1,3
44	シュマリナイ朱鞠内湖	北海道	雨竜郡幌加内町	河川, その他湿地	朱鞠内湖および流入河川の上流域	淡水魚類	イトウの生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
45	浮島湿原	北海道	上川郡上川町	高層湿原	浮島湿原	湿原植生	亜寒帯に成立する典型的な高層湿原。ヌマガヤーイボミズゴケ群落、イソツツジーチャミズゴケ群落、ミカヅキグサーワタミズゴケ群落など。湿生アカエゾマツ林。	1
						昆虫類	キイロマツモムシ、ヒメミズギワカメムシ、イイジマルリボシヤンマの生息地。	2
46	大雪山系旭岳周辺湿原群	北海道	上川郡上川町・東川町	中間湿原、高層湿原	大雪山系旭岳周辺湿原群	湿原植生	【天人ヶ原湿原、沼ノ平湿原、雲井ヶ原など】チシマミクリ群落、フトヒルムシロ群落、湿生アカエゾマツ林など。	1
47	大雪山系トムラウシ山周辺湿原群	北海道	上川郡新得町・上川町	高層湿原、雪田草原	大雪山系トムラウシ山周辺湿原群	湿原植生	^{チュウベツ} 高根ヶ原、忠別沼、五色ヶ原、沼ノ原、ヒサゴ沼、銀杏ヶ原湿原、トムラウシ南麓湿原などからなる湿原群で、多くの高山植物がみられる。 【沼ノ原湿原】チシマミクリ群落、ヒトヒルムシロ群落など。 【忠別沼周辺】ミヤマヤチャナギーチャミズゴケ群落など。 【高根ヶ原周辺】エゾワタスゲの生育するミズゴケ群落など。 【五色ヶ原、ヒサゴ沼周辺】広大な高山雪田。	1
					大雪山系トムラウシ山周辺湿原群	水草*	ウキミクリ、チシマミクリなどが高山湿原の池澁に良好な状態で維持されている。	2
					大雪山系トムラウシ山周辺湿原群	昆虫類	【五色ヶ原、沼の原、ヒサゴ沼、銀杏が原湿原、トムラウシ南麓湿原など】タカネマメゲンゴロウ、クモマエゾトンボ、ダイセツマメゲンゴロウ、ダイセツマルクビゴミムシの生息地。	2
48	ウリュウ雨竜沼湿原	北海道	雨竜郡雨竜町	高層湿原	雨竜沼湿原(恵岱岳湿原、群馬岳湿原、南暑寒岳東斜面の小湿原などを含む)	湿原植生	ヌマガヤーイボミズゴケ群落、ヌマガヤーキダチミズゴケ群落など。池澁や川の水生物群落が多様。河辺植生はイワノガリヤスーコバイケイソウ群落。	1
					雨竜沼湿原	水草*	ウキミクリ、チシマミクリ、ヒメミズニラなどが湿原の池澁に良好な状態で維持されている。	2
					暑寒別岳湿原群(雨竜沼湿原、恵岱岳湿原)	昆虫類	チビコガシラミズムシ、ベニヒカゲ、ショカンベツチビゴミムシの生息地。	2
49	原始ヶ原湿原	北海道	富良野市	高層湿原	原始ヶ原湿原	湿原植生	亜寒帯に成立する典型的な高層湿原。ヌマガヤーホルムイスグ群落、ミヤマイヌノハナヒゲワタミズゴケ群落。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
50	かなやま湖	北海道	空知郡南富良野町	河川, その他湿地	かなやま湖および流入河川の上流域	淡水魚類	イトウの生息地.	2
51	石狩川流域湖沼群	北海道	砂川市, 樺戸郡新十津川町, 美唄市, 空知郡奈井江町	淡水湖沼, その他湿地	宮島沼, 袋地沼, 手形沼, 三日月沼, 浦臼沼, 浦臼新沼, 茶志内沼などおよび周辺農地	ガンカモ類	オオハクチョウ, コハクチョウ, ヒシクイ (亜種オオヒシクイ), マガン, オナガガモなどの渡来地.	2,4
					石狩川流域湖沼群	湿地性鳥類*	チュウヒの繁殖地.	2,4
52	美唄湿原	北海道	美唄市	高層湿原	美唄湿原(上美唄湿原を含む)	湿原植生	亜寒帯に成立する典型的な高層湿原. スマガヤイボミズゴケ群落, オオイスノハナヒゲーワタミズゴケ群落, チマキザサ群落, シラカンバーチマキザサ群落. 貴重な種が生育する.	1,2
53	ツキガウミ月ヶ湖湿原	北海道	樺戸郡月形町	中間湿原, 高層湿原	月ヶ湖湿原	湿原植生	亜寒帯に成立する典型的な高層湿原. スマガヤイボミズゴケ群落, オオイスノハナヒゲーミカヅキグサ群落, ヤマウルシーヌマガヤ群落, チマキザサ群落, シラカンバーチマキザサ群落. 貴重な種が生育する.	1,2
54	ホロムイ幌向湿原	北海道	江別市	高層湿原, 中間湿原	幌向湿原 ヒガシノッポロ (東野幌湿原・越後沼湿原)	湿原植生*	石狩川流域に広がっていた泥炭地の跡地の一つ。「ホロムイ」を冠する複数の植物が発見された湿原である。ホロムイスゲイボミズゴケ群落, ヤチヤナギーヌマガヤ群落などのほか, ヒルムシロやミツガシワなどの水生植物群落やヨシーワノガリヤス群落からなる湿原は多様な種の生育地.	1,2,3
55	石狩川河口	北海道	石狩市	河川, 干潟	石狩川河口	底生動物	ヤマトシジミなどの生息地.	1
56	オサツ旧長都沼	北海道	夕張郡長沼町, 千歳市	淡水湖沼, その他湿地	旧長都沼および周辺農地	ガンカモ類	コハクチョウ, ヒシクイ (亜種オオヒシクイ), マガンの渡来地.	2,4
57	千歳川	北海道	千歳市	河川, その他湿地	千歳川上流部	水草*	チトセバイカモが良好な状態で, 多くの株が生育する. 浮葉を形成するバイカモの産地としても重要.	2
					千歳川, 千歳川遊水地	ガンカモ類*	マガン, ヒシクイ (亜種オオヒシクイ), オオハクチョウ, コハクチョウの渡来地.	2,4
					千歳川	淡水貝類	カワシンジュガイの生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
58	ユウフツ 勇 払原野湿原群	北海道	苫小牧市, 千歳市, 勇払郡安平町・厚真町	低層湿原, 淡水湖沼, 河川	ウトナイ湖	湿原植生	亜寒帯に成立する典型的な低層湿原。ヨシ-イワノガリヤス群落, ヤチヤナギ-ムジナスゲ群落など。水生植物群落は多様で, コウホネ群落, マコモ群落, スギナモ群落, ヒシ群落など。	1
					勇払原野の湿原群	湿原植生	^{ビビ} 【美々湿原, トキサタマップ湿原, いすず南湿原, 弁天沼, 柏原東湿原, 平木沼湖沼群朝日沼など】美々川, トキサタマップ川, 柏原台地, 平木沼湖沼群朝日沼に残存する湿原群。低層湿原植生で, ヨシ-イワノガリヤス群落, ヤチヤナギ-ムジナスゲ群落, ヤラメスゲ群落, ヤチスゲ-サギスゲ群落, ハンノキ林。 【朝日沼】ヌマガヤ-ムジナスゲ群落。	1
					弁天沼	水草	勇払原野の湖沼植生が良好に維持されている。とくにタヌキモ類の豊かさは類を見ない。	1
					^{ビビ} 美々川	水草	種の多様性に富む流水性水生植物群落が残存。	3
					ウトナイ湖	ガンカモ類	オオハクチョウ, コハクチョウ, ヒシクイ (亜種ヒシクイおよび亜種オオヒシクイ), マガンの渡来地。	2,4
					安平川湿原 (弁天沼とその周辺および安平川下流部右岸の湿原)	ガンカモ類	ヒシクイ (亜種ヒシクイおよび亜種オオヒシクイ), マガンの渡来地。	2,4
					勇払原野の湿原群 (弁天沼周辺および安平川下流部右岸の湿原)	湿地性鳥類*	チュウヒ, オオジシギの主要な繁殖地。	2
					ウトナイ湖湿原	昆虫類	ゲンゴロウ, カオジロトンボ, カラカネイトトンボ, セスジアカガネオサムシ, クマガイクロアオゴミムシ, ハナダカバチなどの生息地。	2
					美々川源流	昆虫類	セスジアカガネオサムシ, クマガイクロアオゴミムシ, カワラハンミョウ, ハナダカバチなどの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
59	アツマ 厚真水田および ムカワ 鶴川水田	北海道	勇払郡厚真 町・むかわ町	水田	厚真水田	ガンカモ類	ヒシクイ（亜種ヒシクイ）、マガン、シジュウカラガンの渡来地。	2,4
					鶴川水田	ガンカモ類	マガン、シジュウカラガンの渡来地。	2,4
60	鶴川河口	北海道	勇払郡むかわ 町	干潟	鶴川河口	シギ・チドリ 類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。セイタカシギ、ホウロクシギの渡来地、オオ ジシギの主要な繁殖地。	2,3
61	ホロホロ湿原	北海道	白老郡白老町	高層湿原, 中間湿原	ホロホロ湿原	湿原植生*	爆裂火口跡に成立したエゾゼンテイカ群落、ミズゴケ群落、ヌマガヤ群落、ササ群 落からなり、動植物の貴重な生息・生育地。	1,2
62	クッタラ 倶多楽湖	北海道	白老郡白老町	淡水湖沼	倶多楽湖	淡水藻類	カタシャジクモの生育地。	2
					倶多楽湖	爬虫両生類*	エゾサンショウウオ幼形成熟型の生息地。（幼形成熟とは、未成熟な形質を残した まま生殖能力の成熟を見る現象のこと。）	2
63	ヨコスト湿原	北海道	白老郡白老町	低層湿原	ヨコスト湿原	湿原植生*	砂丘後背湿地群落としてのマコモ群落、ヨシ群落、湿性草原、コウボウムギ群落、 ハマナス群落からなり、動植物の貴重な生息・生育地。	1,2
64	キウシト湿原	北海道	登別市	低層湿原	キウシト湿原	湿原植生	ハンノキヌマガヤ群落、ハンノキノリウツギーヤマドリゼンマイ群落、ハンノ キヤチダモ林（ミズバショウ型）、エゾノコリンゴ群落など。	1
65	シノロフクイ 篠路福移湿原	北海道	札幌市	高層湿原, 中間湿原, 低層湿原	篠路福移湿原	湿原植生*	ヌマガヤミズゴケ群落、ヌマガヤ群落などからなり、動植物の貴重な生息・生育 地となっている。ススキーササ群落も見られ、高層湿原要素としてはミカヅキグサ、 モウセンゴケなどが、中間湿原要素としてホロムイソグ、ヤチヤナギ、ノハナショ ウブなどが生育する。	1,2
66	トマリムラサカズキ 泊村盃地 区地先沿岸	北海道	古宇郡泊村	藻場	泊村盃地区地先 沿岸	海草・海藻	北海道日本海南西部の典型的なホソメコンブ群落。	1
67	シリベシ 後志山地湿原群	北海道	札幌市, 虻田郡 京極町	高層湿原	後志山地湿原群	湿原植生	【中山湿原】ヌマガヤミズゴケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲワタミズゴケ 群落、ヌマガヤイボミズゴケ群落。 【大蛇ヶ原湿原】ミヤマイヌノハナヒゲワタミズゴケ群落、ヤチスゲ群落、ミカ ヅキグサ群落、ミツガシワ群落、ショウジョウスゲイワイチョウ群落。 【京極湿原】ミツガシワ群落、ヤチスゲ群落など。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
68	ニセコ連山湿原群	北海道	虻田郡倶知安町・ニセコ町, 磯谷郡蘭越町, 岩内郡共和町	高層湿原	ニセコ連山湿原群	湿原植生	【神仙沼湿原】ヌマガヤイボミズゴケ群落, ミヤマイヌノハナヒゲワタミズゴケ群落, ホロムイソウミカヅキグサ群落など. 【パンケ目国内湿原 ^{メクンナイ} 】イワイチョウの多いミヤマイヌノハナヒゲワタミズゴケ群落で, 東北地方山地湿原の植生に類似する.	1
					ニセコ連山湿地群	昆虫類	【神仙沼, 鏡沼, パンケ目国内湿原, 湯本温泉付近, 五色温泉など】カオジロトンボ, キイロマツモムシ, チャモンミズギワカメムシ, メススジゲンゴロウなどが多数生息する. 【鏡沼】カオジロトンボとギンヤンマがともに生息する特殊な環境.	2
69	シュプト 朱太川水系	北海道	寿都郡黒松内町	河川	朱太川水系	淡水魚類*	エゾホトケドジョウなどの生息地. 人工的な河川構造物がなく, 種の多様性が高い.	2,3
70	ウタサイ 歌才湿原	北海道	寿都郡黒松内町	高層湿原	歌才湿原	湿原植生	小規模な湿原であるが, 南西部高層湿原植生の原型を残している. 植生はヌマガヤイボミズゴケ群落など.	1
71	シズカリ 静狩湿原	北海道	山越郡長万部町	高層湿原	静狩湿原	湿原植生*	ミカヅキグサーオオイヌノハナヒゲ群落, ミカヅキグサーモウセンゴケ群落など. 湿原は多様な種の生育地として貴重. 海岸平野に成立している.	1,3
72	大沼と周辺湿地	北海道	亀田郡七飯町	低層湿原, 淡水湖沼	大沼, 小沼, じゅんさい沼	淡水貝類	北方系と本州系貝類要素が混在し, 多様な生物相を有する.	3
73	ヨコツ 横津岳湿原群	北海道	亀田郡七飯町	高層湿原	横津岳湿原群	湿原植生*	【雲井沼湿原, 前沼湿原, 烏帽子沼湿原, アヤメ湿原など】フトヒルムシロ群落, ヤチスゲ群落, アオモリミズゴケ群落, イボミズゴケ群落, タチギボウシースギバミズゴケ群落, ガンコウランースギバミズゴケ群落, エゾゼンテイカ群落, サギスゲ群落, ミツガシワ群落, ミカヅキグサ群落からなり, 動植物の貴重な生息・生育地.	1
74	シオクビ 汐首岬周辺沿岸	北海道	函館市	藻場	汐首岬周辺沿岸	海草・海藻	複数のコンブ目からなる群落. 域内で寒暖両海流の消長に応じた両系海藻の分布限界が認められる.	1,3
75	函館湾周辺沿岸	北海道	函館市, 北斗市, 上磯郡木古内町	浅海域	函館湾周辺沿岸	ガンカモ類	コクガンの渡来地.	2,4
76	下北半島大間崎 周辺沿岸	青森県	下北郡大間町・佐井村	藻場	下北半島大間崎 周辺沿岸	海草・海藻	マコンブ, ホソメコンブ, ガゴメ, ワカメ, アオワカメなど複数のコンブ目が生育し, また寒流系, 暖流系の多様な海藻が豊富である. 地先の生物多様性が高い.	1,3
77	尻屋崎周辺沿岸 域	青森県	下北郡東通村, むつ市	浅海域	尻屋崎周辺沿岸 域の漁港など	ガンカモ類	コクガンの渡来地.	2,4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
78	猿ヶ森砂丘と後背湿地	青森県	下北郡東通村	中間湿原, 低層湿原	猿ヶ森砂丘(立ち入り制限区域)と後背湿地	湿原植生	ハマニンニク-コウボウムギ群落, ケカモノハシ群落など.	1,2
					猿ヶ森砂丘(立ち入り制限区域)と後背湿地	昆虫類	長大な砂丘地で, 砂丘の後背に池沼群が連なる. コウベツブゲンゴロウ, オオヒメゲンゴロウ, エゾゲンゴロウモドキ, エゾコガムシなどの水生甲虫類の生息地. 砂丘上ではオオマキバサシガメ, ニッポンハナダカバチが生息する.	2
79	オガワラ 小川原湖沼群	青森県	上北郡東北町・六ヶ所村, 三沢市	淡水湖沼, 汽水湖沼, 干潟, 河川, 水田	小川原湖沼群	湿原植生	^{オフチ} ^{タカホコ} ^{イチャナギ} ^{タモギ} 【尾駁沼, 鷹架沼, 市柳沼, 田面木沼, 高瀬川, 小川原湖など】ハンノキ林, 水生植物群落など. 多くの水生植物が確認されている.	3
					小川原湖沼群	水草	尾駁沼から小川原湖にかけての湖沼群. 種の多様性に富んだ水生植物群落が成立し, 一部を除き自然状態がよく保たれている.	3
					市柳沼	淡水藻類	シャジクモの生育地.	2
					小川原湖, 高瀬川河口	シギ・チドリ類*	トウネン, ミユビシギ, メダイチドリ, オバシギなどの渡来地.	2,3,4
					小川原湖沼群 (小川原湖および周辺水田など)	ガンカモ類	【小川原湖, 尾駁沼, 鷹架沼, 市柳沼】オオハクチョウ, コハクチョウ, ヒシクイ(亜種ヒシクイ), スズガモの渡来地.	2,4
					鷹架沼, 市柳沼, 田面木沼	湿地性鳥類*	カンムリカイツブリの繁殖地.	2
					小川原湖沼群	昆虫類	【尾駁沼, 鷹架沼, 市柳沼, 田面木沼, 高瀬川, 小川原湖など】ゲンゴロウ, ヒメミズスマシ, モートンイトトンボ, オオキトンボ, ババアメンボ, アシマダラウンカなどの生息地. 湖沼群および汽水性の湿原とそれに続く草原が残された特殊な環境であり, 本州ではここでのみ生息が確認されている種など多数の種が生息する. 近年, 日本固有種で分布が局限されるアマゴイルリトンボや北方系の小型イトアメンボも確認された.	2
					小川原湖沼群 (流入河川を含む)	淡水貝類	種の多様性が高い. カワシシユガイの生息地.	2,3
小川原湖沼群	底生動物	【尾駁沼, 鷹架沼, 市柳沼, 田面木沼, 高瀬川, 小川原湖など】ヤマトシジミ, カワザンショウ, タカホコシラトリの生息地.	2					

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
80	ホトケ 仏沼	青森県	三沢市	水田, その他湿地	仏沼周辺水田	ガンカモ類*	オオハクチョウ, コハクチョウ, ヒシクイ (亜種ヒシクイ), スズガモの渡来地.	2,4
					仏沼	湿地性鳥類	オオセッカ, チュウヒの繁殖地.	2
81	陸奥湾	青森県	むつ市, 青森 市, 上北郡野辺 地町, 東津軽郡 平内町など	干潟, 藻場, 浅海域	青森湾東岸	海草・海藻	アマモ, コアマモ, タチアマモ, スゲアマモの生育地であり, 多様な生物相を有する.	1,3
					野辺地湾	海草・海藻	スゲアマモの生育地であり, 多様な生物相を有する.	1,3
					大湊湾, 原別海 岸, 小湊浅所海岸	ガンカモ類	オオハクチョウ, コクガンの渡来地.	2,4
					芦崎干潟	底生動物*	ウミニナの健全な個体群がある. アシハラガニ, ヤマトオサガニ, マメコブシガニ については北限. 希少なツボミガイも高密度で生息する. 人が立ち入れないため, 後背湿地, 干潟, アマモ場が自然のままに残されている.	1,2,3
					小湊浅所	底生動物	陸奥湾で最大の干潟. アナジャコ, キサゴ, アサリ, ヤマトオサガニなどの生息地.	1,2,3
82	ウツリヤマ 宇曽利山湖	青森県	むつ市	淡水湖沼	宇曽利山湖	昆虫類	湖岸の湿地や砂礫地には, 黒化したシオカラトンボ, ルリイトトンボ, ヒメミズギ ワカメムシ, エサキナガレカタビロアメンボ, オソレヤマミズギワゴミムシ, シマ チビゲンゴロウなどが生息する.	2
83	カワウチ 川内川上流域	青森県	むつ市	河川	川内川上流域	淡水貝類*	コガタカワシンジュガイの生息地.	2
84	十三湖および岩 木川河口	青森県	北津軽郡中泊 町, 五所川原 市, つがる市	汽水湖沼, 河川, その他湿地	十三湖および岩 木川河口	湿原植生	エゾシロネーヨシ群落, シオクグ群落など.	1
					十三湖および岩 木川河口	ガンカモ類*	マガン, コハクチョウなどの渡来地.	4
					十三湖および岩 木川河口	湿地性鳥類	オオセッカ, チュウヒの繁殖地.	2
					十三湖および岩 木川下流域の湿 地群	昆虫類	エゾコガムシ, ホソガムシなどの水生甲虫類をはじめとした水生昆虫が豊富で, 周 辺にはキタアカシジミが生息する. ゲンゴロウモドキ, オオシマゲンゴロウ, アオ ヤンマの生息地.	2,3
					十三湖および岩 木川河口	淡水魚類*	ジュウサンウグイのタイプ産地.	2
					十三湖および岩 木川河口	底生動物	ヤマトシジミなどの汽水性ペントスの生息地.	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
85	屏風山湿原池沼群	青森県	つがる市	中間湿原, 淡水湖沼	屏風山湿原池沼群	湿原植生	【平滝沼, ベンセ沼湿原, コケヤチ湿原など】ツルコケモモミズゴケ群落, ニッコウキスゲノハナショウブ群落など.	1
					屏風山湿原池沼群	水草	貴重な水生植物が生育する.	2
					屏風山湿原池沼群	昆虫類	【平滝沼, ベンセ沼湿原, 屏風山湿原など】カラカネイトトンボ, オオセスジイトトンボ, アオヤンマ, マダラヤンマ, オオキトンボ, オオシマゲンゴロウ, ゲンゴロウモドキなどの水生甲虫類の生息地. ヒメミズスマシが多く生息する.	2
86	津軽平野ため池群	青森県	北津軽郡鶴田町, 弘前市, つがる市	ため池	マワリゼキ 廻堰大溜池, エゾガダテ 狄ガ館溜池, 砂沢ため池など	ガンカモ類	コハクチョウ, ヒシクイ (亜種オオヒシクイ), マガン, オナガガモなどの渡来地.	2,4
87	八甲田山湿原群	青森県	青森市, 十和田市, 平川市	高層湿原, 雪田草原, 淡水湖沼	八甲田山湿原群	湿原植生	【田代平湿原, 睡蓮沼, 八甲田山高層湿原・雪田草原, 黄瀬沼, 蔦沼】ミヤマイヌノハナヒゲワタミズゴケ群落, ショウジョウスゲ群落など.	1
					ツタ蔦沼	淡水藻類	ヒメフラスコモ, カタシャジクモの生育地.	2
					八甲田山湿原群	昆虫類	【田代平湿原, 睡蓮沼, 八甲田山高層湿原・雪田草原, 黄瀬沼, 蔦沼】八甲田山系は南北2群の火山からなり, その中間に睡蓮沼を含む湿原地帯がある. キタヒメアメンボ, キイロマツモムシ, カオジロトンボ, イシカリミドリカワゲラ, ヘリグロミズカメムシ, チャイロシマチビゲンゴロウ, メススジゲンゴロウ, ミヤマミズスマシ, ゴマフトビケラなどが生息する.	2,3
88	十和田湖	青森県, 秋田県	青森県十和田市, 秋田県鹿角郡小坂町	淡水湖沼	十和田湖	淡水藻類	ヒメフラスコモ, カタシャジクモの生育地.	2
89	アッカ 安家川	岩手県	下閉伊郡岩泉町, 九戸郡野田村	河川	安家川	淡水貝類	カワシンジュガイの生息地. アッカミジンツボのタイプ産地およびの唯一の生息地.	2,4
90	北上川上流域の 染田川	岩手県	八幡平市	河川	北上川上流域の 染田川	淡水貝類*	貴重な二枚貝類の生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
91	八幡平周辺湿原群	岩手県, 秋田県	岩手県八幡平市, 秋田県鹿角市, 仙北市	高層湿原, 雪田草原, 湖沼湖沼	八幡平周辺湿原群	湿原植生	【赤川源流域湿原, 八幡平湿原, 八幡沼, 黒谷地, 夜沼, 蒸ノ湯大谷地, 長沼, 大沼, 大場谷地, 熊谷地, 前谷地など】ショウジョウスゲ群落, スマガヤーイボミズゴケ群落など.	1
					八幡平湖沼群	水草	【夜沼 ^ヨ 】ハリナズナの群生地. 他の湖沼にも貧栄養水域性の水生植物が生育する可能性がある.	2
					八幡平周辺湿原群	昆虫類	【八幡沼, ガマ沼, 蓬菜沼, 黒谷地, 御在所湿原など】標高のある池沼にモイワサナエ, ムツアカネ, カオジロトンボ, オオメミズムシ, チシマミズムシ, キイロマツモムシが多数みられる.	2
92	南八幡平山稜湿原群	岩手県, 秋田県	岩手県八幡平市・岩手郡雫石町, 秋田県仙北市	高層湿原, 雪田草原	南八幡平山稜湿原群	湿原植生	【大深岳北面雪田, 上倉山周辺湿原, 丸森周辺湿原, 三ツ石湿原, 三ツ沼, 栗木ヶ原, 八瀬森, 大白森湿原, 小白森湿原, 乳頭山, 田代平湿原, 千沼ヶ原, 笹森山雪田, 熊見平, 湯森山, 秋田駒ヶ岳など】イワイチョウースマガヤ群落, スマガヤーイボミズゴケ群落, ミヤマイヌノハナヒゲーワタミズゴケ群落, スマガヤ群落など.	1
93	ハルコヤチ 春子谷地湿原	岩手県	滝沢市	中間湿原, 低層湿原	春子谷地湿原	湿原植生	エゾノヒツジグサーミツガシワ群落, ヨシーショウジョウスゲ群落, ハンノキ群落など.	1
					春子谷地湿原	淡水藻類*	イシカワモズク (紅藻), ニホンカワモズク (紅藻) の生育地.	2
94	焼石岳北面雪田	岩手県	奥州市, 和賀郡西和賀町	雪田草原	焼石岳北面雪田	湿原植生	ショウジョウスゲ群落など.	1
95	一関市のため池群と周辺湿地	岩手県	一関市	河川, ため池, その他湿地	北上川, 一関遊水地	ガンカモ類*	コハクチョウ, マガンの渡来地.	2,4
					一関市のため池群	昆虫類*	ゲンゴロウ, ホッケミズムシ, オオトラフトンボ, ハッチョウトンボ, ネクイハムシ類などの生息地. 水生昆虫類の種の多様性が高い.	2,3
					一関市のため池群	淡水貝類*	貴重な巻貝の生息地.	2
96	栗駒山湿原群	岩手県, 宮城県, 秋田県	岩手県一関市, 宮城県栗原市, 秋田県湯沢市など	雪田草原, 高層湿原	栗駒山湿原群	湿原植生	【栗駒山雪田, 世界谷地, ゴザコバシリ, 須川湖周辺, 竜泉ヶ原, 田代沼, 名残ヶ原湿原など】スマガヤ, アオノツガザクラ, フキユキノシタ, イワノガリヤス, ヤチツツジなどが生育する雪田草原. スマガヤーイボミズゴケ群落, スマガヤーオオミズゴケ群落などの高層湿原植生. オゼコウホネ.	1
					栗駒山湿原群	昆虫類	【栗駒山雪田, 世界谷地, ゴザコバシリなど】トウホクナガケシゲンゴロウ, エゾナガゴミムシ, スゲハムシなど北方系甲虫の生息地. ムツアカネの生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
97	三陸リアス海岸の湾奥沿岸	岩手県	宮古市, 下閉伊郡山田町, 上閉伊郡大槌町, 釜石市など	干潟, 藻場	船越湾	海草・海藻	アマモ, タチアマモの生育地.	1,2
					大槌湾	海草・海藻	アマモ, スゲアマモ, タチアマモ, スガモの生育地.	1,2
					山田湾	海草・海藻	スゲアマモの純群落と, 種の多様性の高い藻場が形成されている.	1,3
					三陸リアス海岸の湾奥干潟群	底生動物	【宮古湾, 山田湾, 大槌湾, 広田湾など】さまざまな浅海性ベントスの生息地であり, 多様な生物相を有する.	3
98	三陸沿岸の外洋性藻場	岩手県	下閉伊郡山田町, 上閉伊郡大槌町, 釜石市	藻場	三陸海岸	海草・海藻	コンブ場などと混在し, 地先の生物多様性が高い. ワカメ, エゾノネジモクの生育地.	1,3
99	広田湾	岩手県, 宮城県	岩手県陸前高田市, 宮城県気仙沼市	干潟, 藻場	広田湾	海草・海藻	アマモ, タチアマモ群落があり, 貴重な種が生育する.	1,2
					広田湾周辺	ガンカモ類*	コクガンの渡来地.	2,4
					小友浦周辺の干潟	底生動物*	アサリ, オオノガイ, エゾマテガイなどの二枚貝, バルスアナジャコ, テッポウエビなどの甲殻類をはじめとする, 底生動物の生息地. 後背湿地のヨシ原は, アシハラガニの生息地.	2
100	気仙沼舞根湾	宮城県	気仙沼市	干潟	気仙沼舞根湾	底生動物*	東日本大震災による津波の影響を受けたものの, 底生動物の貴重な生息地として相当の規模を有することが見込まれる.	1
101	南三陸海岸	宮城県	気仙沼市	浅海域	南三陸海岸(御伊勢浜など)	ガンカモ類	コクガンの渡来地.	2,4
102	南三陸志津川湾	宮城県	本吉郡南三陸町	干潟, 藻場	志津川湾	海草・海藻	アマモ類4種(アマモ, タチアマモ, スゲアマモ, スガモ)が生育する. アマモ場のほか, コンブ場, アラメ場, ガラモ場という4つのタイプの藻場が良く発達する. コンブとアラメが混生する貴重な場所.	1,2,3
					細浦, 折立川河口, 戸倉海岸など志津川湾奥の干潟群	底生動物*	東日本大震災による津波の影響を受けたものの, 底生動物の種の多様性が高い干潟としての回復が見込まれる. 底生動物の貴重な生息地として相当の規模を有する.	1
103	マンゴク万石浦	宮城県	石巻市	干潟, 藻場	万石浦	海草・海藻	アマモの生育地. 湾奥部はアサクサノリの生育地.	1
					万石浦	底生動物	カキ, アサリ, オキシジミ(北限), ウミニナの生息地.	1,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
104	仙台湾および仙 台海浜	宮城県	東松島市, 仙 台 市, 亶理郡亶理 町, 宮城郡松島 町, 塩竈市など	汽水湖沼, 干潟, 藻場	松島湾, 蒲生干 潟, 井土浦潟, 広 浦, 鳥の海など	湿原植生	ハマニンニク・コウボウムギ群落, ハママツナ群落, シオクグ群落, ヨシ群落, シ バナ群落など. 【鳥の海】ヨシ群落にアサクサノリが生育する. 【東松島市野蒜洲崎, 宮戸島湾岸の塩性湿地】東日本大震災による津波の影響を受 け, 貴重な塩性湿地が広範に形成されるようになった.	1
					仙台湾	海草・海藻	コンブ場, アラメ場などが混在し, 種の多様性が高い. ワカメの生育地.	1,3
					松島湾	海草・海藻	内湾性の強いアマモ場として相当の規模の面積を有している.	1
					蒲生海岸	ガンカモ類	コクガンの渡来地.	2,4
					松島湾内の干潟 群	底生動物	アサリ, カキなどの生息地.	1
					蒲生干潟	底生動物	ゴカイ, イソシジミ, アシハラガニなどの生息地. フトヘナタリ (北限), カワザ ンショウ類 (ムシヤドリカワザンショウ) も豊富.	1,3
					井土浦潟・名取川 河口	底生動物	カニ類, ゴカイ類の生息地.	1
					広浦	底生動物	まとまった干潟とヨシ原があり, ベントスの生息条件を備えている. ウミニナの生 息地.	1
					鳥の海・阿武隈川 河口	底生動物	ホソウミナ, ウミニナ, イソシジミ, ゴカイ, アサリなどの生息地. 底生動物の 種の多様性が高い.	1,2,3
105	伊豆沼・内沼およ び周辺湖沼群	宮城県	栗原市, 登米市	淡水湖沼, 水田	伊豆沼, 内沼, 長 沼など	湿原植生	ヨシ群落, マコモ群落, ヌマアゼスゲ群落, アサザ群落, ガガブタ群落など.	1
					伊豆沼, 内沼, 長 沼および周辺水 田	ガンカモ類	オオハクチョウ, ヒシクイ (亜種ヒシクイおよび亜種オオヒシクイ), マガン, カ リガネ, シジュウカラガンの渡来地.	2,4
					伊豆沼, 内沼	淡水魚類	ゼニタナゴ, タナゴの生息地.	2
					伊豆沼, 内沼, 長 沼など	昆虫類*	オオセスジイトトンボ, アオヤンマなど平野部の湖沼を代表する昆虫類が生息す る.	2
					伊豆沼	淡水貝類	イシガイ類の生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
106	カブクリ 蕪栗沼および周 辺水田	宮城県	大崎市，登米 市，栗原市	淡水湖沼， 水田	蕪栗沼	湿原植生	ヨシ群落，マコモ群落，タチヤナギ群落など，平野部の湿地を代表する植生が残存.	1
					蕪栗沼および周 辺水田	ガンカモ類	オオハクチョウ，ヒシクイ（亜種オオヒシクイ），マガン，カリガネ，シジュウカ ラガンの渡来地.	2,4,5
					蕪栗沼	淡水魚類	ゼニタナゴ，タナゴの生息地.	2
					蕪栗沼	淡水貝類	イシガイ類の生息地.	2
107	ビョウドウ 平筒沼	宮城県	登米市	淡水湖沼	平筒沼	ガンカモ類*	オオハクチョウ，ヒシクイ（亜種ヒシクイ）の渡来地.	2,4
					平筒沼	昆虫類*	オオセスジイトトンボ，チョウトンボなどの生息地. 平野部の湖沼を代表する昆虫 類が多い.	2,3
108	アイノ 相野沼	宮城県	遠田郡涌谷町	淡水湖沼	相野沼	水草	水草の種数，個体数ともに豊かな沼. フサタヌキモなどの生育地.	3
						ガンカモ類*	オオハクチョウ，ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）などの渡来地.	2,4
109	ケジョ 化女沼	宮城県	大崎市	淡水湖沼， その他湿地	化女沼	ガンカモ類	ヒシクイ（亜種ヒシクイ），マガン，シジュウカラガンの渡来地.	2,4
110	シナイ 旧品井沼周辺た め池群	宮城県	大崎市	ため池	旧品井沼周辺た め池群	淡水魚類	シナイモツゴ，ギバチ，ゼニタナゴの生息地.	2
111	北上川河口部お よび長面浦	宮城県	石巻市，登米市	塩性湿地， 干潟	北上川河口部	湿原植生	北上川河口に沿ったヨシ，マコモなどの抽水植物群落. ただし，東日本大震災の津 波により湿原植物は，一部が影響を受けた.	1
					北上川河口部 オッパワン （追波湾）	ガンカモ類*	コクガンの渡来地.	2,4
					北上川河口部（追 波湾）	昆虫類	汽水性の湿地にカスミササキリ，オオナガマキバサシガメ，ジュウクホシテントウ などが生息し，ヒヌマイトトンボの北限である. ただし，東日本大震災による津波 の被害を受けた.	2
					北上川河口部，長 面浦	底生動物	ヤマトシジミ，アサリ，コメツキガニ，アシハラガニなどの生息地. 【長面浦】アシハラガニ，アリアケモドキ，ホソウミニナが生息する. ただし，東 日本大震災による津波の被害，地盤沈下が見られた.	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
112	タヤチ 田谷地沼, かば谷 地, すげ沼湿地池 沼群	宮城県	加美郡加美町	淡水湖沼, ため池	田谷地沼, かば谷 地, すげ沼湿地池 沼群	湿原植生	ハンノキヤチダモ群落, ハンノキ群落, ヤチスゲ群落, ヨシーミゾソバ群落, オ オイヌノハナヒゲムラサキミズゴケ群落など.	1
					田谷地沼, かば谷 地, すげ沼湿地池 沼群	水草	貴重な種を含む多様な水生植物の生育地.	2,3
					田谷地沼, かば谷 地, すげ沼湿地池 沼群	昆虫類	カラカネイトトンボ, オゼイトトンボ, エゾイトトンボ, サラサヤンマ, キトンボ, ハッチョウトンボなどの生息地.	2
113	蔵王山周辺湿原 群	宮城県, 山形県	宮城県刈田郡 七ヶ宿町・蔵王 町, 山形県山形 市, 上山市	高層湿原, 雪田草原	蔵王山周辺湿原 群	湿原植生	【芝草平, いろは沼湿原群, 御田の神湿原, 地蔵岳雪田, 熊野岳雪田など】ショウ ジョウスゲ群落, ミヤマイヌノハナヒゲキダチミズゴケ群落, カワズスゲアオ モリモイズゴケ群落, ミヤマホタルイ群落など.	1
114	米代川河口およ び周辺湖沼群	秋田県	能代市	低層湿原, 淡水湖沼	米代川河口およ び周辺湖沼群	湿原植生	【小友沼, 一ノ沢堤, 能代大堤, 須田湿地など】タヌキモ, クロモ, ミズオオバコ, ヒメミクリ, マルバオモダカ, ヤナギスプタ, ミミカキグサ, ムラサキミミカキグ サ, ホザキノミミカキグサなどの生育地. 【落合沼】沼沢地. マコモ群落, 沈水植物群落など.	1,2
					小友沼, 一ノ沢堤	ガンカモ類	オオハクチョウ, コハクチョウ, ヒシクイ (亜種ヒシクイおよび亜種オオヒシクイ), マガン, ハクガン, シジュウカラガン, オナガガモの渡来地.	2,4
115	オガ 男鹿半島沿岸	秋田県	男鹿市	藻場	男鹿半島沿岸	海草・海藻	日本海北部の規模が大きな藻場. ワカメ, テングサ, ウスイロモク, スギモクなど 種の多様性が高い. ハタハタ (魚類) の主産卵場になっている.	1,3,5
					男鹿半島沿岸	ガンカモ類*	コクガンの生息地.	2
116	八郎潟を含む秋 田平野湖沼群	秋田県	潟上市, 南秋田 郡井川町・大潟 村・五城目町・ 八郎潟町, 山本 郡三種町, 秋田 市	高層湿原, 低層湿原, 淡水湖沼, 河川, ため池, その他湿地	秋田平野湖沼群 (八郎潟調整池, 天王出戸湿原な ど)	湿原植生	【天王出戸湿原】高層湿原. ヨシ群落, ヒメミクリなどの生育地. 【男潟】アサザの生育地. 【女潟】沼沢地. ウキヤガラマコモ群落, カサスゲ群落, ツルスゲ群落. コッカエン 【国花苑堤, 小立花堤, 福田堤】イトトリゲモ, イトイバラモ, トリゲモ, スプタ, マルバオモダカなどの生育地. 【赤平潟, 宝竜崎ため池, 古川】アサザ, ミズアオイ, 沈水植物の生育地. 【一向池】貴重な水草が生育し, その周辺域に抽水植物帯が形成されている. 旧八 郎潟の遺存的植生と見られる.	1,2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					秋田平野湖沼群	水草	【男潟，女潟，古川など】アサザ，ミズアオイ，イトイバラモ，オオタヌキモなど貴重な水生植物が生育する。	2
					八郎潟調整池，八郎潟干拓地，浅内沼，角助堤	ガンカモ類	オオハクチョウ，コハクチョウ，ヒシクイ（亜種ヒシクイおよび亜種オオヒシクイ），マガン，ハクガン，シジュウカラガン，オナガガモなどの渡来地。	2,4
					秋田平野湖沼群	湿地性鳥類*	【八郎潟調整池，天王戸湿原，男潟，女潟，国花苑堤，小立花堤，福田堤，赤平潟，宝竜崎ため池，古川】チュウヒの繁殖地。	2,4
					船越水道（八郎潟調整池からの流出水路）	淡水魚類*	ヒモハゼ，チクゼンハゼ，サクラマス，ニホンイトヨ，カジカ中卵型，アユカケなどの生息地。	2
					八郎潟調整池	底生動物	淡水化が進んだとはいえ，汽水性ベントスが数多く生息している。	3
117	シオヒキ塩曳潟	秋田県	秋田市	湖沼	塩曳潟	淡水魚類*	シナイモツゴ，在来のタナゴ類などの生息地。	2
118	オモノ雄物川中流域湖沼群	秋田県	大仙市	低層湿原，淡水湖沼	雄物川中流域湖沼群	湿原植生	雄物川の氾濫原および段丘に散在する湖沼群。コウホネ，サギソウ，ミズドクサ，メビシなどが生育する。絶滅危惧種も多い。 【高屋敷低層湿原】河川，沼沢地。コウホネ群落，ミズトクサ群落。 【大浦沼】ヒシークウホネ群落，サンショウモウキクサ群落など。アサザ，トチカガミの生育地。 【乙越沼】メビシーオヒルムシロ群落など。 【湯の台・小方角沢湿原】イヌノハナヒゲ群落，コイヌノハナヒゲーオオイヌノハナヒゲ群落など。	1,2
119	横手市から仙北郡にかけてのため池群	秋田県	横手市，大仙市，仙北郡美郷町	ため池	横手市から仙北郡にかけてのため池群	水草	貴重な水生植物が生育する。	2
120	ヒラカ仙北および平鹿地方の湧水群	秋田県	大仙市，仙北市，仙北郡美郷町，横手市	湧水	大仙市中仙・太田，横手市平鹿の湧水群	水草	ミクリ類（ナガエミクリ，ヤマトミクリなど），スギナモ，ハイハマボス，バイカモなどが生育する湧水が広範に残存。	3
					仙北・平鹿地方の湧水群	淡水魚類	イバラトミヨ雄物型の生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
121	田代岳湿地	秋田県	大館市	雪田草原	田代岳湿地	湿原植生	ヌマガヤ群落、ムツノガリヤス、キンコウカなどの生育地。	1
					田代岳湿地	淡水藻類*	ホソカワモズク（紅藻）の生育地。	2
122	ワガ 和賀岳・朝日岳の 雪田	秋田県	仙北市	雪田草原	和賀岳・朝日岳の 雪田	湿原植生	ヌマガヤ、ショウジョウスゲ、イワイチョウなどが生育する。	1,2
123	コケ 苔沼	秋田県	湯沢市	高層湿原	苔沼	湿原植生	イボミズゴケ・ホロムイソウ群落など。貴重な種の生育地。	2
124	トラケ 虎毛山湿地	秋田県	湯沢市	高層湿原、 雪田草原	虎毛山湿地	湿原植生	イワイチョウ・ヌマガヤ群落、ヌマガヤ、チングルマ、ミカヅキグサ、ミヤマイヌノハナヒゲ、キンコウカ、モウセンゴケなどが生育する。	1
125	カタキ 加田喜沼	秋田県	由利本荘市	高層湿原	加田喜沼	湿原植生	低地に残された浮島上の高層湿原。ミズゴケ群落が発達。遺存種のホロムイソウ、ムラサキミカキグサ、ミツガシワ、ウメバチソウなどが生育する。	1,2
126	鳥海山北麓湿地 群	秋田県	由利本荘市、にかほ市	低層湿原、 湖沼	鳥海山北麓湿地 群（桑ノ木台湿 原、平石堤などの 仁賀保高原湖沼 群）	湿原植生	高山植物の生育地。 【南由利原の湿地】ノハナショウブ群落、レンゲツツジ群落、タチギボウシーサワギキョウ群落。 【冬師】ハンノキ林、フトヒルムシロの生育地。	1
127	鳥海山湿原群	秋田県、 山形県	秋田県にかほ市、由利本荘市、山形県飽海郡遊佐町、酒田市	高層湿原、 雪田草原	鳥海山湿原群	湿原植生	【竜ヶ原湿原、稲倉岳北面雪田、鳥海山雪田群、御浜扇子森雪田群、千畳ヶ原、荒神岳北面、心字雪田群、飯ヶ森湿原、河原宿湿原、大清水湿原など】ヒゲノガリヤス群落、ショウジョウスゲ・イワイチョウ群落など。	1
128	ガッコウ ニッコウ 月光川・日向川 水系および周辺 湖沼群	山形県	飽海郡遊佐町、酒田市	淡水湖沼、 河川	月光川・日向川水 系および周辺湖 沼群	淡水魚類*	鮭川・泉田川水系と同様に、キタノメダカ、シナイモツゴなどの生息地。種の多様性が高い。遺伝的に分化した絶滅に瀕する地域固有の種・亜種・個体群が生息する。	2,3
129	イズミダ 鮭川・泉田川水 系および周辺湖 沼群	山形県	新庄市、最上郡 鮭川村・真室川 町・戸沢村・金 山町	淡水湖沼、 河川	鮭川・泉田川水 系および周辺湖 沼群	淡水魚類*	月光川・日向川水系と同様に、キタノメダカ、シナイモツゴなどの生息地。種の多様性が高い。遺伝的に分化した絶滅に瀕する地域固有の種・亜種・個体群が生息する。	2,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
130	トビシマ 飛島周辺沿岸	山形県	酒田市	藻場	飛島周辺沿岸	海草・海藻	山形県では最も海藻の種類が豊富である。長さ6mを越えるツルモを産し、南方系の種類が多い一方で、北方性の普通種アカバも産する。	1,3
131	最上川河口	山形県	酒田市	河川	最上川河口	ガンカモ類	オオハクチョウ、コハクチョウの渡来地。	4
132	最上川・赤川水系 のウケクチウグ イ生息河川	山形県	—	河川	最上川・赤川水系 のウケクチウグ イ生息地	淡水魚類	ウケクチウグイの生息地。	2
133	河島山麓堤群	山形県	村山市	ため池	河島山麓堤群	水草	多くの貴重な水生植物が生育する。	2
134	乱川扇状地の湧 水湿地	山形県	東根市, 天童市	湧水	乱川扇状地の湧 水	水草	イトトリゲモ、ミクリ類などの生育地。乱川はじめ最上川支流の河口と古最上の湧水。種の多様性に富む。	2,3
					最上川中流域の 湧水	淡水魚類	トミヨ属雄物型の生息地。	2
135	オオヤマ カミイケ 大山 上池 ・ シモイケ 下池	山形県	鶴岡市	淡水湖沼, ため池	大山上池・下池	ガンカモ類	マガモ、コハクチョウ、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）の渡来地。	2,4
136	月山・湯殿山湿原 群	山形県	西村山郡西川 町, 鶴岡市, 東 田川郡庄内町	雪田草原, 高層湿原, 淡水湖沼	月山・湯殿山湿原 群	湿原植生	【月山山頂東側一帯、弥陀ヶ原湿原（月山高原）、念仏ヶ原、 ^{カワマン} 皮松谷地、田代沢湿原群など】ガッサンクロゴケ群落、カニツリノガリヤス群落、ショウジョウスゲーイワイチョウ群落、ミヤマイヌノハナヒゲーワタミズゴケ群落など。	1
					月山の湖沼群	淡水貝類	マメシジミ類の生息地。	2
137	朝日連峰湿原群	山形県	鶴岡市, 西村山 郡西川町, 長井 市	雪田草原, 高層湿原	朝日連峰湿原群	湿原植生	イワノガリヤスアオノツガザクラ群落、オクキタアザミートウゲブキ群落など。イワイチョウヌマガヤ群落内では、ヌマガヤ、イワイチョウなどの高山草本に、アオノツガザクラ、クロウスゴなどの木本が混生する。 【鳥原山の湿地】ホロムイソウ、ヤチスギラン、ホソバタマミクリ、カワモズク属の一種などがみられる。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
138	イイデ 飯豊連峰湿原群	山形県, 福島県, 新潟県	山形県西置賜 郡小国町・飯豊 町, 福島県耶麻 郡西会津町, 喜 多方市, 新潟県 東蒲原郡阿賀 町, 新発田市	雪田草原	飯豊連峰湿原群	湿原植生	イワノガリヤスーアオノツガザクラ群落, イワイチョウーヌマガヤ群落, オクキタ アザミートウゲブキ群落. 稜線の東-南東側直下に形成された雪窪と呼ばれる独特 の地形部位に, 残雪が最も遅くまで残る中心部から順に, アオノツガザクラ, ショ ウジョウスゲなどが優占する雪田植生が認められる. また, 稜線の平坦地にはヌマ ガヤ, イワイチョウ, ショウジョウスゲが多く, 分解の進んだ泥炭が存在する草原 が発達する.	1
						飯豊連峰湿原群	昆虫類	ババオオヨコバイの生息地.
139	アツマ 吾妻山周辺湿原 群	山形県, 福島県	山形県米沢市, 福島県福島市, 耶麻郡猪苗代 町・北塩原村	高層湿原, 雪田草原	吾妻山周辺湿原 群	湿原植生	【西吾妻山, 東大巔, 弥兵衛平, 中大巔, 矢筈山馬場谷地, 明月・明星湖湿原, 谷 地平, 景場平など】ワタスゲ-イボミズゴケ群落, ミヤマイヌノハナヒゲ-ワタミ ズゴケ群落, ショウジョウスゲ-イワイチョウ群落など.	1
140	松川浦	福島県	相馬市	汽水湖沼, 干潟	松川浦	昆虫類*	東日本大震災による津波の被害を受けたが, アオヤンマ, ネアカヨシヤンマ, ヤブ ヤンマなどが残存する. 震災以降にババアメンボ, ミゾナシミズムシが新たに発見 された. 震災以前はヒヌマイトトンボなどの記録がある.	2
					松川浦	底生動物	ホソウミニナ, イソシジミ, ゴカイ, アサリなどの生息地.	1
141	オグニ 雄国沼湿原	福島県	耶麻郡北塩原 村	高層湿原	雄国沼湿原	湿原植生	ヌマガヤ-チャミズゴケ群落, ヌマガヤ-イボミズゴケ群落など.	1
142	裏磐梯湖沼群	福島県	耶麻郡北塩原 村・猪苗代町	低層湿原, 淡水湖沼	裏磐梯湖沼群	湿原植生	【桧原湖, 小野川湖, 秋元湖, 五色沼など】オヒルムシロ, ジュンサイなどの生育 する多数の湖沼や低層湿原が散在する.	1
					五色沼周辺沼沢 地	淡水魚類	スナヤツメ北方種, ホトケドジョウ, キタノアカヒレタビラ, キタノメダカの生息 地.	2
					五色沼周辺沼沢 地	昆虫類	アマゴイルリトンボ, アオヤンマ, ルリボシヤンマ, エゾトンボ, ハッチョウトン ボなどの生息地.	2
143	猪苗代湖とその 流入河川	福島県	会津若松市, 郡 山市, 耶麻郡猪 苗代町	淡水湖沼, 河川	猪苗代湖とその 流入河川	淡水貝類	種の多様性が高い. 数種の貴重な二枚貝類の生息地.	2,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
144	赤井谷地湿原群 およびため池群	福島県	会津若松市, 耶 麻郡猪苗代町	低層湿原, 高層湿原, ため池	赤井谷地湿原	湿原植生	ヌマガヤーイボミズゴケ群落, ヌマガヤームラサキミズゴケ群落など.	1
					赤井谷地湿原, ホウショウジリ 法正尻湿原, 蟹沢湿原および ため池群	爬虫両生類*	クロサンショウウオ, トウホクサンショウウオ, アカハライモリ, ツチガエル, モ リアオガエルなどの多様な両生類が生息.	2
					法正尻湿原, 蟹沢 湿原などの湿原 およびため池群	昆虫類	アマゴイルリトンボをはじめとしたトンボ類など水生昆虫類の多様性が高い.	2,3
145	矢の原湿原	福島県	大沼郡昭和村	高層湿原	矢の原湿原	湿原植生	ミズバショウの生育地. 泥炭層が厚い.	1
					矢の原湿原	爬虫両生類*	クロサンショウウオ, トウホクサンショウウオ, アカハライモリ, モリアオガエル などの多様な両生類の生息地.	2,3
					矢の原湿原	昆虫類*	古い湿原で, トンボ類が多い.	1,2,3
146	コマド ミヤドコ 駒止・宮床湿原	福島県	大沼郡昭和村, 南会津郡南会 津町	中間湿原, 高層湿原	駒止・宮床湿原	湿原植生	ヌマガヤーチヤミズゴケ群落, ホロムイスゲーヌマガヤ群落.	1
					宮床湿原	爬虫両生類*	クロサンショウウオ, トウホクサンショウウオ, アカハライモリ, モリアオガエル などの多様な両生類の生息地.	2,3
					宮床湿原	昆虫類*	マダラナニワトンボ, ハッチョウトンボなどの生息地.	2
147	田代山湿原	福島県	南会津郡南会 津町	高層湿原	田代山湿原	湿原植生	ヌマガヤーチヤミズゴケ群落など.	1
148	尾瀬ヶ原および 尾瀬沼	福島県, 群馬県, 新潟県	福島県南会津 郡檜枝岐村, 群 馬県利根郡片 品村, 新潟県魚 沼市	高層湿原, 淡水湖沼	尾瀬ヶ原, 尾瀬沼	湿原植生	ヌマガヤーイボミズゴケ群集, ミヤマイヌノハナヒゲキダチミズゴケ群集, リュ ウキンカーミズバショウ群集, ホソバタマミクリーオゼコウホネ群集, セキショウ モースギナモ群集など.	1
					尾瀬沼	淡水藻類	カタシャジクモの生育地.	2
					尾瀬沼	爬虫両生類*	クロサンショウウオ, トウホクサンショウウオ, アカハライモリ, モリアオガエル などの多様な両生類の生息地. 周辺の沢はハコネサンショウウオの生息地.	2,3
					尾瀬周辺湿原群, 尾瀬沼	昆虫類	トンボ類・甲虫類の多様性が高い. カラカネイトトンボ, ホソミモリトンボ, ムツ アカネ, ゲンゴロウ, メススジゲンゴロウ, オゼミズギワカメムシなどが生息する.	2,3
					尾瀬沼	淡水貝類	マメシジミ類の生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
149	会津駒ヶ岳周辺 湿原群	福島県	南会津郡檜枝 岐村	高層湿原, 雪田草原	会津駒ヶ岳周辺 湿原群	湿原植生	ハクサンコザクラシヨウジョウスゲ群落, ヤチカワズスゲーキダチミズゴケ群落 など.	1
150	コウヤ 高野池	福島県	岩瀬郡鏡石町	ため池	高野池	ガンカモ類*	オオハクチョウ, オナガガモの渡来地.	4
151	小名浜・塩屋崎の 周辺沿岸	福島県	いわき市	藻場	小名浜・塩屋崎の 周辺沿岸	海草・海藻	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落があり, 多様な生物相を有する.	1,3
152	サメガワ 鮫川河口	福島県	いわき市	干潟	鮫川河口	底生動物*	河口の潟湖干潟. 東京湾と仙台湾のベントス個体群を繋ぐ「飛び石(浮遊幼生の供給源)」となりうる, ホソウミニナが高密度で生息している. ツバサゴカイも生息する.	1,2
153	北茨城市地先海 岸	茨城県	北茨城市	藻場	北茨城市地先沿 岸	海草・海藻	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落があり, 多様な生物相を有する.	1,3
154	イシハマ 伊師浜, 小貝浜お よび高磯	茨城県	日立市	藻場	伊師浜	海草・海藻	エビアマモなどが相当数が生育する.	4
					小貝浜, 高磯	海草・海藻	エビアマモなどが相当数が生育する.	4
155	那珂湊地先沿岸	茨城県	ひたちなか市, 東茨城郡大洗 町	藻場	那珂湊地先沿岸	海草・海藻	【大洗・平磯】エビアマモの生育地. 【大洗・阿字ヶ浦】コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落.	1,3
156	センバ 千波湖	茨城県	水戸市	湖沼, 湧水	千波湖および周 辺湧水	淡水魚類*	都市部近郊地域にあつて, ホトケドジョウなどの生息地.	1,2
157	ヒ 涸沼	茨城県	東茨城郡茨城 町・大洗町, 鉾 田市	汽水湖沼	涸沼	湿原植生	ヨシ, ガマ, マコモ, フトイ, サンカクイ, ヒシ, クロモ, マツモ, セキシヨウモ, コケモドキアヤギヌ群落.	3
					涸沼	ガンカモ類	スズガモの渡来地.	4
					涸沼	淡水魚類	陸封型湖沼系群ニシンの南限. ジュズカケハゼ, クルメサヨリ, ミナミメダカ, ニ ホンウナギ, ウツセミカジカの生息地.	2
					涸沼	昆虫類	汽水域のヨシ, マコモ帯に生息するヒヌマイトトンボのタイプ産地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
158	霞ヶ浦・北浦水系の河川・湖沼群	茨城県, 千葉県	茨城県小美玉市, 行方市, 稲敷市, 銚田市, 石岡市, 牛久市, 鹿嶋市, 潮来市, かすみがうら市, 神栖市, 千葉県香取市	湿原, 河川, 淡水湖沼, その他湿地	霞ヶ浦・北浦湖沼群 (霞ヶ浦・北浦・浮島湿原を含む)	湿原植生	マコモ・ヨシ群落, ミクリ群落, アサザなど. 【浮島湿原】カモノハシ・ヨシ群落.	1
					霞ヶ浦・稲波干拓地・北浦	ガンカモ類	【霞ヶ浦】マガモ, コガモの渡来地. 【稲波干拓地】ヒシクイ (亜種オオヒシクイ) の渡来地.	2,4
					霞ヶ浦・北浦水系の河川・湖沼	淡水魚類	在来タナゴ類など小型コイ科魚類, ハゼ類の生息地. 種の多様性が高い.	2,3
					霞ヶ浦	淡水貝類	イシガイ類などの生息地. 種の多様性が高い.	2,3
159	利根川下流部	茨城県, 千葉県	茨城県神栖市, 千葉県香取市, 香取郡東庄町	砂浜, 河川, その他湿地	利根川下流部	シギ・チドリ類	【波崎の砂浜, 神栖・矢田部西前宿などの河川敷】チュウシャクシギ, ツルシギ, ミユビシギ, キョウジョシギ, ミヤコドリ, メダイチドリ, ハマシギ, キアシシギ, ムナグロの渡来地.	3,4
					小見川および東庄	湿地性鳥類	オオセッカ, チュウヒの繁殖地.	2
					日川浜から波崎の海岸	湿地性鳥類*	コアジサシの継続的な集団繁殖地.	2,4
160	スガオ菅生沼	茨城県	坂東市, 常総市	淡水湖沼	菅生沼	湿原植生	ヨシ群落, マコモ群落, カササゲ群落, アカメヤナギ林. オニナルコスゲなどの生育地.	1
					菅生沼	淡水藻類*	フトチスジノリ (紅藻) の生育地.	2
					菅生沼	ガンカモ類	コハクチョウ, マガンの渡来地.	2,4
161	那須山麓湿地群	栃木県	那須郡那須町	その他湿地	那須山麓湿地群	昆虫類	【高久甲, 高久丙, 小深堀, 寺子丙, 戸能など】半自然草原で, マルガタゲンゴロウ, ヒメハバビロドROMシ, ヒラタネクイハムシ, ガガブタネクイハムシ, ツヤネクイハムシ, オオルリハムシ, ヒウラアシナガハムシ, ハッチョウトンボなどが生息する. 周辺の草原にはアサカミキリ, プチヒゲツノヘリカメムシ, チャマダラセセリ, ナカノテングスケバなども生息する.	2
162	大田原市の湧水湿地	栃木県	大田原市	湧水湿地, 水路	大田原市の湧水湿地	淡水魚類	ミヤコタナゴ, 陸封性イトヨの生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
163	鬼怒川中流域の河川敷と周辺湿地	栃木県	塩谷郡塩谷町, さくら市	河川, その他湿地	鬼怒川中流域の河川敷と周辺湿地	昆虫類	シルビアシジミなど貴重な種の生息地.	2,3
164	カミコウド コウト 上河戸・河戸新田のため池群	栃木県	さくら市	ため池	上河戸・河戸新田のため池群	昆虫類	フトイ群落に生息するアカガネネクイハムシのタイプ産地. その他にキンイロネクイハムシ, ツヤネクイハムシ, オオルリハムシ, ジュウシホシツツハムシ, オゼイトトンボなどの生息地.	2
165	キヌ 鬼怒沼湿原	栃木県	日光市	中間湿原, 高層湿原	鬼怒沼湿原	湿原植生	ヌマガヤーチャミズゴケ群落, ヌマガヤーイボミズゴケ群落, ホロムイスゲーヌマガヤ群落.	1
					鬼怒沼湿原	淡水藻類*	ホソカワモズク (紅藻) の生育地.	2
166	中禅寺湖	栃木県	日光市	淡水湖沼	中禅寺湖	淡水藻類	ヒメフラスコモ, カタシャジクモ, シャジクモの生育地.	2
167	湯ノ湖, 戦場ヶ原, 小田代原の周辺湿地	栃木県	日光市	高層湿原, 淡水湖沼	湯ノ湖, 戦場ヶ原, 小田代原	湿原植生	ヌマガヤーイボミズゴケ群落, オオアゼスゲ群落.	1
					湯ノ湖と周辺湖沼	淡水藻類	オオフラスコモ, カタシャジクモの生育地.	2
168	弁天沼湿原	栃木県	日光市	湧水湿地	弁天沼湿原	昆虫類	カラカネイトトンボ, ハッチョウトンボ, エサキアメンボ, キンイロネクイハムシなどの生息地.	2
169	宇都宮周辺湿地	栃木県	宇都宮市	湧水湿地, その他湿地	長岡湿地	昆虫類	ゲンジボタル, キンイロネクイハムシ, ハネビロエゾトンボ, クロマメゲンゴロウなどが生息する.	2,3
					コマネユウ 駒 生 湿地	昆虫類	ハッチョウトンボ, カヤキリ, ハガクビナガゴミムシ, オオタキスイモドキ, パバヒメテントウなどの生息地.	2,3
170	ワトラセ 渡良瀬遊水地および周辺水田	栃木県, 群馬県, 埼玉県, 茨城県	栃木県栃木市, 小山市, 下都賀郡野木町, 群馬県板倉町, 埼玉県加須市, 茨城県古河市など	低層湿原, 水田, その他湿地	渡良瀬遊水地	湿原植生	ヨシ群落, オギ群落, ウキヤガラマコモ群集, アカメヤナギ群落, ワタラセツリフネソウ, ノダイオウなど地域の固有種が生育する.	1
					渡良瀬遊水地および周辺水田	シギ・チドリ類*	ムナグロ, キアシシギの渡来地.	2,4
					渡良瀬遊水地および周辺水田	湿地性鳥類*	オオセッカの繁殖地, チュウヒ類の渡来地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					渡良瀬遊水地	昆虫類	アオモンイトトンボ、ムスジイトトンボなどの南方種、オオモノサシトンボ、アカガネオサムシ、ワタラセハンミョウモドキ、ババアメンボなどの生息地。セスジガムシ、オビヒメコメツキモドキ、ワタラセミズギワアリモドキなど湿地特有の種が多く、また、ワタラセツブゲンゴロウなどの固有種も生息する。	2,3
171	ジョウスマ 多々良沼・城沼 および多々良川	群馬県	館林市, 邑楽郡 邑楽町	淡水湖沼, 河川, 休耕地	多々良沼, 多々良川	水草*	キタミソウの大規模な自生地を含み、多々良沼周辺の休耕地は北限種の水草や貴重な湿生植物が多数生育する。	2
					多々良沼・城沼および多々良川	ガンカモ類*	コハクチョウ、オナガガモ、ミコアイサなどの渡来地。	2
172	モリンジ 茂林寺沼湿原	群馬県	館林市	低層湿原	茂林寺沼湿原	湿原植生*	カキツバタ、ノハナショウブ、クサレダマなどの生育地。関東地方の平野部に残存する低層湿原のなかで規模が大きく、貴重な湿生植物の生育地。	1,2
173	ヤセ 八瀬川	群馬県	太田市	河川	八瀬川	淡水藻類	アツカワオオイシソウ（紅藻）の生育地。	2
174	利根川源流山稜 高層湿原群	群馬県, 新潟県	群馬県利根郡 みなかみ町, 新潟県南魚沼市, 南魚沼郡湯沢町, 魚沼市	高層湿原, 雪田草原	利根川源流山稜 高層湿原群(平ヶ岳から朝日岳)	湿原植生	イワイチョウヌマガヤ群集などの雪田草原が発達し、池塘周辺などにヌマガヤーイボミズゴケ群集やミヤマミズゴケ群集が生育する。	1
175	ヨシガダイラ 芳ヶ平湿原など 草津周辺湿原群	群馬県	吾妻郡草津町・中之条町	中間湿原, 高層湿原	芳ヶ平湿原など 草津周辺湿原群	湿原植生	【芳ヶ平湿原】ワタスゲ群落、ヒゲノガリヤスーヒオウギアヤメ群落、ヨシ群落、ハクサンスゲーエゾホソイ群落、ヤチスゲ群落など、酸性水など火山の影響を直接受け、未発達な群落が生育する。 フウキバラ 【富貴原ノ池、弓池、大平湿原、チャツボミゴケ公園など】ワタスゲ群落、ヤチカワズスゲーヌマガヤ群落、オオヌマハリイ群落、エゾホソイ群落など。	1
176	カクマンブチ 覚満淵湿原お アカギ よび赤城大沼	群馬県	前橋市	高層湿原, 淡水湖沼	覚満淵湿原	湿原植生*	ヌマガヤーイボミズゴケ群集、ミカヅキグサ群落、ノハナショウブーヌマガヤ群集。	1
					赤城大沼	水草*	貴重な水草の生育地。本州中部ではまれな北方系および山地系の水草が分布する。	2
177	ホタカ 武尊山周辺湿原群	群馬県	沼田市, 利根郡 みなかみ町・片品村	高層湿原, 中間湿原	武尊山周辺湿原群(玉原湿原, 田代湿原を含む)	湿原植生*	多雪地における傾斜湿原の典型的な湿原。多様な植生タイプを含み、地域的な固有種が多く、一部の種では分布域の南限となっている。	1,2
178	オオミネ 大峰沼湿原	群馬県	利根郡みなかみ町	高層湿原, 淡水湖沼	大峰沼湿原	湿原植生	イボミズゴケ群落、ハリミズゴケ群落、ウロコミズゴケーサワギキョウ群落。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
179	杉戸町の遊水池	埼玉県	北葛飾郡杉戸町	その他湿地	杉戸町の遊水池	昆虫類*	局限分布する希少なトンボ類2種の生息地.	2
180	ホウゾウジ 宝蔵寺沼	埼玉県	羽生市	淡水湖沼	宝蔵寺沼	湿原植生	ムジナモの生育地.	2
181	ミヌマダイヨウスイ 見沼代用水	埼玉県	埼玉県南東部の市町	水路	見沼代用水	淡水藻類	アツカワオオイシソウ（紅藻）の生育地.	2
182	シラコ 白子川流域の湧水群	埼玉県	和光市	湧水	白子川水系の湧水群	淡水藻類*	カワモズク（紅藻）の生育地.	2
183	ミョウオンザワ 妙音沢の大沢・小沢	埼玉県	新座市	湧水湿地	妙音沢の大沢・小沢	淡水藻類*	カワモズク（紅藻）の生育地.	2
184	狭山丘陵周辺の湿地	埼玉県, 東京都	埼玉県入間市など	湧水湿地	狭山丘陵周辺の湿地	昆虫類	ムカシヤンマなどの生息地.	2
185	イヌボウサキ 犬吠埼周辺沿岸	千葉県	銚子市	藻場	犬吠埼周辺沿岸	海草・海藻	エビアマモの生育地. コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落（寒流系海藻の分布の南限域）.	1,2,3,4
186	九十九里浜	千葉県	旭市, 匝瑳市, サンム サンプ 山武市, 山武郡 横芝光町・九十九里町, 長生郡 白子町	砂浜	九十九里浜(飯岡海岸から南白亀川周辺)	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の個体数が多い. ミユビシギなどの渡来地.	4
					九十九里浜(飯岡海岸)	湿地性鳥類*	コアジサシの継続的な集団繁殖地.	2,4
187	東総地域のため池群および周辺水路	千葉県	銚子市, 匝瑳市, 旭市, 香取郡多古町	ため池, 水路	東総地域のため池群および周辺水路	淡水魚類*	在来タナゴ類などの生息地.	2
188	小野川	千葉県	香取市	河川	小野川	淡水藻類	オオイシソウ（紅藻）, アツカワオオイシソウ（紅藻）の生育地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
189	北総地域の谷津田	千葉県	印西市, 白井市, 佐倉市, 千葉市, 成田市, 山武市	河川, 水田, 水路, 湧水	北総地域の谷津田	淡水魚類	在来タナゴ類, スナヤツメ, ミナミメダカ, ホトケドジョウ, ギバチの生息地.	2
					北総地域の谷津田	淡水貝類	イシガイ類の生息地.	2
190	はきだし沼	千葉県	野田市	淡水湖沼	はきだし沼	昆虫類	オオセスジイトトンボ, オオモノサシトンボの生息地.	2
191	じゅん菜池	千葉県	市川市	その他湿地	じゅん菜池	淡水藻類	イノカシラフラスコモの生育地.	2
					じゅん菜池	昆虫類	貴重な種を含むトンボ類が豊富に見られる.	2,3
192	市川市大町周辺の谷津田	千葉県	市川市	水田, 湧水	市川市大町周辺の谷津田	淡水魚類*	スナヤツメ, ホトケドジョウなどの生息地.	2
193	房総丘陵小櫃川・養老川・夷隅川水系の水田・休耕田	千葉県	君津市, 夷隅郡大多喜町, 勝浦市など	河川, 水田, 休耕田, 湧水	房総丘陵小櫃川・養老川・夷隅川水系の水田・休耕田	淡水魚類	ホトケドジョウ, スナヤツメ, ギバチなどの生息地. また, 貴重な水生昆虫類も生息する.	2
					房総丘陵夷隅川水系の河川	淡水貝類	イシガイ類の生息地.	2
194	ナルトウ成東湿原	千葉県	山武市, 東金市	その他湿原	成東湿原	湿原植生	タヌキモなどの食虫植物群落.	2
195	ノコギリ鋸山・富山・アタゴ愛宕山周辺の水田・休耕田	千葉県	南房総市, 安房郡鋸南町, 富津市, 鴨川市	湧水, 水田, 休耕田	鋸山・富山・愛宕山周辺の水田・休耕田	昆虫類	湧水のある水田, 休耕田に多様な水生昆虫類が残存する.	2,3
196	一宮川・夷隅川の河口部	千葉県	長生郡長生村・一宮町	塩性湿地, 干潟	一宮川河口	湿原植生	ヨシ・シオクグ群落, ヨシ・イソヤマテンツキ群落の生育地.	1
					一宮川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い. ミユビシギ, アカアシシギなどの渡来地.	2,3,4
					一宮川・夷隅川の河口部	底生動物	外房の主要な河口干潟であり干潟生物の生息地として重要. ヒガタスナホリムシ, イソシジミガイ, オオノガイ, ヤマトオサガニ, コメツキガニなどの生息地.	1
197	ウバラ鵜原地先沿岸, 鯛ノ浦	千葉県	勝浦市, 鴨川市	藻場	鵜原地先沿岸, 鯛ノ浦	海草・海藻	藻場の面積が大きく, 貴重な種を含む多くの種が生育する. 紅藻有節サンゴモ, ヒラクサ, ミヤヒバ, ビリヒバ, エゾシコロ, オオシコロ, フサカニノテ, ヘリトリカニノテの生育地.	1,2,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
198	館山湾	千葉県	館山市	藻場	館山湾	海草・海藻	藻場の面積が大きく、貴重な種を含む多くの種が生育する。アマモやウミヒルモ(北限)の生育地。	1,2,3
199	ハサマ バンダ 館山波佐間, 坂田	千葉県	館山市	サンゴ礁	館山波佐間, 坂田	造礁サンゴ	造礁サンゴ分布の北限に近いが、多くの種が報告される。	3
200	東京湾の干潟・浅瀬	千葉県, 東京都, 神奈川県	千葉県君津市, 船橋市, 市川市, 習志野市, 木更津市, 袖ヶ浦市, 富津市, 東京都江戸川区, 大田区, 神奈川県川崎市, 横浜市	塩性湿地, 干潟, 藻場, 水路, 浅海域	オビツ 小櫃川河口(盤州干潟)	海草・海藻	コアマモなどが相当数生育する。	1,4
					小櫃川河口(盤州干潟)	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。シロチドリ, キアシシギ, ハマシギ, メダイチドリ, チュウシャクシギ, キョウジョシギ, ミユビシギ, ハマシギ, セイタカシギ, アカアシシギ, ホウロクシギ, ツバメチドリの渡来地。	2,3,4
					小櫃川河口(盤州干潟)	昆虫類	キイロホソゴミムシの大規模な生息地。	2
					小櫃川河口(盤州干潟)	底生動物	東京湾最大の塩性湿地を伴う自然干潟。豊富な二枚貝とともに、フトヘナタリ, ウモレベンケイガニ, ハマガニ, ヒメアシハラガニ, イボキサゴなどの生息地。	1,3
					富津地先沿岸	海草・海藻	東京湾に唯一まとまって残ったアマモ場(アマモ・コアマモ)。	1,2
					富津干潟	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・生息数が多い。ミユビシギ, チシマシギ, アカアシシギ, ホウロクシギの渡来地。	2,3,4
					富津干潟	底生動物	東京湾で最も湾口部の砂質干潟で、大規模なアマモ場をともなう。アサリ, シオフキガイの生息地。	1
					養老川から富津の水路	底生動物*	埋立地後背部の水路で干潮時には干潟となる。アリアケモドキ, ヒメアシハラガニ, ウミニナ, フトヘナタリ, ツボミ, サザナミツボなどの生息地。	2,3
					東京湾(富津砂州, 三番瀬)	ガンカモ類	スズガモの渡来地。	4
					三番瀬	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。ハマシギ, ミヤコドリ, ダイゼン, メダイチドリ, キアシシギ, キョウジョシギ, ミユビシギ, ホウロクシギなどの渡来地。	2,3,4
三番瀬	底生動物	東京湾奥部の最大の干潟・浅海域。アサリなどの二枚貝類やタマシキゴカイの生息が豊富で東京湾の水の浄化機能も高い。	1					

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					谷津干潟	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・生息数が多い。ハマシギ、セイタカシギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、キアシシギ、キョウジョシギ、ミユビシギ、セイタカシギ、ホウロクシギ、アカアシシギの渡来地。	2,3,4
					東京湾奥部の河口	淡水魚類	トビハゼ生息地の北限（小櫃川、養老川、江戸川、多摩川などの河口）。小櫃川河口干潟にはエドハゼ、チクゼンハゼ、マサゴハゼ、ヒモハゼも生息する。	2
					江戸川放水路	底生動物	砂質から泥干潟そして一部ヨシからなる塩性湿地。ハナグモリ、オキシジミガイなどの貴重な種を含む東京湾奥部の干潟生物の生息地。	1,2
					江戸川下流域	昆虫類	ヒヌマイトトンボの生息地。	2
					葛西海浜公園および周辺海域	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。メダイチドリ、キョウジョシギ、セイタカシギ、ホウロクシギなどの渡来地。	2,3,4
					東京港野鳥公園、大井ふ頭中央海浜公園、森ヶ崎	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。セイタカシギなどの渡来地。	2,3,4
					多摩川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。貴重な種を含む種の多様性が高い。	2,3,4
					多摩川河口	底生動物*	広大な塩性湿地を含む泥干潟が広がり、東京湾では希少なヤマトシジミの個体数が多い。また、ベンケイガニ、アカテガニなどのカニ類の種の多様性が高い。	2,3
					野島海岸	底生動物	湾の神奈川県側に残った貴重な自然干潟であり、オサガニ、マテガイやその他の東京湾干潟動物の生息地。	1
201	コアイダメ 水元小合溜	東京都	葛飾区	河川, その他湿地	水元小合溜	淡水魚類*	都市部にある水域であり、貴重な淡水魚類の潜在的な生息地。かつては、希少な在来タナゴ類などが生息していた。	1,2
202	多摩丘陵地帯の湧水湿地	東京都	青梅市, 西多摩郡日の出町, あきる野市, 八王子市	湧水湿地	多摩丘陵地帯の湧水湿地	爬虫両生類	トウキョウサンショウウオの生息地。	2
203	式根島港周辺	東京都	新島村	藻場	式根島港周辺	海草・海藻	アントクメ、ヒジキ（伊豆七島では唯一の群落）、ヤツマタモク、アカモク、コブクロモク、マクサなどの生育地。海中林、テングサ場。	1,2,3
204	八丈島周辺沿岸	東京都	八丈町	藻場	八丈島周辺沿岸	海草・海藻	ホンダワラ科主体の海藻群落として相当の規模の面積を有している。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
205	小笠原諸島陸水域	東京都	小笠原村	河川, その他湿地	小笠原諸島陸水域	淡水魚類	オガサワラヨシノボリ, チチブモドキの生息地.	2
					聳島列島・父島列島・母島列島の陸水域	昆虫類*	オガサワラアオイトトンボ, オガサワラトンボ, シマアカネ, オガサワラニンギョウトビケラ, オガサワラアメンボ, オガサワラミズギワカメムシなどの固有種の生息地.	2
					小笠原諸島陸水域	淡水貝類	固有種であるオガサワラカワニナなどの生息地.	2,4
206	小笠原諸島周辺の砂浜海岸および周辺浅海域	東京都	小笠原村	砂浜, 干潟, サンゴ礁, 浅海域	小笠原群島	造礁サンゴ	エブロン礁. 希少種(カービーアサノエダサンゴ)を含み, 自然状態がよく保たれている.	1
					小笠原諸島	ウミガメ	小笠原諸島は太平洋有数のアオウミガメの産卵地であり, 本種の産卵地でも最北に位置する. 砂浜の後背の植生もよく保全されている. 明治時代から昭和にかけて捕獲頭数の記録が残されており, 個体群サイズの減少がわかる貴重な個体群である.	5
					小笠原諸島周辺の干潟群	底生動物	オガサワラスガイ, オガサワラベニシオマネキ, オガサワラクロベンケイガニなど固有種の生息地.	2
207	二ツ池	神奈川県	横浜市鶴見区	ため池	二ツ池	昆虫類*	希少な昆虫類の生息地. 古くから存在するため池で, 近年, 抽水植物が卓越してから急速に水質が改善し, 沈水・浮葉植物が回復したため, 昆虫類の生息数が増えている.	2
208	三浦半島の湾・入江干潟および沿岸	神奈川県	三浦市, 横須賀市	塩性湿地, 干潟, 藻場, その他湿地	観音崎周辺沿岸	海草・海藻	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落として相当の規模の面積を有している.	1
					油壺湾, 諸磯湾, 三浦海岸, 小網代湾, 江奈湾, 大浦海岸	海草・海藻	アマモ群落, カジメ場, ガラモ場. 【油壺湾, 諸磯湾】アマモ, タチアマモ, ヒロハクロメなどの生育地. 【三浦海岸, 小網代湾】タチアマモの生育地. 【三浦海岸, 江奈湾, 大浦海岸】コアマモの生育地.	1,3
					毘沙門から劔崎沿岸	海草・海藻	亜熱帯性海藻の北限域であり, 多様な生物相を有する.	3
					小田和湾	海草・海藻	アマモ, アラメ, クロメ, カジメ, アナアオサ, リボンアオサなどの生育地.	1,2,3
					小網代の森とその周辺	昆虫類*	コシボソヤンマ, アサヒナカワトンボ, ヤマサナエなどの生息地.	2
					小網代の森と小網代湾	底生動物	自然林間の河川, 河口, 入江の水系として連続した自然形状の保存がきわめて良好でアカテガニやモクズガニなど海と淡水を往復する水生動物が豊富.	3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					江奈湾	底生動物	ヨシ群落の塩性湿地が発達する入江干潟。ホソウミニナ、ヤマトオサガニ、チゴガニなどの生息地。	1
209	相模川中流域	神奈川県	相模原市, 厚木市	河川	相模川中流域	淡水貝類*	希少な巻貝類の生息地。	2
210	相模川の河口部	神奈川県	平塚市	干潟	相模川の河口部	底生動物	相模湾奥部に形成された貴重な干潟で、相模湾での干潟動物の着底場として重要。塩性湿地周辺のわんどにはアリアケモドキが生息する。希少種タイワンヒライドモドキの北限生息地。	1
211	芦ノ湖	神奈川県	足柄下郡箱根町	淡水湖沼	芦ノ湖	淡水藻類	希少な淡水藻類の生育地。	2
					芦ノ湖	淡水貝類	種の多様性が高く、ヨコハマシジラガイ、ニホンマメシジミの生息地。	2,3
212	センゴクハラ 仙石原湿原	神奈川県	足柄下郡箱根町	低層湿原	仙石原湿原	湿原植生	イトイヌノヒゲの生育地。	1
					仙石原湿原	昆虫類	オオルリハムシなどの生息地。カタツムリトビケラの北限分布地。	2
213	真鶴岬周辺沿岸	神奈川県	足柄下郡真鶴町	藻場	真鶴岬周辺沿岸	海草・海藻	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落があり、多様な生物相を有する。	3
214	佐渡島北部沿岸	新潟県	佐渡市	藻場	佐渡島北部沿岸	海草・海藻	日本海に点在する島嶼では最大規模の藻場。多様な生物相を有する。	1,3
215	カモ 加茂湖 および クニナカ 国中平野の水田 地帯	新潟県	佐渡市	汽水湖沼, 河川, 水田, 水路, ため池	加茂湖	ガンカモ類*	コガモ, ヨシガモ, ホオジロガモの渡来地。	4
					加茂湖周辺および 国中平野のヨシ原, 水田地帯	爬虫両生類*	貴重な両生類の生息地。	2
216	佐渡島南部沿岸	新潟県	佐渡市	藻場	佐渡島南部沿岸	海草・海藻	エチゴネジモクなど相当数が生育している。多様な生物相を有する。	1,3,4
217	松ノ木平の池および 周辺池沼	新潟県	村上市	ため池	松ノ木平の池および 周辺池沼	昆虫類*	貴重な水生昆虫類の生息地。	2
218	ジモト 地本湧水	新潟県	胎内市	湧水	胎内川伏流水, 地 本湧水	湿原植生	ハンノキ林・ミズバショウ群生地, ミクリの生育地。相当数が生育する。	2,4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
219	新潟海岸	新潟県	新潟市, 北蒲原郡聖籠町, 村上市, 胎内市, 新発田市	砂浜	加治川河口, 阿賀野川河口, 荒川河口, 落堀川河口, 胎内川河口	湿地性鳥類*	コアジサシの継続的な集団繁殖地.	2,4
220	信濃川および阿賀野川の下流域	新潟県	新潟市, 長岡市	河川, 水田, 水路	阿賀野川, 信濃川	ガンカモ類*	【阿賀野川 (小杉から六郷)】コハクチョウ, シジュウカラガンの渡来地. 【信濃川 (与板橋から分水堰)】コハクチョウ, マガン, マガモ, オナガガモなどの渡来地.	2,4
					信濃川および阿賀野川のウケクチウグイ生息地	淡水魚類	ウケクチウグイの生息地.	2
221	佐 潟 およびトヤノ鳥屋野潟を含む新潟砂丘湖沼群	新潟県	新潟市	淡水湖沼, ため池	新潟砂丘湖沼群	湿原植生	【佐潟】ヨシ群落, オニバス自生地北限付近であり, 貴重な種が生育する. 【お幕場大池, 清潟, 松浜の池, ジュンサイ池, 北山の池, 御手洗池など】それぞれの湖沼に独特の水辺の植物が生育する.	2
					松浜の池	昆虫類	オオセスジイトトンボ, オオモノサシトンボ, マダラヤンマなどの生息地.	2
					佐潟, 上佐潟, 御手洗潟	ガンカモ類	コハクチョウ, ヒシクイ (亜種オオヒシクイ), マガン, シジュウカラガン, マガモ, コガモの渡来地.	2,4
					鳥屋野潟, 清五郎潟	ガンカモ類	コハクチョウ, ヒシクイ (亜種オオヒシクイ), マガモコガモの渡来地.	2,4
					鳥屋野潟	淡水貝類	ヒダリマキモノアラガイ, カワネジガイなどの生息地.	2
222	福島潟およびヒョウ瓢湖	新潟県	新潟市, 新発田市, 阿賀野市	淡水湖沼, 水田, ため池	福島潟	湿原植生	ヨシ群落, マコモ群落, オニバス自生地北限であり, 貴重な種が生育している.	2
					福島潟とその周辺水田	ガンカモ類	コハクチョウ, ヒシクイ (亜種オオヒシクイ), マガン, シジュウカラガン, マガモ, コガモの渡来地.	2,4
					瓢湖	ガンカモ類	オオハクチョウ, コハクチョウ, オナガガモの渡来地.	4
					福島潟のウケクチウグイ生息地	淡水魚類	ウケクチウグイの生息地.	2
223	柏崎沿岸	新潟県	柏崎市	藻場	柏崎沿岸 (宮川から椎谷)	海草・海藻	ウスイロモク, フシイトモク, フシスジモク, カタツルモ, イシモズクの生育地. それぞれの純群落が砂地に点在する平坦な岩盤に自生する. 砂面からの水深に応じて群落が成立する. 相当数が生育する.	1,2,3,4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
224	魚沼地方のシナイモツゴ生息ため池・池沼群	新潟県	十日町市, 小千谷市, 中魚沼郡津南町, 南魚沼市	淡水湖沼, ため池	魚沼地方のシナイモツゴ生息ため池・池沼群	淡水魚類	シナイモツゴの大規模な生息地。ナガブナも生息。	2
225	苗場山周辺湿原	新潟県, 長野県	新潟県十日町市, 中魚沼郡津南町, 南魚沼郡湯沢町, 長野県下水内郡栄村	高層湿原, 雪田草原, ため池	苗場山周辺湿原 (苗場山湿原, 小松原湿原など)	湿原植生	ヌマガヤ群落, イワイチョウーショウジョウスゲ群落, ヤチスゲ群落, ミヤマホタルイ群落など。	1
					苗場山周辺のため池群	淡水魚類*	シナイモツゴの生息地。	2
226	妙高高原周辺湿原	新潟県	妙高市	高層湿原, 低層湿原	妙高高原周辺湿原 (イモリ池湿原, 高谷池湿原など)	湿原植生	ミカツキグサーミヤマイヌノハナヒゲ群落, リュウキンカーミズバシヨウ群落, イワイチョウーショウジョウスゲ群落など。	1
					妙高高原周辺湿原	昆虫類	【沼湿原, イモリ池湿原, 高谷池湿原など】メススジゲンゴロウなどが生息する。	2
227	クビキ 頸城湖沼群	新潟県	上越市	淡水湖沼, 湧水, ため池	頸城湖沼群	湿原植生*	【長峰池, 坂田池, 天ヶ池, 蜘蛛池など】周囲の砂丘からの湧水によって涵養されている湿地で, それぞれの湖沼に貴重な植物が生育している。	1,2
					朝日池, 鵜の池	ガンカモ類	コハクチョウ, ヒシクイ (亜種オオヒシクイ), マガン, マガモの渡来地。	2,4
228	サンフ 上越市 (三和区) のため池群	新潟県	上越市	ため池	上越市 (三和区) のため池群	水草	三和区の谷内池はオニバス, ミズオオバコなどが多く, かつては種の多様性が高かった。管理が不十分な池もあるが, 水面が残されており, 依然として水草の生育地として重要である。	2,3
229	白馬岳周辺湿地群	新潟県, 長野県, 富山県	新潟県糸魚川市, 長野県北安曇郡小谷村・白馬村, 富山県下新川郡朝日町, 黒部市	中間湿原, 高層湿原, 雪田草原, 淡水湖沼	白馬岳周辺湿地群	湿原植生	【朝日岳から唐松岳の雪田, 白馬大池, 八方池, 長池などの高山湖沼, かもしか平, 兵馬の平, 天狗原湿原, 梅池湿原, 八方尾根湿原など】イワイチョウーショウジョウスゲ群落, ヌマガヤ群落, ミカツキグサーミヤマイヌノハナヒゲ群落など。	1
					白馬岳周辺湿地群	昆虫類	【朝日岳, 白馬大池, 天狗原湿原, 梅池自然公園, 八方山湿原, とおみ湿原, ガクモ原など】エゾイトトンボ, カオジロトンボなどの生息地。	2
230	河口湖	山梨県	南都留郡富士河口湖町	淡水湖沼	河口湖	淡水藻類	ヒメフラスコモ, カタシャジクモ, シャジクモの生育地。	2
					河口湖	水草*	ヒメバイカモ, トリゲモを含む多様な水草群落が残存している。	2,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
231	山中湖	山梨県	南都留郡山中湖村	淡水湖沼	山中湖	淡水藻類	ヒメフラスコモ, カタシャジクモ, シャジクモの生育地.	2
232	西湖	山梨県	南都留郡富士河口湖町	淡水湖沼	西湖	淡水藻類*	河口湖, 山中湖と同様に, ヒメフラスコモ, カタシャジクモ, シャジクモの生育地.	2
233	忍野村湧水群	山梨県	南都留郡忍野村	湧水	忍野村湧水群	水草	富士山麓の湧水に形成された植生である. 忍野八海自体は観光地化による水環境の変化が著しいことが, 前回の選定時にも有識者から指摘されていた. 魚類による水草への影響についても今後の調査を要するものの, 依然として水草の重要な生育地である.	1
234	ニラサキ 韮崎市の両生類 生息地	山梨県	韮崎市	ため池	アマリ 甘利山さわら池	爬虫両生類*	両生類の大規模な生息地.	1
					タカノ 鷹ノ田の池	爬虫両生類*	両生類の大規模な生息地.	1
235	志賀高原周辺湿 原群	長野県	下高井郡山ノ 内町・木島平村	高層湿原	志賀高原周辺湿 原群	湿原植生	【四十八池湿原, 田ノ原湿原, 高天ヶ原・一ノ瀬湿原, 焼額山湿原, 北ドブ湿原, 一沼など】ミカヅキグサーミヤマイヌノハナヒゲ群落, スマガヤ群落など.	1
					志賀高原周辺湿 原群	昆虫類	キイロマツモムシの南限生息地. エゾイトトンボ, ルリイトトンボ, モイワサナエ, カオジロトンボ, チャイロシマチビゲンゴロウなどの生息地.	2
236	黒姫山湖沼・湿原 群	長野県	上水内郡信濃 町	低層湿原, 中間湿原, 淡水湖沼	黒姫山湖沼・湿原 群	湿原植生	【黒姫山大池, 古池, 御鹿池, 古池湿原, 大だるみ湿原, 御鹿池湿原, 赤谷地湿原 など】ヨシーミズバショウ群落など. 【種池】人工構造物のない天然池. ヨシーミズバショウ群落など. 水草が豊富. ア サザ, ジュンサイ, ヒツジグサ, ハイハマボスなど.	1
237	サカ 逆サ川	長野県	長野市	河川	逆サ川	淡水貝類	コガタカワシンジュガイのタイプ産地かつ南限.	2
238	茶白山周辺のた め池群	長野県	長野市	ため池	茶白山周辺ため 池群	淡水魚類	シナイモツゴの大規模生息地.	2
239	霧ヶ峰湿原群	長野県	諏訪市, 諏訪郡 下諏訪町	高層湿原	霧ヶ峰湿原群	湿原植生	【八島ヶ原湿原, 池のくるみ踊場湿原, 車山湿原など】スマガヤーチャミズゴ ケ群落, スマガヤーイボミズゴケ群落など. ホロムイヌゲ, ミカヅキグサなどの生 育地.	1
					霧ヶ峰湿原群	昆虫類	【八島ヶ原湿原, 池のくるみ踊場湿原, 車山湿原, 霧ヶ峰湿原など】尾瀬ヶ原と並 ぶ高層湿原. 高山性のルリイトトンボ, カラカネトンボの生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
240	諏訪湖および流入河川	長野県	諏訪市, 岡谷市, 諏訪郡下諏訪町	淡水湖沼, 河川	諏訪湖および流入河川	昆虫類*	メガネサナエの生息地.	2
241	仁科三湖および周辺湖沼・湿地群	長野県	大町市, 北安曇郡白馬村	低層湿原, 湧水湿地, 淡水湖沼, 河川	木崎湖周辺湖沼・湿地群	湿原植生	^{イヤリ} 【居谷里湿原, 唐花見湿原, 姫川源流・ ^{オヨミ} 親海湿原, 中綱湖など】ハナノキ, アサザ, フクジュソウ, ザゼンソウ, ミズバショウ, バイカモの生育地.	1,3
					落倉湿原と周辺湿地	爬虫両生類	ハクバサンショウウオなどの生息地.	2
					仁科三湖周辺湖沼・湿地群	昆虫類	【落倉湿原, 居谷里湿原, 唐花見湿原, 姫川源流・親海湿原, 木崎湖, 中綱湖, 青木湖, 農具川など】エゾイトトンボ, サラサヤンマ, アオヤンマ, ハッチョウトンボ, モイワサナエ, キトンボ, エゾコガムシ, ネクイハムシ類の生息地.	2,3
					仁科三湖	淡水貝類	【青木湖, 中綱湖, 木崎湖, 農具川】キザキコミズシタダミ, ヒダリマキモノアラガイ, カワシンジュガイの生息地.	2
					居谷里湿原	淡水貝類	カワシンジュガイの生息地.	2
242	乗鞍岳湿原	長野県	松本市	高層湿原	乗鞍岳湿原	昆虫類	エゾイトトンボ, ルリイトトンボ, ホソミモリトンボ, ムツアカネ, カオジロトンボの生息地.	2,3
243	^{タデ} 安曇野蓼川周辺湧水河川	長野県	安曇野市	河川, 湧水	安曇野蓼川周辺湧水河川	水草	バイカモ, ミクリ類, 陸上植物の沈水形が群生し, 湧水性植生の典型.	1
244	伊那谷南西部湧水湿地群	長野県	飯田市, 下伊那郡阿智村・阿南町	湧水湿地	伊那谷南西部湧水湿地群	湿原植生*	【山本大明神地区の湿地, 竹佐・箱川ハナノキ自生地, 山本西平ハナノキ自生地, 春日ハナノキ自生地, 伍和上郷・備中原ハナノキ自生地など】ハナノキ, ミカワバイケイソウ, ヘビノボラズ, フモトミズナラなどの東海丘陵要素植物の東北限に位置し, リョウノウアザミなど絶滅危惧植物が集中して生育する. 山里の自然豊かな景観の中で湿地が良好な状態で保たれている.	1,2
245	^{ミダ} 弥陀ヶ原湿原および大日平湿原を含む立山周辺湿原群	富山県	富山市, 中新川郡立山町	高層湿原, 中間湿原, 雪田草原	弥陀ヶ原湿原および大日平湿原を含む立山周辺湿原群	湿原植生	【弥陀ヶ原湿原(立山), 五色ヶ原, 大日平湿原など】ヤチカワズスゲーキダチミズゴケ群落, ダケスゲ群落, ミヤマホタルイ群落, ヌマガヤ群落など.	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
246	シラキミネ 白木峰山頂周辺	富山県	富山市	雪田草原	白木峰山頂周辺	湿原植生*	ニッコウキスゲやコバイケイソウの群生をはじめ、ワタスゲ、モウセンゴケ、イワイチョウなど、多様な植物が生育する。	2,3
247	富山湾	富山県	下新川郡入善町, 黒部市, 魚津市, 滑川市, 富山市, 射水市, 高岡市, 氷見市	藻場	富山湾東部	海草・海藻	海中洞門などの景観, ガラモ場を有しており, 貴重な種の生育地。また多様な生物相を有する。	1,2,3
					富山湾西部	海草・海藻	大規模な群落が形成され, 種の多様性も高い。ウスイロモクの生育地。	1,2,3
248	氷見市周辺の湿地群	富山県	氷見市	淡水湖沼, 汽水湖沼, 河川, ため池	宮田地区ため池群	湿原植生	ウキヤガラマコモ群落など。	1
					宮田地区ため池群, 十二町潟周辺の河川および湖沼	淡水魚類	在来タナゴ類, シンジコハゼの生息地。	2
					宮田地区ため池群	昆虫類	マダラヤンマ, マルタンヤンマ, ハッチョウトンボの生息地。	2
249	奥能登・中能登の湿地群	石川県	珠洲市, 輪島市, 七尾市, 鳳珠郡能登町・穴水町, 羽咋郡志賀町, 羽咋市など	河川, 水田, ため池, その他湿地	能登半島北部(主に珠洲市・輪島市)のため池群	水草*	ジュンサイ, フトヒルムシロなど種の多様性が高い。	3
					奥能登丘陵の小河川と湿地	昆虫類	シャープゲンゴロウモドキ, ゲンゴロウ, ハッチョウトンボ, オオルリハムシなどの生息地。	2
					奥能登丘陵の小河川と湿地	淡水貝類*	カワシンジュガイの生息地。	2
					ガン雁の池	ガンカモ類	コハクチョウ, ヒシクイ(亜種オオヒシクイ), マガン, マガモの渡来地。	2,4
					珠洲地域の水田およびため池群	淡水藻類*	ニシノカワモズク(紅藻)の生育地。	2
					珠洲地域の水田およびため池群	昆虫類*	コバネアオイトトンボの北陸最大の生息地。ゲンゴロウ, コオイムシ, ホッケミズムシなどの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					能登島と七尾湾南のため池群	昆虫類*	コオイムシ, ホッケミズムシの生息地.	2
					能登半島西海岸のため池群	昆虫類*	コバネアオイトトンボ, ハネビロエゾトンボの生息地.	2
					奥能登・中能登の低地湿原	爬虫両生類	ホクリクサンショウウオ, クロサンショウウオの生息地.	2
250	モツ雲津沖	石川県	珠洲市	藻場	雲津沖	海草・海藻*	コアマモ, アマモ, スゲアマモ, タチアマモ, ノトウミヒルモの生育地. とくにタチアマモの群落は日本海側では希少である.	1,2
251	七尾湾	石川県	七尾市, 鳳珠郡 穴水町	干潟, 藻場	七尾湾	海草・海藻	大規模アマモ場. ノトウミヒルモ, イトヨレモク, ウスイロモク, スギモク, カタツルモ, ホソエガサなど希少種が多い.	1,2
					七尾湾	底生動物	日本海側の干潟として規模が大きい. ウミニナ, ホソウミニナ, イボウミニナの生息地.	1,2
252	旧内浦町地先沿岸	石川県	鳳珠郡能登町	藻場	旧内浦町地先沿岸	海草・海藻	ガラモ場. 貴重な種を含む種数が多い.	1,2,3
253	ヘグラ 舳倉島, セツ島 周辺沿岸	石川県	輪島市	藻場	舳倉島, セツ島 周辺沿岸	海草・海藻	ガラモ場を有しており, 調査例は少ないが, 暖海性希少分布種が多いと予想される. 多様な生物相を有する.	1,2,3
254	能登半島西部沿岸	石川県	輪島市, 羽咋郡 志賀町	藻場	能登半島西部沿岸	海草・海藻	ガラモ場. ウップレイノリ, クロノリ. 人の手によって管理された「ノリの畑」が多い里海. アマノリ群落.	1,2,3
255	能登半島西海岸から加賀北部海岸および口能登の湿地群	石川県	羽咋市, 羽咋郡 宝達志水町・志賀町, かほく市, 河北郡内灘町・津幡町, 金沢市	湖沼, 砂浜, 水田, ため池, その他湿地	加賀北部から口能登の低地湿原	爬虫両生類	ホクリクサンショウウオ, クロサンショウウオの生息地.	2
					加賀北部から口能登の低地湿原	昆虫類	シャープゲンゴロウモドキ, ナガケシゲンゴロウなどの希少種が生息する.	2
					オウチ 比呂知 山	淡水貝類*	イシガイ類の生息地であり, 種の多様性が高い.	2,3
					能登半島西海岸	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い. キアシシギ, ミユビシギ, ハマシギ, ホウロクシギの渡来地. 希少なカラフトアオアシシギの記録がある.	2,3,4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					カホク 河北潟	シギ・チドリ 類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。チュウシャクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、ツバメチドリ、オオジシギの渡来地。	2,3,4
					河北潟	湿地性鳥類*	チュウヒの繁殖地。	2
					能登半島西岸湖 沼群（邑知潟，河 北潟など）	ガンカモ類	コハクチョウ，マガン，マガモ，ヒドリガモ，トモエガモ，コガモの渡来地。個体 数が多い。	2,4
					能登半島西海岸 および河北潟	昆虫類*	ハラビロハンミョウ，エサキアメンボなどの生息地。かつてイカリモンハンミョウ が広く生息していたが、現在はきわめて局所的に残存する。	2
256	白山の湿原・雪田 草原	石川県， 岐阜県	石川県白山市， 岐阜県大野郡 白川村	雪田草原	白山の湿原・雪田 草原	湿原植生	当地をタイプ産地とする植物が多い。ハクサンコザクラなどの高山性の植物には， 白山を日本における分布の西限とする種が多い。クロユリの群落は大規模で特筆さ れる。	1,2
257	カタノカモイケ 片野鴨池	石川県	加賀市	休耕田， ため池， 水田	片野鴨池	ガンカモ類	マガン，ヒシクイ（亜種オオヒシクイ），トモエガモの渡来地。	2,4
					片野鴨池	昆虫類	フチムラサキメイガ，アオヤンマ，トラフトンボ，ミヤケミズムシ，コオイムシな ど各地の平地で減少した種が残存する。	2,3
258	柴山潟	石川県	加賀市	湖沼，水田	柴山潟および周 辺水田	ガンカモ類*	マガモ，コガモ，ヨシガモ，ヒドリガモ，コハクチョウの渡来地。トモエガモの餌 場。	2,4
					柴山潟および周 辺水路	淡水魚類*	シンジコハゼなどの生息地。	2
					柴山潟および周 辺水路	淡水貝類*	イシガイ類の生息地。	2
259	キバガタ 木場潟	石川県	小松市	湖沼	木場潟	ガンカモ類*	マガモ，ヒドリガモ，コガモの渡来地。	2,4
260	南加賀地方のア ベサンショウウ オの生息湿地	石川県	小松市，能美市	その他湿地	南加賀地方のア ベサンショウウ オの生息湿地	爬虫両生類*	アベサンショウウオの生息地。	2
261	キタガタ 北潟湖	福井県	あわら市	汽水湖沼	北潟湖	ガンカモ類	ヒドリガモ，マガモ，ヨシガモ，ホシハジロの渡来地。	4
262	九頭竜川下流域 および流域湖沼	福井県	坂井市，あわら 市	河川，湖沼， ため池	九頭竜川下流域 および流域湖沼	ガンカモ類	ヒシクイ（亜種オオヒシクイ），マガンの渡来地。	2,4
					大堤	ガンカモ類	マガモ，トモエガモ，コガモ，ヨシガモの渡来地。	2,4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
263	ジンガオカ 陣ヶ岡丘陵地域	福井県	坂井市	その他湿地	陣ヶ岡丘陵地域	昆虫類*	マルチビゲンゴロウ, コウベツブゲンゴロウ, テラニシセスジゲンゴロウ, ガムシ, カトリヤンマ, ネアカヨシヤンマなど種の多様性が高い.	2,3
264	大野市の湧水	福井県	大野市	湧水	大野市の湧水	淡水藻類*	カワモズクの生育地.	2
					大野市の湧水	淡水魚類	太平洋系陸封型イトヨの生息地 (本願清水). <small>ホンガンシヨウズ</small>	2
265	越前町の周辺湿地	福井県	越前市	水田, 休耕田, ため池	越前市白山・坂口 地区の湿地	昆虫類*	ハッチョウトンボの生息地. 周辺地域は貴重な水生昆虫類の生息地.	2
266	越前市 (旧武生市) の湧水	福井県	越前市	湧水	越前市 (旧武生市) の湧水	淡水魚類	トミヨ属淡水型生息地の南限.	2
267	越前市 (旧武生市) のアベサンシヨウウオ生息地	福井県	越前市	湧水湿地	越前市 (旧武生市) のアベサンシヨウウオ生息地	爬虫両生類	アベサンシヨウウオの生息地.	2
268	ヤシヤ 夜叉ヶ池および 周辺湿地	福井県, 岐阜県	福井県南条郡 南越前町, 岐阜 県揖斐郡揖斐 川町	その他湿地	夜叉ヶ池周辺の クロサンシヨウ ウオ生息地	爬虫両生類*	クロサンシヨウウオの生息地の西南限.	2
					夜叉ヶ池および 周辺湿地	昆虫類*	ヤシヤゲンゴロウなどの生息地.	2
269	ナカイケミ 中池見湿地	福井県	敦賀市	低層湿原, 水田, 休耕田	中池見湿地	湿原植生*	袋状の埋積谷に発達した湿原で深い泥炭層を有し, ヨシ, ガマ, マコモ, チゴザサが優占する湿生草原が形成されている. イトリゲモ, ミズニラ, デンジソウ, ミズトラノオ, オオニガナ, ミズアオイ, カキツバタ, ミズトンボなどの生育地.	1,2
					中池見湿地	水草	水田耕作と結びついた多くの希少水生植物 (ミズアオイ, デンジソウ, ミズワラビ, イトリゲモなど) が生育する.	2
					中池見湿地	淡水藻類*	チャイロカワモズクの生育地.	2
					中池見湿地	淡水魚類*	キタノメダカのタイプ産地であり, ホトケドジョウ, アブラボテなどの生息地.	2
					中池見湿地	昆虫類	ハッチョウトンボ, サラサヤンマ, キイロサナエ, アオヤンマ, エサキアメンボ, ナカイケミヒメテントウなどの生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
270	池河内湿原	福井県	敦賀市	低層湿原, 休耕田	池河内湿原	湿原植生	ハンノキ林、マアザミ、ヒメザゼンソウ、ヤナギトラノオなどの生育地。	1
					池河内湿原	昆虫類	ミドリシジミ、ムナグロチャイロテントウ、アラキシロホシテントウなどの生息地。 周辺の休耕田を含め、モートンイトトンボの生息地。	2
271	三方五湖および 周辺湿地	福井県	三方上中郡若 狭町, 三方郡美 浜町, 小浜市	汽水湖沼, 淡水湖沼, その他湿地	嶺南東部の湿地	爬虫両生類*	アベサンショウウオの生息地。	2
					嶺南のナゴヤダ ルマガエルの生 息地	爬虫両生類*	ナゴヤダルマガエルの生息地。	2
					三方五湖	淡水魚類	ハス、タモロコ、ナガブナ、在来タナゴ類の生息地。	2
272	タガラス 小浜市田鳥の小 湾	福井県	小浜市	藻場	小浜市田鳥の小 湾	海草・海藻*	まとまったアマモ群落がみられる。	1
273	アモウ 天生湿原	岐阜県	飛騨市	高層湿原	天生湿原	湿原植生	北方寒冷地植物の遺存種の生育地。ミヤマタムラソウ、カワズスゲ、ヒダキセルアザミ、エゾノヨツバムグラ、ニッコウキスゲ、ミタケスゲ、エゾリンドウの生育地。	1,2
274	東濃・中濃地域湿 地群	岐阜県	土岐市, 中津川 市, 恵那市, 瑞 浪市, 可児郡御 嵩町, 可児市, 多治見市, 関 市, 各務原市な ど	湧水湿地	土岐市の湧水湿 地群	湿原植生*	【北畑池シデコブシ湿地、園戸池・市之沢池周辺湿地群、陶史の森湿地群、妻木・大平湿地群、柿野温泉東部湿地群、入海道こぶしの里湿地、細野シデコブシ自生地など】北畑池周辺湿地群をはじめとして、シデコブシやハナノキの自生地である湧水湿地がまとまって分布する。土岐市内の湿地数は数百であり、東海地方でも類を見ない湧水湿地集中地域。湿地の広がりについてはさらに調査および検討する必要がある。	1,2
					東濃地域湧水湿 地群	湿原植生*	【大森湿地群、前沢ダム周辺湿地群、窯洞ため池湿地、虎溪山湿地、竜吟湖周辺湿地群、松野湖周辺湿地群、大湫町周辺湿地群、釜戸町ハナノキ湿地群、大根山湿地、黒ノ田東湿地、根ノ上湿地、中津川市のハナノキ・シデコブシ自生地など】シデコブシ、ハナノキといった湿地林構成種が集中的に分布しているほか、ミカワバイケイソウ、トウカイコモウセンゴケなど東海丘陵要素植物も多く存在する。ヒメヒカゲなど国内で分布が限定的な希少野生生物の生息地。湿地の広がりについてはさらに検討する必要がある。	1,2
					沖ノ洞・上ノ洞の 湿地	昆虫類	ハッチョウトンボ、グンバイトンボ、ギフチョウの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					オオクテ 大湫町の周辺 湿地	昆虫類	グンバイトンボの生息地.	2
					前沢湿地, 須衛湿 地	昆虫類	ゲンジボタル, ヒメタイコウチ, ヒメヒカゲ, ハッチョウトンボなどの生息地.	2
275	ツボ 津保川流域の農 業用水系	岐阜県	関市	水路	津保川流域の農 業用水系	淡水貝類	種の多様性が高い. イシガイ類, カワニナ類, モノアラガイ類の生息地.	2,3
276	養老地域の湧水 群	岐阜県	養老郡養老町, 海津市, 大垣市	湧水	養老地域の湧水 群	淡水藻類*	タンスイベニマダラ, イズミイワノカナの生育地.	2
					養老地域の湧水 群	淡水魚類	ハリヨ, スナヤツメ, ホトケドジョウの生息地.	2
					養老地域の湧水 群	淡水貝類	マメシジミ類や希少な二枚貝類の生息地. 種の多様性が高い.	2,3
277	イジラ 新堀川(伊自良川 支流)の上・下流 域	岐阜県	岐阜市	河川, 水路, ため池	新堀川(伊自良川 支流)の上・下流 域	淡水魚類*	【柳戸の周辺水域, 於母ヶ池など】東海地方で貴重な種, 固有な種の生息地. 全国的に減少傾向のあるタナゴ類の生息地としても貴重.	2
278	木曾三川合流域 の河川・水路およ びため池群	岐阜県, 愛知県	岐阜県海津市, 養老郡養老町, 大垣市, 瑞穂 市, 羽島市, 各 務原市, 愛知県 津島市, 一宮市 など	河川, ため池, 水路	木曾三川合流域 の河川・水路・た め池群	淡水魚類	イタセンパラ, デメモロコの生息地.	2
279	長良川・木曾川水 系のサツキマス, ネコギギの生息 河川	岐阜県	—	河川	長良川・木曾川水 系のサツキマス, ネコギギの生息 河川	淡水魚類	サツキマスの自然個体群, ネコギギの生息地.	1,2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
280	初島周辺沿岸	静岡県	熱海市	藻場	初島周辺沿岸	海草・海藻	オバクサ, オオブサ, マクサ, オニクサの生育地. テングサ群落が発達.	1
281	伊豆半島南東部沿岸	静岡県	下田市, 賀茂郡南伊豆町	藻場, サンゴ礁	伊豆半島南東部(白浜から田牛)沿岸	海草・海藻	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落. マメタワラ, アラメ, カジメなどの生育地.	1,3
					逢ヶ浜	海草・海藻	マメタワラ, アラメ, カジメなどの生育地.	3
					トナイ, 中木港付近など	造礁サンゴ	造礁サンゴ分布の北限に近いが, 多くの種が報告されている.	3
282	伊豆半島西部沿岸	静岡県	賀茂郡松崎町・西伊豆町	藻場, サンゴ礁	伊豆半島西部沿岸	海草・海藻	ガラモ, アントクメなどと混在し, 地先の生物多様性が高い. テングサ生育地.	1,3
					伊豆半島西岸沿岸	造礁サンゴ*	北限域に特異的に出現する多様な造礁サンゴ群集. なお, 北限域では, サンゴ礁域に比べて種多様性は当然低くなるが, サンゴ礁には見られない種による特異的な群集が存在することが明らかになってきており, 全体としての多様性を高くしている.	1,2,3
283	柿田川湧水群	静岡県	駿東郡清水町	湧水, 河川	柿田川湧水群	水草	富士山麓の湧水によって成り立つ植生. ヒンジモ, ミシマバイカモの生育地.	2
					柿田川湧水群	淡水魚類	アユカケ, ホトケドジョウの生息地.	2
284	コダヌキ小田貫湿原	静岡県	富士宮市	中間湿原	小田貫湿原	湿原植生*	古富士泥流の上の黒土層上に成立した湿原. アケボノソウ, アブラガヤ, カサスゲ, アサマフウロ, ウメバチソウ, サワアザミ, ノハナショウブ, ミズオトギリなどの生育地.	1,2
285	イノカシラ猪之頭湧水群	静岡県	富士宮市	湧水	猪之頭湧水群	水草*	バイカモをはじめ湧水に典型的な水草群落が広がり, 多数の湧水流が地区全体に散在する湿地として貴重.	1,2
286	アサハタ麻機遊水地	静岡県	静岡市	その他湿地	麻機遊水地	水草	大規模なミズアオイ自生地. タコノアシ, オオアブノメをはじめ貴重な種が多い.	2
287	大井川中流域	静岡県	島田市, 棒原郡川根本町	河川	大井川中流域	昆虫類	ミヤマシジミ, ツマグロキチョウ, コムラサキ, カワラバッタなどの生息地.	2
288	御前崎周辺沿岸	静岡県	御前崎市	藻場	御前崎周辺沿岸	海草・海藻	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落があり, 貴重な種が生育する.	1,2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
289	遠州灘海岸	静岡県, 愛知県	静岡県御前崎市, 袋井市, 磐田市, 掛川市, 浜松市, 湖西市, 牧之原市, 愛知県豊橋市, 田原市	砂浜, 干潟, 浅海域	天竜川下流域, 舞阪海岸	湿地性鳥類*	コアジサシの継続的な繁殖地.	2,4,5
					遠州灘海岸の沖	ウミガメ	渥美半島から御前崎周辺までの遠州灘海岸は本州最大のアカウミガメの産卵地. 御前崎港などの港湾や導流堤の整備で砂浜環境は大きな影響を受けているが, 産卵は行われている. 日本では最も距離の長い砂浜海岸.	1,5
					五島海岸の後背湿地	昆虫類*	河口と周辺にみられる砂丘後背湿地が貴重な昆虫類の生息地.	2
					勝間田川の河口部	底生動物*	静岡県内に残る数少ない塩性湿地を伴う泥干潟である. ウミニナ, フトヘナタリ, ハマガニ, アリアケモドキ, ヒメヤマトオサガニなど貴重な種が多い. 近隣の干潟から孤立しており, 幼生プランクトンの着底場としても重要.	1,2,5
290	桶ヶ谷沼および鶴ヶ池	静岡県	磐田市	中間湿原, 低層湿原, 淡水湖沼	桶ヶ谷沼, 鶴ヶ池	湿原植生	県下ではほとんど見られなくなった貴重な水生植物が多く生育する.	1,2
					桶ヶ谷沼, 鶴ヶ池	昆虫類	コバネアオイトトンボ, ベッコウトンボ, キボシチビコツブゲンゴロウ, エサキアメンボなどの生息地.	2
291	浜名湖	静岡県	浜松市, 湖西市	汽水湖沼, 干潟, 藻場	浜名湖	海草・海藻	本州太平洋岸中部の潟湖アマモ場の典型. 広大な汽水域に成立したアマモ場.	1
					浜名湖	底生動物	砂泥底とアマモ場からなる環境に多様なベントスが生息する. イボキサゴが優占し, ナメクジウオやミドリシャミセンガイ, ミサキギボシムシなどが生息する.	2
292	浜名湖周辺湧水湿地群	静岡県	浜松市, 湖西市	湧水湿地	浜名湖周辺湧水湿地群	湿原植生*	ミカワパイケイソウなど東海丘陵要素植物の東限に位置するほか, 湿生植物の生育地として重要.	2
293	伊良湖岬周辺沿岸	愛知県	田原市	藻場	伊良湖岬周辺沿岸	海草・海藻	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落があり, 多様な生物相を有する.	1,3
294	三河湾	愛知県	豊橋市, 豊川市, 半田市, 田原市, 蒲郡市, 知多郡武豊町・南知多町, 西尾市, 碧南市	塩性湿地, 干潟, 藻場	三河湾 (一色干潟, 神野新田沖など)	海草・海藻	広大なアマモ場 (アマモ, コアマモ) として相当の規模の面積を有している.	1
					三河湾	ガンカモ類*	スズガモ, ホシハジロの渡来地.	4
					三河湾	底生動物	アサリの生息地.	1
					神野新田	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い. ダイゼン, ハマシギ, ケリ, シロチドリ, メダイチドリ, オオソリハシシギ, チュウシャクシギ, ダイシャクシギ, ツルシギ, アオアシシギ, ソリハシシギ, キアシシギ, キョウジョシギ, トウネン, ホウロクシギ, アカアシシギなどの渡来地.	2,3,4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					汐川干潟	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。ミュビシギ、シロチドリなどの渡来地。	2,3,4
					汐川干潟	底生動物	豊富な底生動物相。オオノガイ、ヤミヨキセワタ、イボウミニナ、ヒロクチカノコ、ヒナユキスズメ、キヌカツギハマシイノミ、オカミミガイ、ワカウラツボ、ウモレベンケイガニなどの生息地。	2,3
					矢作古川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。キアシシギ、ハマシギ、ミヤコドリ、ホウロクシギ、オオジシギなどの渡来地。	2,3,4
					矢作川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。キアシシギ、チュウシャクシギ、ハマシギ、ホウロクシギ、アカアシシギなどの渡来地。	2,3,4
					矢作川河口	底生動物	広大な塩性湿地を有し、塩性湿地に固有の豊富な巻貝類などが生息する。	2
					伊川津（福江干潟）	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。ミュビシギ、キアシシギなどの渡来地。	2,3,4
					佐奈川河口	底生動物	オカミミガイ類、カワザンショウ類、ウミニナ類など塩性湿地に固有の巻貝類が多数生息する。	2,3
295	豊川水系鳳来寺山から鞍掛山周辺の細流群	愛知県	北設楽郡設楽町	河川, その他湿地	豊川水系鳳来寺山から鞍掛山周辺の細流群	淡水魚類*	ホトケドジョウ属などの生息地。	2
296	ツクデ 作手中間湿原群	愛知県	新城市	中間湿原	作手中間湿原群	湿原植生	【長ノ山湿原、清岳向山湿地、清岳湿地、鴨ヶ谷湿地など】愛知県では数少ない泥炭の堆積が見られる湿地。貴重な種の生育地。	1,2
					作手中間湿原群	昆虫類	【長ノ山湿原、清岳向山湿地、清岳湿地、鴨ヶ谷湿地など】長ノ山湿原と呼称されている。ヒメヒカゲ、ヒメタイコウチ、オジロサナエ、ハッチョウトンボ、オオヒカゲ、ヒメシジミ、ゴマシジミなどの生息地。	2
297	タノシリ 田之士里湿原および周辺の中間湿原	愛知県	豊田市	中間湿原	田之士里湿原および周辺の中間湿原	湿原植生*	【田之士里湿原、タカドヤ湿地、伊勢神湿地、月ヶ平湿地群、朝霧池周辺湿地など】ミズゴケ類、ヌマガヤ、モウセンゴケ、ミカズキグサなどの生育地。中間湿原特有の生態系を維持している。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
298	東三河・渥美半島 湧水湿地群	愛知県	豊橋市, 新城 市, 田原市	湧水湿地	東三河湧水湿地 群	湿原植生	【天伯湿地, 長三池のナガバノイシモチソウ自生地, 黄柳野湿地, 椈のシデコブシ 自生地, 伊川津シデコブシ自生地, 黒河湿地, 藤七原湿地など】シデコブシが多く 生育する湿地が多く存在するほか, ナガバノイシモチソウなどの希少種が多くみら れる.	1,2
					イモウ 葦毛湿原	湿原植生	多様な植物群落によって構成され, その中には固有種も多く見られる.	1,2
					葦毛湿原	昆虫類	ハッチョウトンボ, ヒメタイコウチ, ヒメヒカゲなどの生息地.	2,3
299	西三河地域湧水 湿地群	愛知県	豊田市, 岡崎 市, みよし市, 刈谷市	湧水湿地	西三河地域湧水 湿地群	湿原植生*	【亀首湿地, 御船湿地, 藤岡飯野湿地群, 琴平のシデコブシ自生地, 拳母西部湿地 群, 野見山シデコブシ自生地, 伊保湿地群 (三ツ池湿地群), 八草西部湿地群, 山 中湿地群, 勘八湿地群, 大洞タニヘゴ湿地群, 池城池周辺湿地群, 藤岡ふれあいの 館周辺湿地群, 柿ノ道池湿地, トヨタの森湿地, 昭和の森周辺湿地群, 旭高原元気 村湿地群, 小呂湿地, 後山湿地, 中央公園北湿地など】矢作川が形成した段丘の周 辺や丘陵地に数多くの湧水湿地が点在する. シデコブシをはじめとした東海丘陵要 素植物 (東海地方固有種・準固有種) や絶滅危惧植物を数多く確認できる.	1,2,3
					北山湿地	湿原植生	オオミズゴケを主体とした湧水湿地群. 東海丘陵要素植物として, クロミノニシゴ リ, ヘビノボラズ, トウカイコモウセンゴケが生育するほか, 多くの湿地性希少種 が確認されている.	1,2
					東海丘陵湧水湿 地群	湿原植生	【矢並湿地, 上高湿地, 恩真寺湿地など】湧水湿地でかつ東海丘陵要素植物が生育 していることが特徴. 東海丘陵要素植物としては, シラタマホシクサ, ミカワシオ ガマなどが生育する.	1
					東海丘陵湧水湿 地群	昆虫類	【矢並湿地, 上高湿地, 恩真寺湿地など】ハッチョウトンボ, ヒメタイコウチ, ツ ヤネクイハムシの個体数が多く, ヤスマツナガウンカ, クロアシナガサシガメ, エ ゾコガムシ, ガマヨトウなどが生息する.	2,3
300	コヅツミ 小堤西池	愛知県	刈谷市	ため池	小堤西池	湿原植生*	カキツバタ自生地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
301	尾張丘陵・知多半島地域湧水湿地群	愛知県	犬山市, 春日井市, 知多郡武豊町, 瀬戸市, 名古屋市長久手市, 日進市, 豊田市	湧水湿地, ため池	壱町田湿地, 海上の森の湧水湿地群, 東谷山の湧水湿地群など	湿原植生*	<p>【八曾湿地, 築水池湿地, 大狭間湿地, 小狭間湿地(ナガバノイシモチソウ自生地), 馬ヶ城湿地群, 吉賀池湿地, 新池湿地, 愛・地球博記念公園周辺の湿地, 板山高根湿地, 大谷湿地, 八竜湿地, 島田湿地, 平和公園内の湿地, 愛知県森林公園周辺の湿地, 滝の水湿地など】南北に伸びる尾張丘陵と知多丘陵に数多くの湧水湿地が点在する。シデコブシ, シラタマホシクサをはじめとした東海丘陵要素植物(東海地方固有種・準固有種)や絶滅危惧植物の生育地。</p> <p>【壱町田湿地】シロバナナガバノイシモチソウなど絶滅危惧種を含む食虫植物のほか, 東海丘陵要素植物(東海地方固有・準固有種)であるシラタマホシクサをはじめとして多くの湿地植物が生育する。</p> <p>【海上の森の湧水湿地群】サクラバハハンノキなどの東海丘陵要素が多く確認されているほか, イシモチソウなどの湿地性の貴重な種が多く生育する。</p> <p>【東谷山の湧水湿地群】都市部に残存する低湿地で, シラタマホシクサ, モウセンゴケ類など湿地固有の植物が見られる。</p>	2
302	濃尾平野外縁部のため池群	愛知県, 岐阜県	愛知県豊田市, 小牧市, 西尾市, 日進市, 長久手市, 犬山市, 岐阜県関市, 美濃市	ため池, その他湿地	濃尾平野外縁部のため池群	淡水魚類	<p>ため池群や氾濫原が, 貴重な種の生息地。</p> <p>【東海地方の伊勢湾周辺地域の丘陵地のため池】この地方固有の淡水魚であるウシモツゴ, トウカイヨシノボリが生息する。</p>	1,2
303	伊勢湾	愛知県, 三重県	愛知県名古屋市長久手市, 弥富市, 常滑市, 知多郡南知多町, 三重県桑名市, 三重郡川越町, 四日市市, 多気郡明和町, 鈴鹿市, 津市, 松阪市, 伊勢市	塩性湿地, 干潟, 藻場, 汽水域, その他湿地	常滑沖	海草・海藻	貴重なアマモ場。	1
					藤前干潟	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。ダイゼン, ハマシギ, ケリ, シロチドリ, メダイチドリ, オオソリハシシギ, チュウシャクシギ, ダイシャクシギ, ツルシギ, アオアシシギ, ソリハシシギ, キアシシギ, キョウジョシギ, トウネン, ホウロクシギ, アカアシシギなどの渡来地。	2,3,4
					藤前干潟	底生動物	アナジャコ, エドガワミズゴマツボの生息地であり, 多様な生物相を有する。	2,3
					木曾三川河口干潟	底生動物*	ハマグリ, ヤマトシジミの生息地。	2
					木曾三川河口木曾岬干拓地	湿地性鳥類*	チュウヒの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					鈴鹿川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。ミュビシギ、シロチドリなどの渡来地。	2,3,4
					雲出川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。キアシシギ、ハマシギ、ミヤコドリ、ホウロクシギ、オオジシギなどの渡来地。	2,3,4
					愛宕川河口から 榎田川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。キアシシギ、チュウシャクシギ、ハマシギ、ホウロクシギ、アカアシシギなどの渡来地。	2,3,4
					豊津浦から町屋 浦	シギ・チドリ類*	ミュビシギの渡来地。	4
					安濃川・志登茂川 河口	シギ・チドリ類*	ミヤコドリ、ミュビシギ、シロチドリ、キアシシギ、ハマシギの渡来地。	3,4
					安濃川・志登茂川 河口	ガンカモ類*	コクガンの飛来地。	2
					伊勢湾の汽水域	淡水魚類*	【榎田川河口、宮川河口、雲出川河口など】エドハゼ、クボハゼ、チクゼンハゼ、トビハゼ、イドミミズハゼ、ヒモハゼなどの生息地。	2
					雲出川河口、榎田 川河口、愛宕川河 口、金剛川河口、 祓川河口	底生動物	塩性湿地が豊富で、地形的にも多様。塩性湿地に固有の豊富な巻貝類（オカミミガイ、ウスコミミガイ、クリイロコミミガイ、ヒロクチカノコなど）。クマノエミオスジガニの生息地。	3
					田中川干潟	底生動物*	小面積ながらも塩性湿地、干潟、砂浜、みお筋など多様な自然環境を有する。オカミミガイの生息地。	2
304	ホクセイ 北勢地域湧水湿 地群	三重県	桑名市、いなべ 市、員弁郡 トウイン 東員町、三重 郡コモノ 郡菰野町、四日 市市、鈴鹿市、 亀山市	湧水湿地	北勢地域湧水湿 地群	湿原植生*	カナシヨウズシヨウタク 【御池沼沢植物群落、金生水沼沢植物群落、田光のシデコブシ群落、多度のイヌナシ生地など】マメナシ（イヌナシ）、シデコブシ、シラタマホシクサなど東海丘陵要素植物の西限にあたるほか、湿地性希少生物が多く存在する。	2
305	北勢・伊賀地域の ため池群	三重県	三重郡菰野町、 亀山市、伊賀市	ため池	三重県北勢・伊賀 地域のため池群	淡水魚類*	ホトケドジョウ、スナヤツメ、ミナミメダカ、在来タナゴ類などの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
306	ハライ 祓川	三重県	松阪市, 多気郡 明和町・多気町	河川	祓川	淡水魚類	在来タナゴ類ほか淡水性の在来魚種の多様性が高い。	2,3
					祓川	淡水貝類	イシガイ類の生息地。種の多様性が高い。	2,3
307	志摩半島南部沿 岸	三重県	ワタライ 志摩市, 度会 郡南伊勢町	干潟, 藻場	志摩半島南部沿 岸	海草・海藻	サガラメ, カジメなどの藻場, オオバノコギリモク, ナガシマモク, ヘラナラサモ, ネジモクのガラモ場。 【大王崎】サガラメ, カジメ, オオバノコギリモクの生育地。 【大島】ネジモクの生育地。 【多曽浦】ナガシマモク, ヘラナラサモの生育地。 【五ヶ所湾奥部】1年生アマモ, ツルモの生育地。	1,2,3,4
					英虞湾の干潟	底生動物*	イボウミニナなどの生息地。南方系の独特な生物群集が見られる。	2
308	熊野灘リアスの 汽水域	三重県	度会郡南伊勢 町, 尾鷲市, 北 牟婁郡紀北町	汽水湖沼 汽水域	熊野灘リアスの 汽水域	淡水魚類*	【五ヶ所湾, 阿曾浦, 片上池, 白石湖, 銚子川河口, 古川河口など】クボハゼ, イ ドミミズハゼ, ゴマハゼ, ヒモハゼなどの生息地。 【五ヶ所湾】タビラクチ, ナメクジウオ類の生息地。	2,3
309	フナコシ 船越大池	三重県	志摩市	ため池	船越大池	昆虫類*	キボシチビコツブゲンゴロウ, ヤギマルケシゲンゴロウなどの生息地。	2
310	キノモト 木之本町の農業 用水系	滋賀県	長浜市	水路	木之本町の農業 用水系	淡水貝類	イシガイ類の生息地。種の多様性が高い。	2,3
311	ヤマカド 山門湿原	滋賀県	長浜市	中間湿原	山門湿原	湿原植生	ミツガシワ群落, スマガヤ群落。	1
					山門湿原	昆虫類	モートンイトトンボ, コサナエ, ヒメクロサナエ, ルリボシヤンマ, ハッチョウト ンボ, オオイトトンボ, コオイムシなどが確認されている。	2,3
312	アイバノ 饗庭野湿原	滋賀県	高島市	中間湿原, 低層湿原	饗庭野湿原	湿原植生	タヌキモ群落, ヨシ群落。貴重な動植物の生息・生育地。	2
313	彦根から米原地 域の湧水群	滋賀県	彦根市, 米原市	湧水	彦根から米原地 域の湧水群	淡水魚類	ハリヨ, スナヤツメの生息地。	2
314	カワチフウケツ 河内風穴	滋賀県	犬上郡多賀町	その他湿地	河内風穴	淡水貝類	コバヤシミジンツボのタイプ産地および唯一の生息地。	2,4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
315	滋賀県湖東・湖南地域のため池群	滋賀県	大津市, 甲賀市, 浦生郡竜王町・日野町, 東近江市, 愛知郡愛荘町, 犬上郡甲良町・多賀町など	ため池	滋賀県湖東・湖南地域のため池群	淡水魚類*	ホトケドジョウ, ミナミメダカ, カワバタモロコなどの生息地.	2
					滋賀県湖東・湖南地域のため池群	淡水貝類*	オグラヌマガイの生息地.	2
316	琵琶湖	滋賀県	大津市, 草津市, 守山市, 近江八幡市, 彦根市, 長浜市, 野洲市, 東近江市, 米原市, 高島市	淡水湖沼, 中間湿原, 河川, 湧水, 水田, 休耕田	琵琶湖(内湖を含む)	湿原植生	ヨシ群落, ツルヨシ群落, フトイ群落, アサザ群落, アカメヤナギ林.	1
					琵琶湖北湖北部・浜分沼	水草	【琵琶湖北湖北部】琵琶湖固有種サンネンモはじめ良好な沈水植物群落が発達. 【浜分沼】内湖に豊かな植生が残る.	2
					琵琶湖	淡水藻類	ヒメフラスコモの生育地.	2
					琵琶湖・西池湖沼群(琵琶湖, 西池)	ガンカモ類	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ), オカヨシガモ, ヒドリガモ, ホシハジロ, キンクロハジロ, マガモ, カルガモ, コガモ, トモエガモ, ヨシガモ, ホオジロガモ, ミコアイサの渡来地.	2,4
					琵琶湖	湿地性鳥類*	チュウヒの繁殖地, オオバン <small>の</small> 生息地で, 越冬数が多い.	2,4,5
					琵琶湖	淡水魚類	ビワマス, ホンモロコ, ビワヒガイ, アブラヒガイ, ビワコオオナマズ, イワトコナマズ, イサザ, ゲンゴロウブナ, ニゴロブナなど固有種の生息地.	2,3
					琵琶湖	昆虫類	【湖岸砂浜】カワラハンミョウ, ニッポンハナダカバチ, ニセハマベエンマムシなどの生息地. 【内湖ヨシ帯】ムナグロチャイロテントウ, ビワコカタカイガラモドキなどの生息地. 【岩礁湖岸】ビワコエグリトビケラ(固有種), コオニヤンマ, クロスジヘビトンボ, ヒラタドROMシ類などの生息地. 【マキノ西浜の水田】水田・休耕田を含む湿地帯にクロゲンゴロウ, オオヒメゲンゴロウ, ガムシ, ハラグロコミズムシなどの生息地. 【南湖および流出河川】カワムラナベブタムシの生息地.	2,3
					琵琶湖水系	淡水貝類	ビワコミズシタダミ, イケチウガイ, セタシジミなど固有種の生息地.	2,3
					琵琶湖	底生動物	アナンデールヨコエビ, ナリタヨコエビ, ビワカマカなど固有種の生息地.	2,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
317	淀川水系	滋賀県, 京都府, 大阪府	滋賀県大津市, 京都府京都市, 宇治市, 城陽市, 綴喜郡宇治田原町, 久世郡久御山町, 八幡市, 長岡京市, 乙訓郡大山崎町, 三島郡島本町, 大阪府枚方市, 高槻市, 摂津市, 寝屋川市, 守口市, 大阪市	河川, 干潟	宇治川	淡水貝類	ナカセコカワニナの生息地.	2
					木津川	淡水貝類	イシガイ類の生息地.	2
					淀川のわんど群	淡水貝類	オグラヌマガイの生息地. 【城北わんど群】とくに, 種の多様性が高い.	2,3
					淀川水系(城北わんど群を含む)	淡水魚類	イタセンパラ, アユモドキ, ビワコオオナマズなどの生息地.	2,3
					淀川水系	淡水貝類	ビワコミズシタダミ, イケチョウガイ, セタシジミなど固有種の生息地.	2,3
					淀川河口	底生動物*	オオサカドロソコエビの数少ない生息地. 大都市近郊にありながらカワグチツボ, エドガワミズゴマツボ, ミズゴマツボ, オサガニ, ハクセンシオマネキなどの貴重な種が生息する.	2
318	亀岡市の水田地帯	京都府	亀岡市	水田, 水路	亀岡市の水田地帯	淡水魚類*	在来タナゴ類, カワヒガイ, アユモドキなどの生息地.	2
					亀岡市の水田地帯	爬虫両生類*	ナゴヤダルマガエルをはじめとする両生類の種の多様性が高い.	3
319	丹後半島沿岸から若狭湾	京都府	京丹後市, 与謝郡伊根町・与謝野町, 宮津市, 舞鶴市	干潟, 藻場,	久美浜湾の汽水域	淡水魚類*	タビラクチ, チクゼンハゼ, エドハゼ, クボハゼ, マサゴハゼ, ヒモハゼなどの生息地.	2
				汽水域	丹後半島沿岸から若狭湾(西部)	海草・海藻	富山湾と並ぶ日本海側の大きな湾であるが, 富山湾と違って浅く, 広大な藻場が発達しており, 日本海側における天然アラムの北限でもある.	1
320	ハッチョウダイラ 八丁平湿原	京都府	京都市	高層湿原	八丁平湿原	湿原植生	イヌツグ群落. カキツバタ, オオミズゴケなど貴重な種の生育地. 氷河期堆積層を含む厚い堆積物で形成される.	2
					八丁平湿原	昆虫類	ハッチョウトンボ, ヒラサナエ, ヒメサナエ, ムカシトンボ, ウラクロシジミなどの生息地.	2
321	ミゾロガイケ 深泥池湿地	京都府	京都市	高層湿原, 低層湿原	深泥池湿地	湿原植生	ハリミズゴケやオオミズゴケからなる浮島があり, ホロムイソウ, ヌマガヤ, イヌノハナゴケ, モウセンゴケなど高層湿原の構成種が見られる. ミツガシワ群落, カキツバタ群落, ヤチスグランなどの生育地.	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
322	京都市・丹波・山城地域のナゴヤダルマガエルの生息地	京都府	京都市, 舞鶴市ほか	その他湿地	京都市・丹波・山城地域のナゴヤダルマガエルの生息地	爬虫両生類*	ナゴヤダルマガエルの生息地.	2
323	由良川源流域	京都府	南丹市	河川	由良川源流域 アシュウ (芦生・知井・安掛)	淡水魚類	ヤマメ, アジメドジョウ, アカザ, カジカ, オヤニラミなど溪流性の在来魚種の多様性が高い.	3
324	大フケ湿原および周辺湿地	京都府	宮津市	高層湿原	大フケ湿原および周辺湿地	昆虫類	ブナ林に囲まれミズゴケで覆われた高層湿原. ハッチョウトンボ, オオコオイムシなどが生息する.	2
325	丹後・但馬地域のアベサンショウウオの生息地	京都府, 兵庫県	京都府京丹後市, 与謝郡与謝野町, 兵庫県豊岡市など	湧水	丹後・但馬地域のアベサンショウウオの生息地	爬虫両生類	アベサンショウウオの生息地.	2
326	大阪湾南部(紀淡海峡)	大阪府	泉南郡岬町	藻場	大阪湾南部(紀淡海峡)	海草・海藻	ワカメ・テングサ場. ガラモ, アラメ・カジメ場などが混在し, 地先の生物多様性が高い.	1,3
327	野鳥園臨港緑地	大阪府	大阪市	塩性湿地, 干潟, その他湿地	野鳥園臨港緑地	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い. シロチドリ, ハマシギなどの渡来地.	2,3,4
328	二色の浜, 近木川 コギ オノザト および男里川の河口部	大阪府	貝塚市, 泉南市, 阪南市	塩性湿地, 干潟	二色の浜, 近木川の河口部	底生動物*	ハクセンシオマネキ, スジホシムシモドキなど生息地.	2,3
					男里川の河口部	底生動物	規模は小さいが, 塩生植物が豊富で底生動物も大阪湾ではここでしか見られない種が数多く生息する.	2,3
329	イコマ シギ 生駒・信貴山麓, 矢田丘陵地のため池群	大阪府, 奈良県	大阪府八尾市, 東大阪市, 奈良県生駒市, 奈良市, 大和郡山市, 生駒郡平群町・斑鳩町	ため池	生駒・信貴山麓, 矢田丘陵地のため池群	淡水魚類	ニッポンバラタナゴ, ミナミメダカなどの生息地. 【八尾市高安地域】水質維持のために行われてきた「池干し(ドビ流し)」により, ニッポンバラタナゴに代表される生物多様性豊かな環境が形成・維持されてきた.	2
330	丸山湿原群	兵庫県	宝塚市	湧水湿地	丸山湿原群	湿原植生*	県で規模が大きく, 多種多様な湿原性植物の生育地. 貴重な動植物の生息・生育地.	1,2,3
331	尼崎市臨海部	兵庫県	尼崎市	浅海域	尼崎市臨海部	ガンカモ類*	ホシハジロの渡来地.	4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
332	浜甲子園	兵庫県	西宮市	干潟	浜甲子園	シギ・チドリ類	春秋の渡期の種数・個体数が多い、ハマシギなどの渡来地。	2,3,4
333	六甲山北面沢地群	兵庫県	神戸市	河川	六甲山北面沢地群	淡水魚類	ナガレホトケドジョウの生息地（溪流域）。	2
334	神戸市北区 <small>アイナ</small> 藍那地区の湿地	兵庫県	神戸市	その他湿地	神戸市北区藍那地区の湿地	水草*	希少な水生・湿生植物の群生地。	2
335	淡路島中南部の農業用水系	兵庫県	南あわじ市, 洲本市	水路	淡路島中南部の農業用水系	淡水貝類	ヒメマルマメタニシの生息地。	2
336	洲本地先沿岸	兵庫県	神戸市, 淡路市, 洲本市	干潟, 砂浜, 藻場	洲本地先沿岸	海草・海藻	カジメ, テングサの生育地であり, 多様な生物相を有する。	1,3
					淡路島南部成ヶ島周辺	底生動物*	砂浜, ヨシ原干潟, 転石帯など多くの環境が混在し, 貴重な底生動物の生息域となっている。	2
337	家島周辺沿岸	兵庫県	姫路市	藻場	家島周辺沿岸	海草・海藻	藻場または海藻群落の主体, ワカメ生育地であり, 多様な生物相を有する。	1,3
338	<small>ユメサキ</small> 夢前川右岸の水路	兵庫県	姫路市	水路	夢前川右岸の水路	昆虫類*	貴重な昆虫類の生息地。	2
339	イボ揖保川河口および新舞子海岸	兵庫県	姫路市, たつの市	汽水域, 干潟	揖保川河口	淡水魚類*	貴重なハゼ類などの生息地。	2
					新舞子海岸	底生動物	全国的に少なくなった二枚貝のマテガイ, カニ類のウモレマメガニの生息地。	2
340	<small>トノミネ</small> 砥峰高原湿地	兵庫県	神崎郡神河町	その他湿地	砥峰高原湿地	昆虫類	チュウゴクオオミズクサハムシ, ハッチョウトンボ, ヒラサナエなどが生息する。	2
341	加古川源流域および黒井川流域	兵庫県	丹波市	河川	加古川源流域(青垣地域), 黒井川流域(春日地域)	淡水魚類	加古川水系の高谷川と由良川水系の黒井川の谷中分水界 <small>コクチュウブンスイカイ</small> (谷の中にある分水嶺)でホトケドジョウ(西限), アブラハヤをはじめとする淡水魚の多様性が高い。	3
342	ハツカ羽束川および <small>ニシヤマ</small> 西山川	兵庫県	篠山市	河川	羽束川	爬虫両生類*	オオサンショウウオの生息地。	2
					西山川	爬虫両生類*	オオサンショウウオの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
343	東播磨北部地域の農業用水系	兵庫県	加西市, 神崎郡福崎町, 小野市, 加古川市	ため池, 水路	加西市ため池群	水草	昔ながらのため池を中心に良好な水生植物群落が成立. スプタ, マルミスプタ, マルバオモダカなどが多く生育する.	2
					播磨地域の農業用水系	淡水貝類	カワネジガイ, イナバマメタニシ, ヒメマルマメタニシの生息地.	2
344	あびき湿原	兵庫県	加西市	湧水湿地, ため池	あびき湿原	湿原植生*	県で規模が大きい湿原. 多くの貴重な動植物の生息・生育地. 周囲にはカタクリが, ため池にはサイゴクヒメコウホネが自生しており, 地域全体として重要な生態系を形成している.	1,2
345	加古川河口	兵庫県	高砂市	塩性湿地, 干潟	加古川河口	底生動物	ヨシ原がよく保存されており, ハクセンシオマネキ, ウモレベンケイガニ, アリアケモドキ, カワアイ, ヘナタリ, ワカウラツボ, ヒロクチカノコといった希少種が生息する.	2,3
346	チクサ千種川水系の安室川	兵庫県	赤穂郡上郡町	河川	千種川水系の安室川	淡水藻類*	淡水産紅藻のチスジノリの生育地.	2
347	佐用郡佐用町の農業用水系	兵庫県	佐用郡佐用町	水田, ため池, 休耕田	佐用郡佐用町の農業用水系	昆虫類*	貴重な種の生息地.	2
348	チクサ千種川の河口部	兵庫県	赤穂市	塩性湿地, 干潟	千種川の河口部	底生動物	ヨシ原がよく残っており, マテガイ, マゴコロガイといった希少二枚貝やハクセンシオマネキ, ウモレベンケイガニ, ヒモイカリナマコが生息する.	2,3
349	マルヤマ円山川下流域および周辺水田	兵庫県	豊岡市	河川, 水田, その他湿地	円山川下流域および周辺水田	湿原植生	ヨシ群落. 貴重な種の生育地.	2
350	岸田川支流の最上流域	兵庫県	美方郡新温泉町	河川	岸田川支流の最上流域	淡水貝類	ニクイロシブキツボの生息地 (南限).	2
351	お亀池	奈良県	宇陀郡曾爾村	低層湿原	お亀池	湿原植生	ヨシ群落. サワヒヨドリ, チダケサシなどの生育地.	2
352	紀伊半島のキリクチの生息河川	奈良県	—	河川	紀伊半島のキリクチの生息河川	淡水魚類	紀伊半島産イワナ (キリクチ) の生息地. 東アジアにおけるイワナ属の南限地.	2
353	フタツノ二津野ダム	奈良県	吉野郡十津川村	その他湿地	二津野ダム	ガンカモ類*	オンドリの越冬地.	4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
354	紀の川・和歌川の河口部	和歌山県	和歌山市	干潟, 汽水域	紀の川・和歌川の河口部	淡水魚類*	ニホンウナギ, アカメ, サツキマス, イドミズハゼ, チワラスボ, ヒモハゼ, マサゴハゼ, チクゼンハゼ, クボハゼ, エドハゼ, トビハゼなどの生息地であり, 種の多様性も高い.	2,3
					紀の川・和歌川の河口部	底生動物	豊富な底生動物相. とくにシオマネキ, ハクセンシオマネキ, オサガニの個体数が多い. ムギワラムシ, ワカウラツボなどの生息地.	2,3
355	有田川河口	和歌山県	有田市	干潟	有田川河口	底生動物	泥, 転石, 塩性湿地など多様な干潟環境を持ち, さわめて貴重とされるコゲツノブエの生息地. 魚類, 甲殻類, 貝類の種の多様性が高い.	1,2,3
356	ヌノ沼池	和歌山県	有田郡有田川町	その他湿地	沼池	昆虫類	ハッチョウトンボ, ヨツボシトンボ, オオコオイムシ, ヒョウモンチョウの仲間などの生息地.	2
357	日高川河口	和歌山県	御坊市	干潟, 汽水域	日高川河口	淡水魚類*	タビラクチ, チワラスボ, ヒモハゼ, マサゴハゼ, トビハゼなどの生息地. 種の多様性が高い. とくに, タビラクチの個体数が多い.	2,3
					日高川河口	底生動物	広大な塩性湿地とハマボウ群落. ウモレベンケイガニ, シオマネキ, トゲアシヒライソガニモドキ, カワアイガイなどの希少種が生息する.	2,3
358	田辺市から日高郡のため池群	和歌山県	田辺市, 日高郡印南町	ため池	田辺市から日高郡のため池群	水草	ミスミイ, ヒメシロアサザなど希少種が数多く生育する.	2
359	和歌山千里の浜	和歌山県	日高郡みなべ町	砂浜, 浅海域	和歌山千里の浜	ウミガメ	アカウミガメの主要な産卵地である. 後背地の森林から海浜の植生帯までの一連の移行帯が守られている日本では数少ない砂浜.	5
360	南紀白浜から南紀田辺	和歌山県	田辺市, 西牟婁郡白浜町	干潟, 藻場, サンゴ礁, 汽水域	南紀白浜から南紀田辺	海草・海藻	ガラモ, クロメの群落が形成される. 種の多様性が高い.	3
					白浜鉛山湾, 瀬戸	造礁サンゴ	種の多様性が高い. 本州中部の代表的サンゴ群集分布海域で, 多くの種が報告されている.	3
					富田川から高瀬川河口	淡水魚類*	オオウナギ, ニホンウナギに加え, 貴重なハゼ類の生息地.	2
					南紀田辺 (田辺湾)	底生動物	シオヤガイが多く, 潮間帯ではまれなワダツミギボシムシが生息する. 種数が多い.	2,3
361	串本町田原地区の水田・湿地	和歌山県	東牟婁郡串本町	水田, ため池	串本町田原地区の水田・湿地	水草	かつて水田と池にミズネコノオ, ヤナギスプタ, テツホシダなどの希少な植物が多く生育していた. 乾燥化などにより水草の生育環境は良くないが, 地域住民の保全活動も活発であり, 周辺地域も含めて依然として水草の生育地として重要である.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
362	串本町西岸および通夜島北岸	和歌山県	東牟婁郡串本町	サンゴ礁	串本町西岸および通夜島北岸	造礁サンゴ	種の多様性が高く、かつ被度がすこぶる高く、多くのサンゴ礁性動物に生息環境を提供している。オオナガレハナサンゴの密集個体群は世界で当域でのみ知られる。なお、サンゴ礁には多様性の高い底生動物が生息し、その中には、当域が分布の北限となる種が多く含まれる。	1,2,3
363	ゆかし潟および太田川河口	和歌山県	東牟婁郡那智勝浦町	汽水湖沼、塩性湿地、干潟	ゆかし潟, 太田川河口	淡水魚類*	ハゼ類を中心に多くの南方系生物の貴重な生息地。とりわけ、ゴマハゼの個体数が多い。	2
					ゆかし潟	底生動物*	本州最南端近くに所在する相当の面積を有する塩性湿地と干潟である。ウミユナ、ウモレベンケイガニ、ミナミアシハラガニなどの生息地。	1,2
364	シンクウイノ新宮藺沢浮島の森	和歌山県	新宮市	中間湿原、低層湿原、その他湿地	新宮藺沢浮島の森	湿原植生	暖地性植物と共に、ミズゴケを含む、より冷温の地方の植物が同時に見られることが一つの特徴である。市街地にあつて、貴重な種の生育地としてきわめてよく保全されている。	1,2
365	岩美地先沿岸	鳥取県	岩美郡岩美町	藻場	岩美地先沿岸	海草・海藻	日本海中部を代表するガラモ場で、クロモズクなど、日本海中北部では見つからない種類も知られている。	1,3
366	唐川湿原	鳥取県	岩美郡岩美町	中間湿原	唐川湿原	湿原植生	小川や大沢池に沿つて、大小の湿原が分布する。カキツバタ群落。ハッチョウトンボの生息地としても貴重。	1
367	牧谷湿原	鳥取県	岩美郡岩美町	中間湿原	牧谷湿原	湿原植生*	カキツバタ群落が発達し、貴重な湿原植物の生育地。	2
368	スガノ菅野湿原	鳥取県	鳥取市	中間湿原	菅野湿原	湿原植生	モウセンゴケ、イヌスゲ、カキツバタ、ミズギボシの生育地。ミズゴケ群落として規模が大きい。	1
369	タネ多鯰ヶ池	鳥取県	鳥取市	淡水湖沼	多鯰ヶ池	淡水魚類	かつてのミナミアカヒレタビラ、ヤリタナゴの生息地。カラスガイの生息地。	2
370	カドノカミ神戸ノ上湿地	鳥取県	日野郡日南町	低層湿原	神戸ノ上湿地	湿原植生	ハンノキ林。ジャヤナギ、ハンカイソウ、タニヘゴ、クサレダマなどの生育地。	2
371	ナカウミ中海	鳥取県、島根県	鳥取県境港市、米子市、島根県松江市、安来市	汽水湖沼、河川、水田、干潟、藻場	大橋川	湿原植生	オオクグ群落の規模が大きい。	1
					中海, 大橋川	海草・海藻	コアマモの生育地。日本海側のアマモ場として規模が大きい。	1,2
					中海, 大橋川	水草	カワツルモの汽水域の植生が良好に残存。また、大橋川河口左岸の水田には、ミズアオイ、ヒメシロアサザなどがごく限られた範囲で生育。ミズワラビも生育。	1,2
					イイナシ飯梨川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡期の種数・個体数が多い。セイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、ツバメチドリなどの渡来地。希少なコシヤクシギの記録がある。	2,3,4
					中海	ガンカモ類	コハクチョウ、マガン、カルガモ、キンクロハジロ、スズガモ、ホオジロガモの渡来地。	2,4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					中海と周辺湿地	昆虫類	コバネアオイトトンボ, オグマサナエ, タベサナエ, アオヤンマ, ルリボシヤンマ, ハッチョウトンボ, ヒメアカネなどの生息地. ツマグロマルハナノミの生息地. コオイムシの生息地.	2
					中海	底生動物	アサリの生息地.	1
372	隠岐島周辺沿岸	島根県	隠岐郡隠岐の島町・海士町・知夫村・西ノ島町	藻場	隠岐島周辺沿岸	海草・海藻	希少種が多い. 日本海で海藻の種数と量が多い. クロキヅタの生育地.	1,2,3,4
373	宍道湖	島根県	松江市, 出雲市	汽水湖沼, 干潟, ため池	宍道湖	湿原植生	ヨシ群落, セイコノヨシ群落.	1
					宍道湖湖北ため池群	水草	ガガブタ, ミズニラ, オグラノフサモ, スプタ, シャジクモの仲間などを含む, 多様な水草が生育する.	2,3
					宍道湖	淡水藻類	インドオオイシソウ (紅藻) の生育地.	2
					宍道湖	ガンカモ類	コハクチョウ, マガン, ヒシクイ, カルガモ, キンクロハジロ, スズガモの渡来地.	2,4
					宍道湖	淡水魚類	シンジコハゼの生息地. 種数が多い.	2,3
					宍道湖	昆虫類	ナゴヤサナエの生息地. この種の繁殖には, 当地の塩分濃度が最適.	2,5
					宍道湖	底生動物	ヤマトシジミの生息地.	1
374	神西湖	島根県	出雲市	汽水湖沼	神西湖	ガンカモ類*	マガモ, キンクロハジロ, スズカモの越冬地.	4
375	ウップルイ十六島周辺沿岸	島根県	出雲市	藻場	十六島周辺沿岸	海草・海藻	ウップルイノリ, ガラモ場があり, 多様な生物相を有する. また相当数が生育している.	1,3,4
376	アカナ赤名湿原	島根県	飯石郡飯南町	低層湿原	赤名湿原	湿原植生	ハンノキ林. カサスゲが生育する. 湿地性植物の種数が多い.	2,3
					赤名湿原	昆虫類	キイロネクイハムシ, ツヤネクイハムシ, スジグロボタル, カラフトゴマフトビケラ, ハッチョウトンボ, エゾトンボ, ルリボシヤンマ (分布西限近く) などの水生昆虫が生息する.	2,3
377	ドウゴ隠岐島 (島後) の陸水域	島根県	隠岐郡隠岐の島町	河川, その他湿地	隠岐島 (島後) の溪流域	爬虫両生類	オキタゴガエル, オキサンショウウオの生息地.	2
					油井の池	昆虫類*	隠岐諸島における最大規模の水域で, コバネアオイトトンボ, ネアカヨシヤンマ, アオヤンマなど多くのトンボ類のほか, コオイムシなどの安定した生息地.	1,2
378	ノウギ能義平野の水田地帯	島根県	安来市	水田, その他湿地	能義平野の水田地帯	ガンカモ類*	コハクチョウ, マガンの餌場.	2,4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
379	地倉沼	島根県	鹿足郡津和野町	淡水湖沼	地倉沼	湿原植生	火山の堰止湖。水域からハンノキ林まで自然の湿地群落が見られ、希少な湿地性植物を伴う。人為的な影響のない湿地植生は、山陰・山陽では貴重。オニナルコスゲ群落、カサスゲーシロネ群落など。	1,2
380	岡山平野の河川および周辺水田	岡山県	岡山市など	河川, 水田, 水路	岡山平野の河川および周辺水田	淡水魚類	在来タナゴ類, アユモドキなど小型淡水魚類の生息地。	2
					岡山平野の河川および周辺水路	淡水貝類	イシガイ類の生息地。種の多様性が高い。	2,3
381	キンカイ 錦海塩田跡地	岡山県	瀬戸内市	塩性湿地	錦海塩田跡地	昆虫類	ハマベゴミムシ, オオモンコミズギワゴミムシ, チビマルガムシ, オオツノハネカクシ, オオキトンボ, サキグロコミズムシなどが生息する。	2,3
382	児島湖および阿部池	岡山県	岡山市, 玉野市	淡水湖沼, ため池	児島湖および阿部池	ガンカモ類*	ホシハジロ, キンクロハジロの渡来地。	4
383	永江川河口	岡山県	岡山市	干潟	永江川河口	底生動物	ヨシ原がよく保存されており、そこにオカミミガイ, ヒロクチカノコが生息する。岡山県では数少ないシオマネキの生息地。	1,2
384	アジノ 味野湾および玉野湾	岡山県	倉敷市, 玉野市	藻場	玉野市後閑沖	海草・海藻	瀬戸内海山陽側沿岸内湾における大型アマモ場であり、多様な生物相を有する。	1,3,4
					倉敷市児島港沖	海草・海藻	瀬戸内海で最大規模のアマモ場であり、多様な生物相を有する。	1,3
385	キタギ 笠岡湾・北木島周辺	岡山県	笠岡市	干潟, 浅海域	笠岡湾・北木島周辺	底生動物*	【笠岡湾】カプトガニの生息地。 【北木島】固有種のキタギシマゴクリなどの生息地であり、浅海域の生物多様性が高い。	2,3
386	ヒルゼンカミトクヤマ 蒜山上徳山地区の湿地	岡山県	真庭市	水路, その他湿地	蒜山上徳山地区の湿地	昆虫類*	フサヒゲルリカミキリ, ヒメビロウドカミキリ, ルリナガツツハムシ, アザミオオハムシ近似種, ミヤモトホソヒラタハムシ, クロオビシロタマゾウムシ, ゴマシジミ, ヒメシジミ, ヒメヒカゲなどの生息地。なお、当地は県最大のサクラソウ群落を有し、フサヒゲルリカミキリの食草であるユウスゲなど湿性草原の生育種を中心に多様な植物相を有する。	2
387	コイガクボ 鯉ヶ窪湿原およびおもつぼ湿原	岡山県	新見市	低層湿原, 中間湿原	鯉ヶ窪湿原およびおもつぼ湿原	湿原植生	ヒツジグサ群落, カサスゲ群落からなり、貴重な種の生育地。	2
					鯉ヶ窪湿原	昆虫類*	トヤマオオミズクサハムシの生息地。チュウゴクオオミズクサハムシのタイプ産地でもある。また、ハッチョウトンボ, オオコオイムシ, カツラネクイハムシ, キンイロネクイハムシ, ヒメシジミ, ヒメヒカゲ, オオヒカゲなどの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
388	ホソノス 細ノ洲	広島県	尾道市	藻場	細ノ洲	海草・海藻	細島と因島の海峡部にできた砂州上および周辺にできたアマモ場。セイヨウハバノリ、ジョロモク、アナアオサなどの生育地。	1,3
389	ハチの干潟および賀茂川河口	広島県	竹原市	干潟	ハチの干潟および賀茂川河口	底生動物*	瀬戸内海の中でも非常に種の多様性の高い干潟が広範囲に残されており、周辺海域への底生動物種の供給源として、重要な干潟である。	1,3
390	イクノ 安芸灘生野島	広島県	豊田郡大崎上島町	藻場	安芸灘生野島	海草・海藻*	瀬戸内海で最大規模のアマモ場で、大型のアマモを中心に、コアマモ、ウミヒルモの群落が形成されている。	1
391	ミツグチ 安芸湾三津口	広島県	呉市	藻場	安芸湾三津口	海草・海藻	瀬戸内海山陽側沿岸に残っている大きなアマモ場として相当の規模の面積を有している。	1
392	タイシャク 帝 釈川	広島県	庄原市	河川	帝釈川	淡水貝類	カワシンジュガイの南限の生息地。	2
393	世羅台地の湧水湿地およびため池群	広島県	世羅郡世羅町、東広島市	湧水湿地、ため池	世羅台地の湧水湿地およびため池群	湿原植生	ヌマガヤ湿原。水辺や水中の多様な植生。	2,3
					世羅台地のため池群	水草	絶滅危惧種を含む貴重な種の生育地。	2
					世羅台地の湧水湿地およびため池群	昆虫類*	丘陵地に多くの湧水湿地と多様なタイプのため池が存在し、その一部は、ヒョウモンモドキの生息地。種数が多い。	1,2,3
394	東広島市の湧水湿地およびため池群	広島県	東広島市	湧水湿地、ため池	賀茂台地の湧水湿地およびため池群	湿原植生	ヌマガヤ湿原。水辺や水中の植生。また、コウホネ類、ミクリ類などの希少種を含む多様な水草も生育する。	2
					西条町のため池群	昆虫類*	丘陵地のため池群、湧水湿地に、ナニワトンボ、キボシチビコツブゲンゴロウ、ムモンチビコツブゲンゴロウ、ムツボシツヤコツブゲンゴロウ、ヤギマルケシゲンゴロウ、チュウブホソガムシ、セラネクイハムシ、ヒメヒカゲなどの貴重な種が生息する。	1,2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
395	ヤワタハラ 東八幡原および 西八幡原	広島県	山県郡北広島 町	中間湿原	東八幡原, 西八幡 原	湿原植生	ヌマガヤ群落. カキツバタなどの生育地.	1
					東八幡原, 西八幡 原	昆虫類	ヒロシマサナエ (モイワサナエ中国地方亜種), オオヒメゲンゴロウ, アキミズク サハムシ, クロガネネクイハムシ, カラフトゴマフトビケラなどが生息する. かつ ては, ヒョウモンモドキが生息していた.	2
396	宮島	広島県	廿日市市	砂浜, 塩性湿地 汽水域, その他湿地	宮島	昆虫類	シロウミアメンボ, ミヤジマトンボ, ヤマトマダラバッタ, ルイスハンミョウなど の生息地.	2
397	広島湾江田島	広島県	江田島市	藻場	広島湾江田島(江 田島, 能美島, 倉 橋島など)	海草・海藻	安芸灘屋代島と同様に, アマモ, ガラモ, クロメ場などが混在し, 地先の生物多様 性が高い.	1,3
398	ヤシロジマ 安芸灘屋代島	山口県	大島郡周防大 島町	藻場, サンゴ礁	安芸灘屋代島	海草・海藻	広島湾江田島と同様に, アマモ, ガラモ, クロメ場などが混在し, 地先の生物多様 性が高い.	1,3
					屋代島(周防大 島)沖	造礁サンゴ*	大規模なニホンアワサンゴ群集が形成される.	1,2
399	サバ フシノ 佐波川・榎野川河 アイオ 口, 秋穂湾, 山口 湾	山口県	防府市, 山口市	河川, 干潟, 汽水域	佐波川河口	淡水魚類*	タビラクチ, チワラスボ, チクゼンハゼ, エドハゼ, キセルハゼ, クボハゼ, トビ ハゼ, マサゴハゼ, ヒモハゼ, イドミミズハゼ, シロウオなどの生息地.	2
					周防灘沿岸部	昆虫類	【佐波川河口, 榎野川河口(山口湾)】ヒヌマイトトンボの生息地であり, 雄と同 色型の雌が生息する. ベッコウトンボ, イトアメンボなども生息する.	2,3
					秋穂湾から山口 湾	淡水魚類*	アオギスの生息地.	2
					秋穂湾から山口 湾	底生動物	全国的にも希少とされる種が数多くまとまって生息する. カブトガニ, ツバサゴカ イ, タイラギ, マゴコロガイ, セトウチヘソカドタマキビ, ゴマフダマ, ミドリシ ヤミセンガイ, ヒモイカリナマコなどの生息地.	2,3
					山口湾, 土路石川 河口, 波多瀬	湿地性鳥類*	クロツラヘラサギの渡来地.	2,4
					阿知須干拓およ び土路石川河口	ガンカモ類	マガモ, カルガモ, ヒドリガモ, トモエガモ, コガモの渡来地.	4

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
400	コトウ アリホ 厚東川・有帆川・ アサ 厚狭川河口	山口県	宇部市, 山陽小 野田市	塩性湿地, 河川, 干潟, 汽水域	厚狭川河口	湿地性鳥類	ズグロカモメの渡来地.	2
					周防灘沿岸部(厚 東川河口付近, 厚 狭川河口付近)	昆虫類	ヒスマイトトンボは本州の主として太平洋側沿岸部の汽水域に生息している. しかもこの生息地では雄と同色型の雌が生息する. ベッコウトンボ, イトアメンボなどの生息地. 水生・半水生昆虫が豊富にみられる.	2,3
					厚東川河口, 有帆 川河口, 厚狭川河 口	淡水魚類*	アオギスの生息地.	2
					厚東川河口, 有帆 川河口, 厚狭川河 口	底生動物	全国的にみて希少とされる種が豊富に生息する. シマヘナタリ, クロヘナタリ, ワカウラツボ, センベイヤワモチなどの生息地.	2
401	厚狭川下流農業 用水系	山口県	山陽小野田市	水路	厚狭川下流域の 農業用水系	淡水貝類	ヒメマルマメタニシ, クルマヒラマキガイの生息地.	2
402	秋芳洞の地下水 系	山口県	美祢市	その他湿地	秋芳洞の地下水 系	淡水貝類	ホラアナミジンナ類, ミジンツボ類の生息地. 地下水棲貝類の種の多様性が高い.	2,3
403	小野湖	山口県	宇部市	その他湿地	小野湖(厚東川ダ ム)	ガンカモ類*	オシドリ, トモエガモの越冬地.	2,4
404	センザキ 仙崎湾の汽水域 および阿武川河 口	山口県	長門市, 萩市	干潟, 汽水域	阿武川・橋本川河 口	淡水魚類*	タビラクチ, チクゼンハゼ, クボハゼ, ヒモハゼ, イドミミズハゼ, シロウオなどの生息地.	2
					三隅川河口	淡水魚類*	阿武川・橋本川河口と同様に, タビラクチ, チクゼンハゼ, クボハゼ, ヒモハゼ, イドミミズハゼ, シロウオなどの生息地.	2
405	オウミジマ 青海島周辺沿岸	山口県	長門市	藻場	青海島周辺沿岸	海草・海藻	ワカメ, テングサ場, アマモ, ガラモ, クロメ場などが混在し, 地先の生物多様性が高い.	1,3
406	ユヤ 油谷湾	山口県	長門市, 下関市	干潟, 藻場, 汽水域	油谷湾	海草・海藻	アラメとホンダワラ属の群落が発達. カジメ群落は日本海沿岸では最大級の群落である. また, 日本海沿岸としては比較的大きいアマモ場がある.	1
					栗野川河口	淡水魚類*	タビラクチ, チクゼンハゼ, クボハゼ, ヒモハゼ, シロウオなどの生息地.	1,2
					油谷湾	底生動物	日本海側にある広大な砂質干潟. ウミニナ, イボウミニナ, ヒラドカワザンショウなど希少種の生息地.	1,2
407	鳴門海峡	徳島県	鳴門市	藻場	鳴門海峡	海草・海藻	ガラモ, カジメ・クロメ場などが混在し, 地先の生物多様性が高い. ワカメ生育地. なお, ウチノ海にはまとまった規模でアマモ場が存在する.	1,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
408	吉野川および勝浦川の河口部と周辺	徳島県	鳴門市, 板野郡松茂町, 徳島市, 小松島市, 阿南市	干潟, 河川, 汽水域	吉野川下流域(河口から第十堰)	水草	イセウキヤガラ, コアマモなど汽水域の水生植物が良好に生育. 群落規模も全国有数.	1
					吉野川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の個体数が多い. シロチドリ, ダイゼン, メダイチドリ, ハマシギ, ホウロクシギ, アカアシシギの渡来地.	2,4
					吉野川河口	湿地性鳥類*	ズグロカモメ, クロツラヘラサギの渡来地.	2,4
					吉野川河口(旧吉野川, 今切川も含む), 勝浦川河口, 那賀川河口	淡水魚類*	タビラクチ, チワラスボ, チクゼンハゼ, エドハゼ, キセルハゼ, クボハゼ, トビハゼ, マサゴハゼ, ヒモハゼ, イドミミズハゼ, シロウオなどの生息地.	2
					吉野川中下流域・河口(沖洲海岸を含む)	昆虫類	ルイスハンミョウの生息地として知られ, オオヒョウタンゴムシ, コマルケシゲンゴロウ, ヨドシロヘリハンミョウ, キアシハナダカバチモドキ, アカオビケラトリ, チョウセンマダラヨコバイ, スナコバネナガカメムシなどが生息する.	2,3
					吉野川河口および勝浦川河口	底生動物	長大な汽水域に塩性湿地が豊富に点在. シオマネキの生息数がきわだたて多い. ヒロクチカノコ, ウモレベンケイガニ, フタハビンノ, ウモレマメガニの生息地.	1,2,3
409	ジョガマル池	徳島県	板野郡板野町	ため池	ジョガマル池	水草	徳島県下ではもともと良好な自然環境を残すため池で, ジュンサイ群落が広がり, スプタ, シズイなどの希少種が多く生育する.	2
					ジョガマル池	昆虫類	ヒメミズカマキリ, コオイムシ, オオミズムシ, ホッケミズムシ, ミヤケミズムシ, マルミズムシなどの個体数が多い. また, 小型のゲンゴロウ類, ガムシ類も多い.	3
410	クロソウ黒沢湿原	徳島県	三好市	中間湿原, 低層湿原	黒沢湿原	湿原植生	ヤマトミクリーヒメミクリ群落, ミズゴケ類群落(オオミズゴケ, ハリミズゴケ), ヨシーカサスゲ群落.	1,2
					黒沢湿原	昆虫類	サラサヤンマ, ルリボシヤンマ, タカネトンボ, オオコオイムシ, ヘリグロミズカメムシなどの生息地.	2
411	大津田川流域の用水路網	徳島県	阿南市	水路	大津田川流域の用水路網	水草	農業用水路の生態系が良好に維持され, 貴重な水生植物が多く生育する.	2
412	橘湾	徳島県	阿南市	藻場	橘湾	海草・海藻	規模の大きな藻場で, イトモク, タマハハキモク, ノコギリモク, カジメ, アマモの生育地.	1,2,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
413	カモダ 蒲生田海岸および周辺湿地	徳島県	阿南市	砂浜, 浅海域, ため池	蒲生田海岸	ウミガメ	アカウミガメの産卵回数は減少し、砂浜としての価値も低下しているが、1954年からの産卵回数の記録が残された世界でも貴重な砂浜である。	5
					蒲生田岬から船瀬付近の池	昆虫類*	エサキアメンボなどの貴重な種の生息地。	2
414	イシマ 伊島および周辺沿岸	徳島県	阿南市	藻場, その他湿地	伊島および周辺沿岸	海草・海藻	太平洋岸暖流域におけるフシスジモクの生育地。	2
					伊島の湿地	昆虫類	谷戸から海岸に続く湿地で、ホソガムシの生息地。ほかに、コオイムシ、オオミズムシ、マルガタゲンゴロウ、キベリクロヒメゲンゴロウなどが確認されている。	2
415	日和佐大浜海岸	徳島県	海部郡美波町	砂浜, 浅海域	日和佐大浜海岸	ウミガメ	アカウミガメの産卵地である。産卵数は少ないが、1950年に行われた日和佐中学校の生徒による調査は世界でも最も古い。	5
416	ムギ 牟岐大島周辺沿岸	徳島県	海部郡牟岐町	サンゴ礁	牟岐大島周辺沿岸	造礁サンゴ	巨大コブハマサンゴの生息地で、希少種を含む。	2
417	出羽島の池	徳島県	海部郡牟岐町	汽水湖沼	出羽島の池	淡水藻類	シラタマモの生育地。	2
418	浅川湾の汽水域	徳島県	海部郡海陽町	汽水域	浅川湾の汽水域 (伊勢田川河口など)	淡水魚類*	クボハゼ、マサゴハゼ、ヒモハゼ、イドミミズハゼ、シロウオ、ゴマハゼなどの生息地。	2
419	シシクイ 宍喰地先沿岸	徳島県	海部郡海陽町	藻場, サンゴ礁	宍喰地先沿岸	海草・海藻	多くの種類のホンダワラ類が混成している。ガラモ、カジメ・クロメ場などが混在し、地先の生物多様性が高い。テングサの生育地。	3
					阿波竹が島	造礁サンゴ	ムカシサンゴ大型群体の生息地で、希少種も含む。	2
420	テシマ 豊島ため池群	香川県	小豆郡土庄町	ため池	豊島ため池群	水草	ヒメシロアサザ、マルバノサワトウガラシ、アカウキクサ、カワツルモなどの生育地。	2
421	マンノウ 満濃池および周辺のため池群	香川県	仲多度郡まんのう町	ため池	満濃池および周辺のため池群	水草	香川県下ではもっとも多く水生植物の生育が確認されている一帯。ミズニラ、ミズニラモドキ、ヒメミクリ、ヤマトミクリ、オヒルムシロ、イトトリゲモ、ミスミイ、ヒメタヌキモなどの生育地。	3
422	ドキ 土器川河口	香川県	丸亀市	汽水域	土器川河口	淡水魚類*	タビラクチ、チワラスボ、チクゼンハゼ、キセルハゼ、クボハゼ、トビハゼ、マサゴハゼ、ヒモハゼ、イドミミズハゼ、シロウオなどの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
423	東讃部および中讃部の水田・ため池群	香川県	さぬき市, 高松市など	水田, ため池	東讃部および中讃部の水田・ため池群	ガンカモ類*	ミコアイサの渡来地.	4
					東讃部および中讃部の水田・ため池群	淡水魚類	ニッポンバラタナゴの生息地.	2
					東讃部および中讃部の水田・ため池群	爬虫両生類	ナゴヤダルマガエル岡山型の生息地.	2
424	加茂川河口	愛媛県	西条市	干潟, 汽水域	加茂川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い. セイタカシギ, アカアシシギ, ホウロクシギ, オオジシギの渡来地.	2,3,4
					加茂川河口	湿地性鳥類	ズグロカモメの渡来地.	2,4
					加茂川河口	底生動物*	ゴマフダマ, オオノガイ, ユムシ, チワラスボなどの生息地.	2
425	イオウ医王池湿地	愛媛県	今治市	中間湿原	医王池湿地(通称: 蛇越池)	湿原植生*	サギソウ, ミズトンボ, モウセンゴケ, イシモチソウ, ヒナノカンザシ, ネビキグサなどの生育地.	2
					医王池湿地(通称: 蛇越池)	昆虫類*	アオヤンマ, マルタンヤンマなどの生息地.	2
426	タカナワ高縄半島のため池群	愛媛県	松山市, 今治市など	ため池	高縄半島のため池群	淡水藻類*	シャジクモ類の生育地.	2
					松山市(旧北条市)のため池群	昆虫類*	オオキトンボ, ナニワトンボ, コガタノゲンゴロウなどの生息地.	2
427	シダノブ重信川河口	愛媛県	松山市, 伊予郡松前町	干潟, 河川, 汽水域	重信川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の個体数が多い. チュウシャクシギ, メダイチドリ, キアシシギ, キョウジョシギ, ハマシギ, アカアシシギ, ホウロクシギの渡来地.	2,4
					重信川河口	底生動物	底生動物, とくにカニ類が豊富であり, 多様な生物相を有する.	3
428	サラガミネ皿ヶ嶺湿地	愛媛県	東温市, 上浮穴郡久万高原町	その他湿地	皿ヶ嶺湿地	昆虫類	スジボソヤマキチョウ, モンヒメマキムシモドキ, シコクダルマガムシ, ホソクロマメゲンゴロウ, カンミヤマダカハネカクシなどの生息地.	2
429	アソ赤蔵ヶ池	愛媛県	上浮穴郡久万高原町	ため池	赤蔵ヶ池	昆虫類*	オオイトトンボ, クロゲンゴロウ, ガムシなどの生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
430	お吉泉と周辺水路	愛媛県	東温市	湧水, 水路	お吉泉と周辺水路	淡水藻類*	オキチモズクの生育地.	2
431	ヒジカワ 肱川下流域の農業用水系	愛媛県	大洲市	水路	肱川下流域の農業用水系	淡水貝類	ヒメマルマメタニシ, クルマヒラマキガイ, イシガイ類, マメシジミ類の生息地. 種の多様性が高い.	2,3
432	カノ 鹿野川ダム	愛媛県	大洲市	その他湿地	鹿野川ダム	ガンカモ類*	オシドリの渡来地.	4
433	イカタ 伊方町地先沿岸	愛媛県	西宇和郡伊方町	藻場	伊方町地先沿岸 (仁田之浜, 伊方港など)	海草・海藻	瀬戸内海タイプのクロメ場. クロキツタの生育地.	1,2
434	宇和海島嶼部周辺沿岸	愛媛県	宇和島市, 八幡浜市	藻場	宇和海島嶼部周辺沿岸	海草・海藻	多くの種類のホンダワラが混成している. クロメ場, ガラモ場などと混在し, 地先の生物多様性が高い.	1,2,3
435	ミショウ 御荘湾の汽水域	愛媛県	南宇和郡愛南町	干潟, 汽水域	御荘湾の汽水域	淡水魚類*	【僧都川河口, 蓮乗寺川河口, 菊川河口など】タビラクチ, チクゼンハゼ, クボハゼ, トビハゼ, マサゴハゼ, ヒモハゼ, イドミミズハゼ, シロウオなどの生息地.	2
					御荘湾の汽水域	底生動物*	希少種のドロアワモチ, フジテガニの生息地.	2
436	リュウガドウ 龍河洞の地下水系	高知県	香美市	その他湿地	龍河洞の地下水系	淡水貝類	ホラアナミジンナ類, ミジンツボ類の生息地. 地下水棲貝類の種の多様性が高い.	2,3
437	モノベ 物部川杉田ダム	高知県	香美市	その他湿地	物部川杉田ダム	ガンカモ類*	オシドリの渡来地.	4
438	ヤス 旧夜須町地先沿岸	高知県	香南市	藻場	旧夜須町地先沿岸	海草・海藻	暖海性の特徴を持ったカジメの安定した群落があり, 多様な生物相を有する.	1,3
439	室戸岬周辺沿岸	高知県	室戸市	藻場	室戸岬周辺沿岸	海草・海藻	典型的なクロメ場. ヒラネジモク, マクサの生育地.	1,3
440	ヨコバエ 横落周辺沿岸	高知県	須崎市	藻場	横落周辺沿岸	海草・海藻	太平洋暖海域の代表的なガラモ場群落. トゲモク, ヒラネジモク, フクロノリの生育地.	1,3
441	須崎湾の汽水域	高知県	須崎市	汽水域	須崎湾の汽水域	淡水魚類*	【桜川河口, 御手洗川河口, 新荘川河口など】タビラクチ, チワラスボ, クボハゼ, イドミミズハゼなどの生息地.	2
442	浦ノ内湾	高知県	土佐市, 須崎市	藻場	浦ノ内湾	海草・海藻	マメタワラ群落 (葉が広いタイプ), アナアオサなど多くの種の生育地.	3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
443	松山地区のオオイタサンショウウオの生息湿地	高知県	土佐清水市	その他湿地	松山地区のオオイタサンショウウオの生息湿地	爬虫両生類	オオイタサンショウウオなどの生息地。	2
444	四万十川下流域・河口	高知県	四万十市	河川, 干潟, 汽水域, 藻場	四万十川河口	海草・海藻	コアマモの生育地, アオノリ群落として相当の規模の面積を有している。	1
					四万十川下流域・河口	淡水魚類	アカメ, ゴマフェダイ, トビハゼの生息地。	2
					四万十川河口	底生動物	清流の堆積物によって形成される泥干潟。シオマネキ, ムツハアリアケガニの生息地。	1,2
445	四万十市トンボ自然公園	高知県	四万十市	その他湿地	四万十市トンボ自然公園	昆虫類	休耕田を改良して造成した湿地で, コフキヒメイトトンボ, シコクトゲオトンボ, ミナミヤンマ, ネアカヨシヤンマ, マルタンヤンマなどの生息地。	2
446	ウハエ 土佐清水鵜落・ ヒラバエ 平落, 見残し, 沖の島周辺沿岸	高知県	土佐清水市, 宿毛市	サンゴ礁	土佐清水鵜落・平落	造礁サンゴ	種の多様性が高い。	3
					土佐清水見残し	造礁サンゴ	シコロサンゴの大群生。	2
					沖の島	造礁サンゴ*	種の多様性が高い。南方種が多く見られ, サンゴ礁性生物の多様性が高い。	3
447	オクハタ 奥畑川河口および大積干潟	福岡県	北九州市	干潟, 汽水域	奥畑川河口および大積干潟	淡水魚類*	タビラクチ, チワラスボ, トビハゼ, マサゴハゼ, ヒモハゼ, シロウオなどの生息地。	2
448	曾根干潟	福岡県	北九州市	干潟	曾根干潟	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。シロチドリ, チュウシャクシギ, ダイゼン, オオソリハシシギ, ダイシャクシギ, キアシシギ, ハマシギ, ホウロクシギ, アカアシシギ, オオジシギの渡来地。	2,3,4
					曾根干潟	ガンカモ類	スズガモ, ツクシガモの渡来地。	2,4
					曾根干潟	湿地性鳥類	ズグロカモメの渡来地。	2,4
					曾根干潟	底生動物	カブトガニの産卵地。ツバサゴカイ, ムギワラムシ, ハクセンシオマネキなど貴重な種の生息地。	2
449	お糸池	福岡県	北九州市	湧水	お糸池	水草	希少種が残存している。	2
450	ナガオ 今川河口, 長峡川 河口	福岡県	行橋市, 京都郡 カンダ 苅田町	干潟, 汽水域, その他湿地	今川河口, 長峡川河口部・調整池	湿地性鳥類*	クロツラヘラサギの渡来地。	2,4
					今川河口, 長峡川河口	淡水魚類*	アオギスの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
451	ヒロタニ 広谷湿原	福岡県	北九州市, 行橋市, 京都郡苅田町	中間湿原	広谷湿原(平尾台カルスト内)	湿原植生*	カルスト台地上の旧河川上に形成されたと考えられている湿生植物群落。ネザサ群落のほか、ノハナショウブ、タニガワスゲ、エゾアブラガヤ、ヒメオトギリ、コケオトギリといった中間湿原要素の種が生育する。	1,2
452	長井浜から西角田漁港周辺干潟	福岡県	行橋市, 築上郡築上町	干潟	長井浜から西角田漁港周辺干潟	底生動物	シオマネキの個体数が多い。ムギワラムシとそれに寄生するヤドリカニダマシ、それにマテガイ、バカガイが多く生息する。	2
453	北九州市若松区周辺の湿地群	福岡県	北九州市	ため池, その他湿地	北九州市若松区周辺のため池群および響灘ビオトープ	昆虫類*	キボシチビコツブゲンゴロウ、ヤギマルケンゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウなどの南方系種、シマケシゲンゴロウなど北方系種が混在する貴重な生息地。ナガミズムシ、オオミズムシ、チビシジミガムシ、チュウブホソガムシの生息地。 【北九州市響灘ビオトープ】ベッコウトンボやベニイトンボの生息地。また、ババアメンボ、コオイムシ、ヒメミズカマキリ、オオマルケンゲンゴロウ、コウベツブゲンゴロウなどの生息地。	2
454	オンガ 遠賀川水系の河川および水路	福岡県	遠賀郡芦屋町・遠賀町, 北九州市, 中間市, 鞍手郡鞍手町など	河川, 水路	遠賀川水系の河川・水路	淡水魚類*	在来タナゴ類など多様な種が生息している。本州瀬戸内要素と九州要素を併せ持つ魚類相で生物地理学的に重要度が高い。	1,2,3
455	筑前大島およびジノシマ地島周辺沿岸	福岡県	ムナカタ 宗像市	藻場	筑前大島および地島周辺沿岸	海草・海藻	大規模なツルアラメ群落が形成され、多様な生物相を有する。海中林がある。	1,3
456	津屋崎干潟および周辺農業用水路	福岡県	フクツ 福津市	干潟, 水路	津屋崎干潟および周辺農業用水路	シギ・チドリ類*	ツルシギ、アカアシシギ、タカブシギ、セイタカシギの渡来地。	2,4
					津屋崎干潟および周辺農業用水路	湿地性鳥類*	クロツラヘラサギの重要な渡来地。	2,4
					津屋崎干潟	底生動物*	カブトガニの生息地。	2
457	古賀市および福津市のため池群	福岡県	古賀市, 福津市	ため池	千鳥ヶ池, 御供田池をはじめとした古賀市および福津市のため池群	昆虫類	エサキアメンボ、オオマルケンゲンゴロウ、ミゾナシミズムシ、ハネビロトンボなどの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
458	福岡湾	福岡県	福岡市	干潟, 汽水域	和白干潟, 多々良川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。ミヤコドリ, メダイチドリ, チュウシヤクシギ, キアシシギ, ミユビシギ, トウネン, ハマシギ, ホウロクシギ, アカアシシギ, オオジシギの渡来地。	2,3,4
					和白干潟	ガンカモ類	スズガモ, ツクシガモの渡来地。	4
					和白干潟	湿地性鳥類	クロツラヘラサギ, ズグロカモメの渡来地。	2,4
					多々良川河口	湿地性鳥類*	クロツラヘラサギ, ズグロカモメの渡来地。	2,4
					福岡湾の干潟	淡水魚類*	【和白干潟, 多々良川河口干潟, 今津干潟】キセルハゼ, エドハゼ, チクゼンハゼ, トビハゼが生息し, 固有性の高い魚類相を有している。	2
					和白干潟および今津干潟	底生動物	ウミニナ, オオノガイ, ツバサゴカイといった希少種も多い。今津干潟にはカブトガニも生息する。	2,3
					今津干潟	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。シロチドリ, ミヤコドリ, チュウシヤクシギ, セイタカシギ, ホウロクシギ, アカアシシギ, ツバメチドリ, オオジシギの渡来地。	2,3,4
					今津干潟	湿地性鳥類	クロツラヘラサギ, ズグロカモメの渡来地。	2,4
459	福岡湾の流入河川およびため池群	福岡県	福岡市, 糟屋郡, 筑紫郡那珂川町, 糸島市	河川, ため池	福岡湾の流入河川およびため池群	淡水魚類*	ミナミメダカ, アリアケギバチが生息し, 固有性の高い魚類相を有している。	2
460	カフリ加布里湾およびライザン雷山川河口	福岡県	糸島市	干潟, 汽水域	雷山川河口	湿原植生*	広範囲にわたるハマボウ群落。	1
					加布里湾, 雷山川河口	湿地性鳥類*	クロツラヘラサギの渡来地。	2,4
					加布里湾, 雷山川河口	底生動物*	マキガイイソギンチャク, ハマグリ, イボキサゴなどが豊富で, カブトガニ, カワスナガニ, ハクセンシオマネキの生息地。	2
461	イキサン一貴山川河口	福岡県	糸島市	干潟, 汽水域	一貴山川河口	湿原植生*	広範囲にわたるハマボウ群落。	1
					一貴山川河口	淡水魚類*	タビラクチ, チクゼンハゼ, エドハゼ, トビハゼ, マサゴハゼ, ヒモハゼ, シロウオなどの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
462	タヌシマル 旧田主丸町の農業水路	福岡県	久留米市	水路	旧田主丸町の農業水路	淡水魚類	ヒナモロコの生息地。在来魚種の多様性が高い。	2,3
463	有明海および筑後川河口	福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県	福岡県大川市, 柳川市, みやま市, 大牟田市, 佐賀県佐賀市, 鹿島市, 杵島郡, 藤津郡, 長崎県諫早市, 雲仙市, 熊本県荒尾市, 玉名郡, 玉名市, 熊本市, 宇土市, 宇城市	河川, 干潟, 塩性湿地, 汽水域, 浅海域	東与賀海岸	湿原植生	シチメンソウの生育地。	2
					東与賀海岸	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。ダイゼン, ハマシギ, ダイシャクシギ, シロチドリ, メダイチドリ, アオアシシギ, ソリハシシギ, キアシシギ, アカアシシギ, ホウロクシギの渡来地。	2,3,4
					東与賀海岸	ガンカモ類	ツクシガモの渡来地。	2,4
					東与賀海岸	湿地性鳥類	ズグロカモメ, クロツラヘラサギの渡来地。	2,4
					鹿島新籠海岸	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。ダイゼン, メダイチドリ, チュウシャクシギ, ソリハシシギの渡来地。	2,3,4
					鹿島新籠海岸	ガンカモ類	ツクシガモの渡来地。	2,4
					鹿島新籠海岸	湿地性鳥類	ズグロカモメの渡来地。	2,4
					諫早湾	ガンカモ類	オナガガモ, ホシハジロ, スズガモの渡来地。	4
					諫早湾	湿地性鳥類	ズグロカモメの渡来地。 【干拓地】ナベヅルとマナヅルの渡来地。	2,4
					早津江川河口・平 <small>からみ</small> 和 搦	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。ダイゼン, ソリハシシギ, キアシシギ, ハマシギ, ホウロクシギの渡来地。	2,3,4
					荒尾海岸	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。ダイゼン, メダイチドリ, ハマシギなどの渡来地。	2,3,4
					筑後川河口	湿地性鳥類*	クロツラヘラサギの重要な渡来地。	2,4
					筑後川河口	淡水魚類	アリアケシラウオ, アリアケヒメシラウオ, エツ, ヤマノカミの生息地であり, 主要な繁殖地となっている。	2,5
					筑後川河口から 沖端川河口, 矢部 川河口	底生動物	国内の他地域には見られない大陸遺存性で内湾を好んで生息するアリアケガニ, ハラグクレチゴガニ, ウミマイマイなどの生息地。	1,2,3
有明海周辺	淡水魚類	大陸遺存性で内湾を好む種の生息地。エツ, アリアケシラウオ, アリアケヒメシラウオ, ムツゴロウ, タビラクチ, ハゼクチ, ワラスボ, ヤマノカミなど多様な種の生息地。	1,3					

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					浜川河口干潟	湿地性鳥類*	クロツラヘラサギの渡来地.	4
					六角川河口から 塩田川河口	底生動物	希少巻貝オオクリイロカワザンショウの個体数が多い. シマヘナタリ, クロヘナタリ, ウミマイマイ, シオマネキ, アリアケガニなどの大陸遺存性で内湾を好む種の生息地.	2
					<small>タコリ</small> 田古里川河口	底生動物	ハイガイ, イチョウシラトリ, ムツハアリアケガニなど生息地.	2
464	筑紫平野および 佐賀平野の河川, 水路	福岡県, 佐賀県	福岡県柳川市, 佐賀県佐賀市, 神崎市	河川, 水路	佐賀平野クリーク	水草	未改修のクリークにヒシモドキ, タヌキモ, オニバスなどが生育する.	3
					佐賀平野クリーク	昆虫類	トゲナベバタムシの生息地.	2
					筑紫平野クリーク	淡水魚類	在来タナゴ類, オヤニラミの生息地.	2
					二つ川	淡水貝類	イシガイ類の生息地. 種の多様性が高い.	2,3
465	<small>ノヨリ</small> 野依新池および <small>ナビキマツ</small> 靡松池など豊 前地域のため池 群	福岡県, 大分県	福岡県築上郡 築上町・上毛 町, 豊前市, 大 分県中津市, 宇 佐市	ため池	野依新池および 靡松池など豊前 地域のため池群	昆虫類	キボシチビコツブゲンゴロウ, コガタノゲンゴロウ, チュウブホソガムシ, ベッコウトンボ, コバネアオイトトンボ, オオキトンボ, ベニイトトンボ, ネアカヨシヤンマなどの生息地.	2,3
466	<small>カシバ</small> 檜原湿原	佐賀県	唐津市	低層湿原, 湧水湿地	檜原湿原	湿原植生	ミツガシワなどの生育地.	2
					檜原湿原	水草	ヒメタヌキモ, ヒメミクリ, ミツガシワなどの生育地.	2
					檜原湿原	昆虫類	モートンイトトンボなどの生息地.	2
467	<small>ホシカ</small> 星賀塩生湿地	佐賀県	唐津市	塩性湿地	星賀塩生湿地	水草	入江の砂泥地一帯にコアマモ群生. 隣接してアマモ群落があり, 渚の原風景を残す場所.	1
468	いろは島周辺沿 岸	佐賀県	唐津市	浅海域	いろは島周辺沿 岸	昆虫類	シオアメンボ, シロウミアメンボの生息地.	2
469	<small>カリヤ</small> 仮屋湾の汽水域	佐賀県	唐津市, 東松浦 郡玄海町	汽水域, 干潟	仮屋湾の汽水域 (座川河口, 有浦 川河口など)	淡水魚類*	タビラクチ, チクゼンハゼ, クボハゼ, マサゴハゼ, ヒモハゼ, イドミミズハゼなどの生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
470	東松浦半島北部沿岸	佐賀県	唐津市	藻場	東松浦半島北部沿岸（島嶼を含む）	海草・海藻	広いアラメ群落が形成されている。	1
471	伊万里湾	佐賀県	伊万里市, 松浦市	干潟	伊万里湾	底生動物	奥深い内湾に複雑な地形を持ち、オキヒラシイノミ、ワカウラツボ、カハタレカワザンショウ、ヨシダカワザンショウなどの生息地。	1,2
472	ヒラオメン 平尾免地先沿岸	長崎県	松浦市	藻場	平尾免地先沿岸	海草・海藻	イトテングサ（群落を形成）が生育し、多様な生物相を有する。	1,3
473	シシキ 志々伎湾	長崎県	平戸市	藻場	志々伎湾	海草・海藻	アマモ大規模群落があり、多様な生物相を有する。また相当数が生育している。	1,3,4
474	平戸海峡	長崎県	平戸市	藻場	平戸海峡	海草・海藻	アマモ、アラメ、ワカメ、アオワカメ、ツルアラメ、海中林、ワカメ場があり、多様な生物相を有する。	1,3
475	クジュウク 九十九島周辺沿岸	長崎県	佐世保市	浅海域	九十九島周辺沿岸	昆虫類	多くの小島を含む入り込んだ沿岸部で、海岸は岩礁で海水も汚れていない。シオアメンボ、シロウミアメンボ、ケシウミアメンボなど沿岸性のウミアメンボ類が生息する。	2
476	壱岐島の河川およびため池群	長崎県	壱岐市	河川, ため池	壱岐島の河川(谷江川, 梅ノ木川, 幡鉢川)およびため池群	淡水魚類	在来タナゴ類（カゼトゲタナゴ, セボシタビラなど）、アリアケギバチ、ミナミメダカなど九州要素淡水魚類が生息し、種の多様性が高い。周辺のため池群にはアブラボテが生息する。	2,3
					壱岐島の河川(谷江川, 梅ノ木川, 幡鉢川)およびため池群	淡水貝類	イシガイ類の生息地。トンガリササノハガイの西限。種の多様性が高い。	2,3
477	壱岐島石影浦	長崎県	壱岐市	サンゴ礁	壱岐島石影浦	造礁サンゴ	対馬と並ぶサンゴ礁の北限域。	1
478	対馬溪流域	長崎県	対馬市	河川, その他湿地	対馬溪流域	爬虫両生類	ツシマサンショウウオなどの生息地。	2
					対馬溪流域	昆虫類	オオアメンボ、シマアメンボ、タニガワミズギワカメムシ、キボシケシゲンゴロウやキボシツブゲンゴロウに加え、対馬固有のクリハラヒメツヤドROMシ、対馬固有のツシマダルマガムシの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
479	アソウ 対馬浅茅湾および綱浦	長崎県	対馬市	サンゴ礁, 浅海域	対馬浅茅湾および綱浦	造礁サンゴ	壱岐島石影浦と並ぶサンゴ礁の北限域.	1
					対馬浅茅湾	昆虫類	シオアメンボ, シロウミアメンボ, ケシウミアメンボの生息地. 雄と同色型の雌のヒスマイトトンボがいる.	2
480	対馬田ノ浜	長崎県	対馬市	その他湿地	対馬田ノ浜	昆虫類	抽水植物が発達する広い湿地. タイコウチ, エサキアメンボ, コオイムシ, シナコガシラミズムシ, チビコガシラミズムシの生息地.	2
481	七ツ釜鍾乳洞の地下水系	長崎県	西海市	その他湿地	七ツ釜鍾乳洞の地下水系	淡水貝類	ナナツガマホラアナミジンナ, ナナツガマミジンツボのタイプ産地および唯一の生息地.	2,4
482	キュウラギ 久良木湿地	長崎県	西海市	中間湿原	久良木湿地	湿原植生*	ヒゼンコウガイゼキショウをはじめ, ムラサキミミカキグサ, ヒナザサ, カキラン, ミズトンボ, シロイヌノヒゲ, イヌノハナヒゲ, イトイヌノハナヒゲなどの生育地. 種の多様性が高い.	2,3
483	黒崎永田湿地	長崎県	長崎市	低層湿原	黒崎永田湿地	湿原植生*	ヨシ, ガマ, シロバナサクラタデ, セリを主とした低層湿原で, そのほかオモダカ, イ, コナギ, コウガイゼキショウ, タウコギ, デンジソウ, ミズオオバコなどの生育地.	2
484	コウジロ 神代川	長崎県	雲仙市	その他湿地	神代川の周辺水域	淡水藻類	オキチモズク (紅藻) の生育地.	2
485	島原半島南部沿岸	長崎県	南島原市	藻場	島原半島南部	海草・海藻	アマモ場として相当の規模の面積を有している.	1
486	シツ 志津川のオキチモズクの生育地	熊本県	阿蘇郡南小国町	河川	志津川のオキチモズクの生育地	淡水藻類	オキチモズク (紅藻) の生育地.	2
487	エツ 江津湖・上江津湖水系	熊本県	熊本市	淡水湖沼, 湧水	江津湖および周辺	水草	ヒラモ, ヒメバイカモの生育地. 九州の湧水植生の代表.	2
					上江津湖	淡水藻類	スイゼンジノリ (藍藻) の生育地.	2
488	シラ 菊池川河口, 白川河口, 緑川河口	熊本県	山鹿市, 熊本市, 宇土市, 玉名市	河川, 干潟, 塩性湿地, 汽水域, その他湿地	菊池川	淡水藻類	チスジノリ (紅藻) の生育地.	2
					菊池川河口	湿地性鳥類*	ズグロカモメ, クロツラヘラサギの渡来地.	2,4
					菊池川河口から塩屋海岸	底生動物	タケノコカワニナ, センペイアワモチの生息地. シイノミミガイの有明海唯一の現存生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					白川河口, 緑川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。シロチドリ, ソリハシシギ, ハマシギ, ホウロクシギの渡来地。	2,3,4
					白川河口, 緑川河口, 熊本港	湿地性鳥類*	【白川河口, 緑川河口, 熊本港】ズグロカモメ, クロツラヘラサギの渡来地。ねぐらは熊本港埋め立て地である。 【熊本港, 横島干拓】マナヅルの渡来地。ねぐらは熊本港埋め立て地である。	2,5
					緑川河口	淡水魚類	アリアケシラウオ, アリアケヒメシラウオの生息地。	2
					緑川河口から住吉神社付近	底生動物	塩性湿地固有の希少種の生息地。泥干潟にはササゲミミエガイの個体数が多い。	2
489	シラヌイ 不知火干潟周辺	熊本県	宇城市, 八代市	河川, 干潟	不知火干潟(大野川河口, 砂川河口)	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。ホウロクシギなどの渡来地。	2,3,4
					氷川河口	湿地性鳥類	ズグロカモメ, クロツラヘラサギの渡来地。	2,4
					不知火干潟(大野川河口, 砂川河口)	湿地性鳥類	ズグロカモメ, クロツラヘラサギの渡来地。	2,4
					大野川河口	底生動物	有明海を代表する種, クロヘナタリ, シマヘナタリ, アズキカワザンショウ, シオマネキ, アリアケガニ, ムツゴロウが豊富。有明海でも現在分布に限られるウミマイマイも見られる。	2,3
490	クマ 球磨川河口	熊本県	八代市	河川, 干潟, 汽水域	球磨川河口	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。シロチドリ, ソリハシシギ, キアシシギ, ダイゼン, メダイチドリ, チュウシャクシギ, キアシシギ, ハマシギ, アカアシシギの渡来地。希少なヘラシギの記録がある。	2,3,4
					球磨川河口	湿地性鳥類	ズグロカモメ, クロツラヘラサギの渡来地。	2,4
					球磨川河口	淡水魚類*	タビラクチ, チワラスボ, チクゼンハゼ, エドハゼ, クボハゼ, トビハゼ, マサゴハゼ, ヒモハゼ, シロウオ, ショウキハゼ, シロチチブ, シラヌイハゼなどの生息地。	2
					球磨川河口	底生動物*	有明海と共通する強内湾性の底生動物に, 南方系の底生動物が混じり, 種の多様性が高い。干潟や塩性湿地の特徴的な底生動物が生息する。	1,2,3
491	サガラ 球磨郡相良村の 湿地	熊本県	球磨郡相良村	その他湿地	球磨郡相良村の 湿地	昆虫類*	エゾトンボの南限生息地。ゲンゴロウ類などの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
492	ナカガミ 人吉市中 神町の 湿地	熊本県	人吉市	その他湿地	人吉市中神町の 湿地	昆虫類*	ハッチョウトンボの生息地.	2
493	球磨川水系のオ キチモズクの生 育地	熊本県	人吉市	河川	球磨川水系のオ キチモズクの生 育地	淡水藻類*	チスジノリ (紅藻), オキチモズク (紅藻) の生育地.	2
494	天草・大矢野島周 辺沿岸	熊本県	上天草市	干潟, 藻場	宮津湾	海草・海藻	天然藻場と移植により修復した藻場であり, 日本 (太平洋) におけるアマモの分布 最南端のまとまったアマモ場. イチマツノリの生育地.	1,2
					永浦干潟	底生動物	日本最大のハクセンシオマネキの生息地. メナシピンノなどの生息地.	2
495	シラタケ 白 嶽湿原	熊本県	上天草市	その他湿原	白嶽湿原	昆虫類*	ハッチョウトンボの生息地.	2
496	ツウジ 天草灘通詞島周 辺沿岸	熊本県	天草市	藻場	天草灘通詞島周 辺	海草・海藻	アマモ, ガラム, カジメ・クロメ場などが混在し, 地先の生物多様性が高い. 【通詞島】多くのホンダワラ科海藻が生育する. ジョロモク, アカモク, ヤツマタ モク, ノコギリモクなどが優占.	1,3
497	苓北町富岡地先 沿岸	熊本県	天草郡苓北町	藻場	苓北町富岡地先 沿岸	海草・海藻	イソモク, マメタワラ, ヤツマタモク, アカモクが帯状に分布し, 種の多様性が高 い.	1,3
498	ヨウカク 羊 角湾	熊本県	天草市	干潟	羊角湾	底生動物*	カニノテムシロ, イオウハマグリ, シラオガイ, オキヒラシイノミ, シイノミミミ ガイ, ビョウブガイなどの生息地. 種の多様性が高い.	2,3
499	ウシブカ 天草牛深周辺沿 岸	熊本県	天草市	サンゴ礁	天草牛深周辺沿 岸	造礁サンゴ	【片島, 大島, 桑島など】種の多様性が高く, 天草諸島周辺海域から多くの種が報 告されている. 希少種を含む.	2,3
500	天草山地の源流 域	熊本県	天草市	河川, その他湿地	天草山地の源流 域	爬虫両生類*	水系の源流域. アマクササンショウウオの生息地.	2
501	水俣市袋湾およ び西浦半島周辺 の干潟	熊本県	水俣市	干潟	水俣市袋湾およ び西浦半島周辺 の干潟	底生動物*	海岸部に自然林が相当な面積で残っており, 陸から干潟まで人工物がない状態で連 続している. シイノミミミガイ, カニノテムシロ, ムラサキガイ, オオノガイなど の生息地.	1,2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
502	九州中央山地の源流域	熊本県, 宮崎県, 鹿児島県	—	河川, その他湿地	九州中央山地の源流域	爬虫両生類	【五ヶ瀬川, 緑川, 球磨川, 一ツ瀬川, 大淀川, 川内川など各水系の源流域】ベッコウサンショウウオ, プチサンショウウオの生息地.	2
503	ソボカタムキ 祖母傾山系源流域	熊本県, 宮崎県, 大分県	大分県竹田市, 豊後大野市, 佐伯市, 熊本県阿蘇郡高森町, 宮崎県西臼杵郡高千穂町	河川, その他湿地	祖母傾山系源流域	爬虫両生類*	貴重な両生類の生息地.	2
504	姫島周辺沿岸	大分県	東国東郡姫島村	藻場	姫島周辺沿岸	海草・海藻	ノコギリモク, ホンダワラ, トゲモクなどの生育地. アマモ, ガラモ, カジメ・クロメ場などと混在し, 地先の種の多様性が高い.	1,3
505	中津海岸および宇佐海岸	大分県	中津市, 宇佐市, 豊後高田市	干潟, 汽水域	中津干潟	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い. ダイゼン, チュウシヤクシギ, ハマシギの渡来地.	4
					宇佐海岸	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い. ダイゼン, ハマシギ, ホウロクシギなどの渡来地.	2,4
					中津干潟, 宇佐海岸	湿地性鳥類	ズグロカモメの渡来地.	2,4
					中津海岸, 宇佐海岸	淡水魚類	【山国川, 駅館川, 桂川などの河口やその周辺沿岸】アオギスの生息地.	2
					中津干潟, 宇佐海岸	底生動物	内湾を好む貝類 (クロヘナタリ, シマヘナタリ, サキグロタマツメタ, オカミミガイ, タイラギ, ムラサキガイ, イチョウシラトリなど) やアリアケガニが豊富.	3
506	アジム 安心院町など宇佐市山間部のため池群	大分県	宇佐市, 杵築市	ため池, 休耕田	アジム 安心院町など宇佐市山間部のため池群	昆虫類	【宇佐市安心院町から院内町の山間部 (日指ダム周辺) に点在するため池群および休耕の棚田】イトアメンボをはじめとして多くの水生昆虫類が生息している.	2,3
507	モリエ 守江湾	大分県	杵築市	干潟	守江湾 (八坂川河口)	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い. ダイゼン, メダイチドリ, ハマシギ, アカアシシギ, ホウロクシギなどの渡来地. 希少なコシヤクシギの記録がある.	2,4
					守江湾	淡水魚類	【八坂川などの河口やその周辺沿岸】アオギスの生息地.	2
					守江湾 (八坂川河口)	底生動物	カブトガニ, アオギスのほか, ツバサゴカイ, ハマグリ, カガミガイ, オカミミガイといった希少種が豊富.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
508	コブカエ 小深江漁港周辺 干潟	大分県	速見郡日出町	干潟	小深江漁港周辺 干潟	底生動物	シオマネキ、ハクセンシオマネキに加え、センベシアワモチ、イチョウシラトリなど希少貝類が豊富。	2,3
509	イノセド 猪の瀬戸湿原	大分県	別府市	その他湿地	猪の瀬戸湿原	湿原植生*	九州を代表する高原に形成された湿原。ヨシヤススキが広がり、多種多様な動植物の生息・生育地。貴重な植物の生育地。	1,2,3
510	小田の池	大分県	由布市	中間湿原, 淡水湖沼	小田の池	湿原植生	泥炭層の発達する湿原。ヌマガヤ・ヌマクロボスゲ群落、ミカツギグサーコアナミズゴケ群落などの泥炭層湿原群落。ヨシ、マアザミ、オニナルコスゲなどが生育する。	1
					小田の池	水草	北方寒冷地要素（ミツガシワ、コタヌキモ）の南限生育地。湿原植生も豊か。	1
511	金鱗湖周辺の温 泉水路	大分県	由布市	淡水湖沼, 水路	金鱗湖周辺の温 泉水路	淡水貝類	オンセンゴマツボの唯一の生息地。	2,4
512	九重火山群湿原	大分県	玖珠郡九重町, 竹田市	中間湿原	九重火山群湿原	湿原植生	火山山頂帯や山麓湧水地に形成された湿原。 【西千里浜】コケモモ・ヒメミズゴケ群落など。コケモモ、ニッコウコウガイゼキショウなどが生育する。 【坊がツル】ヌマガヤ・ヒメミズゴケ群落など。ヌマガヤ、ヌマクロボスゲなどが生育する。 【タデ原】ヨシ・アカバナ群落など。ヨシ、ヌマガヤなどが生育する。	1
513	松岡および敷戸 のため池群	大分県	大分市	ため池	松岡および敷戸 のため池群	ガンカモ類	オシドリの渡来地。	4
514	キタガワ 北川湿原	宮崎県	延岡市	湧水湿地, 休耕田	北川湿原(家田湿 原、川坂湿原)	水草	希少種・固有種の水生植物が多い。	2
515	島浦島を含む日 豊海岸	宮崎県	延岡市	干潟, 藻場, サンゴ礁, 汽水域	島浦島から下阿 蘇海岸	海草・海藻	ワカメ場、テングサ場。アマモ、ウミヒルモ、ワカメ、ヒロメ、シマウラモク、オバクサなどの生育地。	1,3
					島浦島	造礁サンゴ	オオスリバチサンゴの大群生。	2
					熊野江川河口, 須 美江川河口	淡水魚類*	チクゼンハゼ、クボハゼ、マサゴハゼ、ヒモハゼ、イドミミズハゼ、ゴマハゼなどの生息地。	2
					熊野江川河口	底生動物*	貴重な種の生息地。クマノエミオスジガニのタイプ産地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
516	五ヶ瀬川 ^{ホウリ} 、祝子川、北川と河口部	宮崎県	延岡市	河川、干潟、汽水域	五ヶ瀬川、祝子川	淡水藻類*	ツマグロカワモズク（紅藻）の生育地。	2
					五ヶ瀬川水系の汽水域	淡水魚類*	チワラスボ、チクゼンハゼ、クボハゼ、トビハゼ、マサゴハゼ、ヒモハゼ、イドミミズハゼ、シロウオなどの生息地。	2
					沖田川を含む五ヶ瀬川、祝子川、北川の河口	底生動物	清浄な河口の汽水域を持ち、ヨシ原も豊富。タケノコカワニナ、カワスナガニの生息地。ほかにトゲアシヒライソガニモドキ、タイワンヒライソモドキといった貴重な種も生息する。	1,2
517	トオミ遠見半島周辺の浅海域	宮崎県	延岡市、東臼杵郡門川町	干潟	ピロウ枇榔島、庵川東西入江を含む遠見半島周辺の浅海域	底生動物*	ハマグリ、イソコハクガイ、カゴメイトカケクチキレなどの生息地。	2
518	カドカワ門川湾およびミホコ御鉢ヶ浦	宮崎県	東臼杵郡門川町、日向市	藻場	門川湾、御鉢ヶ浦	海草・海藻	【門川港】カジメ（南限）、クロメ、トゲモク、ヤツマタモクなどの生育地。海中林。 【御鉢ヶ浦（細島港）】アラメ場。太平洋側の多年生アマモ、クロメの生育地。	1,2,3
519	大淀川水系岩瀬川オオヨドカワゴロモ自生地	宮崎県	小林市	河川	大淀川水系岩瀬川オオヨドカワゴロモ自生地	水草	オオヨドカワゴロモの唯一の自生地。	2
520	大淀川水系中下流域	宮崎県	都城市、宮崎市	河川	大淀川水系中下流域	淡水魚類*	特産種のオオヨドシマドジョウをはじめ、アリアケギバチ、アユカケ、アカメなどの生息地。	2
521	宮崎市周辺の河口および砂浜海岸	宮崎県	宮崎市、児湯郡新富町・都農町・川南町・高鍋町	砂浜、河川、浅海域、その他湿地	大淀川河口から一ツ瀬川河口までの海岸	湿地性鳥類*	コアジサシの継続的な集団繁殖地。	2,4
					宮崎市周辺の砂浜海岸	ウミガメ	アカウミガメの主要な産卵地であり、1970年代よりモニタリングが行われている。南側より侵食が進み、ウミガメの産卵は徐々に北に移っている。	5
					一ツ瀬川河口および二ツ立調整池	湿地性鳥類*	クロツラヘラサギの渡来地。	2,4
					一ツ瀬川河口湿地	底生動物*	貴重な種の生息地。	2
					一ツ葉入り江	底生動物*	アシバマスオガイ、フタハビンノ、ヒメシオマネキの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
522	宮崎市の湧水湿地	宮崎県	宮崎市	湧水湿地	宮崎市の湧水湿地	爬虫両生類	オオイタサンショウウオの生息地.	2
523	青島周辺沿岸	宮崎県	宮崎市	藻場	青島周辺沿岸	海草・海藻	ヤタバグサ, ユイキリ, ワカメ, タマハハキモクなどの生育地.	1,2,3
524	日南海岸の汽水域	宮崎県	宮崎市, 日南市, 串間市	干潟, 汽水域	細田川河口, 隈谷川河口	淡水魚類*	タビラクチ, チワラスボ, チクゼンハゼ, クボハゼ, マサゴハゼ, ヒモハゼ, イドミミズハゼなどの生息地.	2
					内海川河口	淡水魚類*	タビラクチ, チワラスボ, チクゼンハゼ, クボハゼ, マサゴハゼ, ヒモハゼ, イドミミズハゼなどの生息地.	2
525	日南から南郷のため池群	宮崎県	日南市	ため池	日南から南郷のため池群	水草	ミズキンバイ, ミズスギナ, シナミズニラなどの希少種が生育する良好なため池群.	2
526	<small>サカエマツ</small> 栄松地先沿岸	宮崎県	日南市	藻場	栄松地先沿岸	海草・海藻	多年生アマモの南限付近.	2
527	都井岬周辺沿岸	宮崎県	串間市	藻場	都井岬周辺沿岸	海草・海藻	規模の大きなガラモ場. コアマモ, ヒラネジモク, ヨレモクモドキ, タマナシモクなどの生育地.	1,2,3
528	<small>ホンジョウ</small> 本城川河口および福島川河口	宮崎県	串間市	塩性湿地, 干潟, 汽水域	福島川河口	淡水魚類*	タビラクチ, チワラスボ, チクゼンハゼ, クボハゼ, マサゴハゼ, ヒモハゼ, イドミミズハゼなどの生息地.	2
					本城川河口から千野川河口	底生動物	多様な塩生植物に加え, タケノコカワニナ, ハザクラガイ, フトヘナタリなど希少種の生息地.	2,3
529	霧島山系草原の湿地	宮崎県, 鹿児島県	宮崎県えびの市, 都城市, 小林市, 西諸県郡高原町, 鹿児島県霧島市, 始良郡湧水町	その他湿地	霧島山系草原の湿地	昆虫類*	クロゲンゴロウ, エゾヒメゲンゴロウ, コガムシ, コオイムシの生息地.	2
530	志布志のカワゴケソウ類の生育河川	鹿児島県	志布志市	河川	志布志のカワゴケソウ類の生育河川	水草	カワゴロモの生育地. 温帯域にカワゴケソウ科植物が生育する. 【安楽川】 ウスカワゴロモの生育地. 【前川】 ウスカワゴロモの生育地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
531	鹿児島湾	鹿児島県	鹿児島市, 始良市, 霧島市	マングローブ湿地, 干潟, 藻場, その他湿地	岩崎川	マングローブ	メヒルギの生育地。世界的な分布の観点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。	2
					鈴川	マングローブ	現在は、護岸されているがメヒルギの潜在的な生育地。世界的な分布の観点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。	2
					米倉川	マングローブ	メヒルギの生育地。世界的な分布の観点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。	2
					鹿児島湾沿岸の1年生アマモ場群落	海草・海藻	アマモの分布南限とされ、1年生の生活史を持つアマモが優占する。	2
					鹿児島湾奥	湿地性鳥類*	【重富干潟, 天降川河口, 別府川河口, 網掛川河口および干拓地内水路】クロツラヘラサギの渡来地。	2,4
					オモリ天降川河口とその周辺	底生動物	在来ハマグリ ^{オモリ} の生息地。ハザクラガイ, ユウシオガイ, マゴコロガイ, ヒラタブンブク, オサガニの生息地。	2,3
					重富海岸	底生動物	鹿児島湾内に残された自然干潟であり、多様な生物相を有する。	3
					鹿児島市喜入のメヒルギ林湿地	甲殻類	面積的に小さいが、イワガニ類の生息地となっている。	2
鹿児島市喜入のメヒルギ林湿地	底生動物	ウミナナ類, ハクセンシオマネキの生息数がきわめて多い。希少二枚貝マゴコロガイの分布南限地。ゴカイ類の生息地。	2,3					
532	大隅半島山地の源流域	鹿児島県	肝属郡錦江町	河川, その他湿地	大隅半島山地の源流域	爬虫両生類*	オオスミサンショウウオの生息地。	2
533	大隅半島中南部の河川支流	鹿児島県	鹿屋市, 肝属郡肝付町・南大隅町など	河川, その他湿地	大隅半島中南部の河川支流	昆虫類*	チビサナエの北限地。希少な種の生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
534	志布志湾沿岸および周辺河川域	鹿児島県	曾於郡大崎町, 肝属郡東串良町・肝付町	干潟, 河川, 汽水域, その他湿地	田原川河口および菱田川河口	湿地性鳥類*	クロツラヘラサギの渡来地.	2,4
					志布志湾沿岸および周辺河川域(柏原海岸など)	昆虫類*	ヤマトバツタなどの生息地. 周辺河川域は, ミズスマシ, ニシカワトンボ, アオサナエ, キイロヤマトンボ, シルビアシジミなどの生息地.	2
					志布志湾沿岸	底生動物	シオマネキ, ハクセンシオマネキの生息地. 在来ハマグリが生息地.	2
535	大隅半島のカワゴケソウ類の生育地	鹿児島県	肝属郡錦江町・肝付町	河川	大隅半島のカワゴケソウ類の生育地	水草	カワゴケソウとカワゴロモの生育地. 温帯域にカワゴケソウ科植物が生育する. 【神ノ川】カワゴロモの生育地. 【雄川】カワゴロモ, タシロカワゴケソウの生育地.	2
536	アクネ 阿久根地先沿岸	鹿児島県	阿久根市	干潟, 藻場	阿久根地先沿岸	海草・海藻	大規模なガラモ場. 亜熱帯性ホンダワラ属の種など種が多様.	2,3
					脇本干潟・阿久根干拓地	底生動物*	オオギウロコガイ, センペイアワモチの生息地.	2
537	長島周辺沿岸	鹿児島県	出水市	藻場	長島周辺沿岸	海草・海藻	アマモ, ガラモ場などが混在し, 種の多様性が高い. ワカメ生育地である.	1,3
538	イズミ 出水干拓地	鹿児島県	出水市	干潟, 水田	出水干拓地	湿地性鳥類	ナベヅル, マナヅルの渡来地.	2,4
539	センダイ 川内川中流域	鹿児島県	薩摩郡さつま町, 伊佐市	河川, その他湿地	川内川のカワゴケソウ類の生育地	水草	カワゴケソウの生育地. 温帯域にカワゴケソウ科植物が生育する.	2
					川内川のチスジノリの生育地	淡水藻類	チスジノリ(紅藻)の生育地.	2
					川内川中流域, 伊佐市の湿地	昆虫類*	ゲンバイトンボ, アオハダトンボ, クロゲンゴロウなどの生息地.	2
540	川内川河口の周辺湿地	鹿児島県	薩摩川内市	河川, 干潟, その他湿地	川内川河口	昆虫類*	サツマキバナガミズギワゴミムシの生息地.	2
					轟川河口	昆虫類*	ルイスハンミョウ, ヨドシロヘリハンミョウの生息地.	2
541	クシキノ いちき串木野市羽島地先沿岸	鹿児島県	いちき串木野市	藻場	いちき串木野市羽島地先沿岸	海草・海藻	亜熱帯性のフタエモクが優占する藻場. マメタワラ, ヤツマタモクの生育数が多い.	1,3
542	イムタ 蘭牟田池	鹿児島県	薩摩川内市	低層湿原, 淡水湖沼	蘭牟田池	湿原植生	ジャヤナギ群落など. ジュンサイ, コタヌキモ, ハデフラスコモなどの生育地.	2
					蘭牟田池	昆虫類	ベッコウトンボの生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
543	コシキ 甌 島周辺沿岸	鹿児島県	薩摩川内市	汽水湖沼, 浅海域, 藻場	ナマコ 上甌島海鼠池	海草・海藻	鹿児島県沿岸域とは遺伝的な分化が進んでいる可能性があるマメタワラ個体群の生育地. 河川や汽水湖沼に見られるヨシやカワツルモと共に海草のコアマモが同所的に出現し, 特異な生態系である.	1,3
					海鼠池, 貝池	底生動物	人為的影響の少ない海跡湖. ミヤコドリ (貝類) などの生息地.	2
544	薩摩半島のカワ ゴケソウ類およ びオキチモズク の生育地	鹿児島県	南九州市	河川	ウマワタリ 馬 渡 川のカワ ゴケソウ類の生 育地	水草	トキワカワゴケソウの生育地. 温帯域にカワゴケソウ科植物が生育する.	2
					川辺町のオキチ モズクの生育地	淡水藻類*	オキチモズク (紅藻) の鹿児島県内の生育地の中で最大規模.	2
545	ウナギ 鰻 池	鹿児島県	指宿市	淡水湖沼	鰻池	昆虫類	ベニトンボの生息地. ただし, 南西諸島を北上した個体群との交雑が懸念されている.	2
546	マンノセ 万之瀬川河口お よび吹上浜	鹿児島県	いちき串木野 市, 日置市, 南 さつま市	干潟, 砂浜, 浅海域	万之瀬川河口, 吹 上浜	シギ・チドリ 類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い. セイタカシギ, ホウロクシギなどの渡来地.	2,3,4
					万之瀬川河口	湿地性鳥類	クロツラヘラサギの渡来地.	2,4
					吹上浜	ウミガメ	アカウミガメの重要な繁殖地. 北側の侵食は激しいが, 南側では後背の松林もよく保全されているところもある.	5
					万之瀬川河口, 相 星川河口	昆虫類*	ルイスハンミョウ, ヨドシロヘリハンミョウなどの生息地.	2
					万之瀬川河口, 吹 上浜	底生動物	フタハピンノ, ナミノコガイの生息地.	2
547	大浦川河口	鹿児島県	南さつま市	マングロー ブ湿地	大浦川河口	マングローブ	メヒルギの生育地. 世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する. マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち, とくに地理的に重要である.	2
548	種子島の砂浜海 岸とサンゴ礁	鹿児島県	西之表市, 熊毛 郡中種子町・南 種子町	砂浜, サンゴ礁, 浅海域	種子島住吉	造礁サンゴ	貴重な種が生息している.	2
					種子島大塩屋港	造礁サンゴ	種の多様性が高く, 種子島周辺海域から多くの種が報告されており, 希少種を含む.	2,3
					種子島熊野港	造礁サンゴ	種の多様性が高い. 種子島周辺海域から多くの種が報告されている.	3
					浦田海岸など西 之表市海岸	ウミガメ	アカウミガメの重要な繁殖地.	5

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					長浜海岸, 前之浜, 竹崎海岸	ウミガメ	アカウミガメの繁殖地で屋久島について産卵が多い。後背の植生も豊かに残されている。	5
					種子島の砂浜海岸	昆虫類*	イカリモンハンミョウの生息地。	2
549	種子島のマング ロープ湿地	鹿児島県	西之表市, 熊毛 郡南種子町	マングロー プ湿地	湊川	マングロープ	メヒルギの生育地。世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングロープ樹種が生育する。マングロープ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。	2
					大浦川	マングロープ	メヒルギの生育地。世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングロープ樹種が生育する。マングロープ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。	2
					大浦川	昆虫類*	ヨドシロヘリハンミョウの生息地。	2
550	イソソウ 一湊川のカワゴ ケソウ類の生育 地	鹿児島県	熊毛郡屋久島 町	河川	一湊川のカワゴ ケソウ類の生育 地	水草	ヤクシマカワゴロモの生育地。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育する。	2
551	ミヤノウラ 屋久島宮之浦川	鹿児島県	熊毛郡屋久島 町	河川	屋久島宮之浦川	淡水魚類	アユの生息地の南限。	2
552	屋久島西部海岸	鹿児島県	熊毛郡屋久島 町	砂浜, 浅海域	屋久島西部海岸	ウミガメ	アカウミガメの繁殖地で、高密度で産卵する砂浜およびそこに至る海域。	5
553	クリオ 屋久島栗生塚崎	鹿児島県	熊毛郡屋久島 町	サンゴ礁	屋久島栗生塚崎	造礁サンゴ	種の多様性が高い。屋久島周辺海域での種数が多い。	3
554	栗生川	鹿児島県	熊毛郡屋久島 町	マングロー プ湿地	栗生川	マングロープ	メヒルギの生育地。世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングロープ樹種が生育する。マングロープ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。	2
555	ハナノエゴウ 屋久島花之江河 周辺	鹿児島県	熊毛郡屋久島 町	高層湿原	花之江河周辺	湿原植生	南限の高層湿原であり、貴重な種の生育地。	1,2
					花之江河周辺	爬虫両生類	ヤクシマタゴガエルなどの生息地。	2
					花之江河周辺	淡水貝類	ハバマメシジミのタイプ産地および唯一の生息地。	2,4
556	カサリ 笠利湾	鹿児島県	奄美市, 大島郡 龍郷町	干潟, 浅海域	笠利湾	底生動物	潮間帯にシャミセンガイ類が生息する。ドロアワモチ, タテジマユムシ, ヒメギボシムシなど貴重種の多様性がきわめて高い。	2,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
557	奄美大島の川内 カワウチ 川および内海	鹿児島県	奄美市, 大島郡 大和村	河川, 干潟, 汽水域, マングロー ブ湿地	奄美大島の川内 川・内海	マングローブ *	内海は塩湖に成立するマングローブ樹種の地理的に数少ない重要な分布地である.	1
					奄美大島の川内 川・内海	淡水魚類*	キバラヨシノボリ, 放流個体を除けば奄美大島のみで生息するリュウキュウアユの 生息地. 河口にはマングローブ湿地が広がり, 貴重なハゼ科魚類の生息地.	2
					奄美大島の川内 川・内海	爬虫両生類*	アマミハナサキガエル, アマミシカワガエルなどの生息地.	2
					奄美大島の川内 川・内海	昆虫類*	エグリタマミズムシなどの固有の水生昆虫が生息する.	2
					奄美大島の川内 川・内海	淡水貝類*	アマミカワニナ, スグカワニナ, ムチカワニナなど汽水性の大型カワニナ類の生息 地.	2
558	スミヨウ 住用湾流入河川 および河口部	鹿児島県	奄美市	マングロー ブ湿地, 河川	ジョウナイ 城 内 海	マングローブ	世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する (メヒル ギ, オヒルギ). マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち, とくに地理的に 重要である. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1
					住用川	マングローブ	世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する (メヒル ギ). マングローブ湿地が湿地生態系の機能を有し, 多様な動植物の生息・生育地 となっている. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1
					ヤクガチ 役 勝 川	マングローブ	世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する (メヒル ギ, オヒルギ, サキシマスオウノキ, シマシラキ). マングローブ湿地が湿地生態 系の機能を有し, 多様な動植物の生息・生育地となっている. 群落サイズも個体群 を維持する上で十分な面積がある.	1,3
					住用川	淡水魚類	キバラヨシノボリ, リュウキュウアユの生息地.	2
					住用村のマング ローブ湿地およ び流入河川	甲殻類	住用村の住用川と役勝川の河口には, マングローブが大規模に発達している. 両流 入河川には, サワガニ類が生息する.	1,2
					住用川河口	底生動物	広大なマングローブ湿地を擁し, 林内には希少な巻貝類が生息する.	2
					奄美大島南部の 渓流域	鹿児島県	大島郡大和 村・宇検村・瀬 戸内町, 奄美市	河川, その他湿地
奄美大島南部の 渓流域				奄美大島南部の 渓流域	昆虫類	エグリタマミズムシ, アマミダルマガムシ, アマミチビミズムシなどの固有の昆虫 類が多い.	2	

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
560	奄美大島大和村の湿地	鹿児島県	大島郡大和村	その他湿地	奄美大島大和村の湿地	昆虫類	ハネナガチョウトンボの生息地.	2
561	カケロマ加計呂麻島の海岸湿地群	鹿児島県	大島郡瀬戸内町	干潟	加計呂麻島の海岸湿地群	底生動物*	オカミミガイ類などの生息地.	2
562	勝浦川下流域の農業用水系	鹿児島県	大島郡瀬戸内町	水路	勝浦川下流域の農業用水系	淡水貝類	アマミカワニナ, カノコガイ類の生息地.	2
563	徳之島山地水域	鹿児島県	大島郡徳之島町・天城町・伊仙町	河川, その他湿地	徳之島山地水域	爬虫両生類	アマミハナサキガエル, アマミアオガエル, イボイモリ, オビトカゲモドキの生息地.	2
					徳之島山地水域	昆虫類	エグリタマミズムシ, カラスヤンマ徳之島個体群などが生息する.	2
					アキリガミ秋利神川	甲殻類	徳之島の川で最も流程が長く, 上流部は自然が残っている. この川と川岸には希少な甲殻類が生息する.	2
564	カミノミネ徳之島神之嶺, カンニシ港	鹿児島県	大島郡徳之島町	サンゴ礁	徳之島神之嶺, カンニシ港	造礁サンゴ	種の多様性が高い.	3
565	沖永良部島の浅海域	鹿児島県	大島郡和泊町・知名町	砂浜, 浅海域	沖永良部島の浅海域	ウミガメ*	アカウミガメ, アオウミガメが島周囲の砂浜で産卵, 浅瀬がウミガメ類, とくにアオウミガメの重要な餌場.	5
566	百合ヶ浜礁池	鹿児島県	大島郡与論町	サンゴ礁	百合ヶ浜礁池	造礁サンゴ*	奄美群島最大規模の礁池 (陸地と外礁との間の水深のある海域).	1
567	インジャ麦屋湧水地のシマチスジノリ生育地	鹿児島県	大島郡与論町	湧水	麦屋湧水地のシマチスジノリ生育地	淡水藻類*	シマチスジノリ (紅藻) の生育地で, 本種の分布北限.	2
568	イヘヤダナ伊平屋島田名湿地帯	沖縄県	島尻郡伊平屋村	その他湿地	伊平屋島田名の湿地と周辺湿地	昆虫類*	ヒメミズカマキリ, ツマキレオオミズスマシ, シャープツブゲンゴロウ, オオマルケシゲンゴロウ, トビイロゲンゴロウ, コガタノゲンゴロウ, マルヒラタガムシ, コガタガムシなどの生息地.	2
569	やんばる河川群	沖縄県	国頭郡国頭村・大宜味村・東村	河川, その他湿地	やんばる河川群	淡水藻類*	ミナミクロカワモズク, ミナミイトカワモズク, ミナミホソカワモズク, ヤエヤマカワモズク, イリオモテカワモズク, オオイシソウモドキなどの生育地.	2
					やんばる河川群	淡水魚類	キバラヨシノボリ, アオバラヨシノボリ, アヤヨシノボリ, ヒラヨシノボリなどヨシノボリ類の固有種が多種生息する.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					やんばるの河川 上流域	爬虫両生類	ナミエガエル, イシカワガエル, リュウキュウヤマガメなどの生息地.	2,3
					やんばる河川群	昆虫類	カラスヤンマ, オキナワミナミヤンマ, オキナワサラサヤンマ, リュウキュウトンボ, オキナワコヤマトンボ, フタキボシツブゲンゴロウ, オキナワオオミズスマシ, アマミセスジダルマガムシなどが生息する.	2
570	沖縄本島東沿岸	沖縄県	名護市, 国頭郡 宜野座村・東 村・国頭村	マングロー ブ湿地, 藻場, 砂浜, 浅海域	沖縄本島東部沿 ^{ヘド} 岸(辺戸岬から漢 那)	海草・海藻	ボウバアマモ, リュウキュウアマモ, ベニアマモなどの大きな群落.	1
					安田川河口	マングローブ *	マングローブ(メヒルギ)の希少分布地.	1
					辺戸岬周辺	ウミガメ*	アカウミガメ, アオウミガメが産卵する砂浜がある. また, 浅瀬がアオウミガメの生息地.	5
571	ゲサシ 慶佐次マング ローブと流入河川	沖縄県	国頭郡東村	マングロー ブ湿地, 河川	慶佐次川	マングローブ	世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する(メヒルギ, オヒルギ, ヤエヤマヒルギ). マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち, とくに地理的に重要である. マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり, そこを生息・生育地とする動植物が特異である. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1
					慶佐次マング ローブと流入河川	甲殻類	汽水性のテッポウエビ類やハゼ類などの魚類も多い. 流入河川にはサワガニ類が生息する.	2
572	キジョカ 喜如嘉の湿地帯	沖縄県	国頭郡大宜味 村	水田, 休耕田, その他湿地	喜如嘉の湿地帯	昆虫類	^{オクラレルカ} 喜如嘉集落付近から広い谷沿いの水田地帯, 休耕田, 水生花卉畑などに, トビイロヤンマ, シャープツブゲンゴロウ, コガタノゲンゴロウ, マルヒラタガムシ, コガタガムシ, ホシマルミズムシなどが生息する.	3
573	塩屋湾	沖縄県	国頭郡大宜味 村	汽水域	塩屋湾	淡水魚類*	ミナミアシシロハゼの主要な生息地. マサゴハゼ, トビハゼが生息する.	2
574	大浦川および河 口部	沖縄県	名護市	マングロー ブ湿地, 干潟, 河川, 汽水域	大浦川河口部	マングローブ	世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する(メヒルギ, オヒルギ, ヤエヤマヒルギ). マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり, そこを生息・生育地とする動植物が特異である. マングローブ湿地生態系の種の多様性が高い. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					大浦川および河口部	淡水魚類*	ヒゲワラスボ, アサガラハゼ, トカゲハゼなどの生息地.	2
					大浦川および河口部	昆虫類	上流域ではリュウキュウハグロンボ, オキナワリモンボ, カラスヤンマ, ヒメドロムシ類などの流水性昆虫が豊富である. 河口部のマングロープ湿地周辺の水溜まりでは止水性昆虫の種の多様性が高い. 汽水域にキバナガミズギワゴミムシが生息する.	3
					大浦川および河口部	甲殻類*	河口部には干潟やマングロープ域が広がっている. 近年, 多くの甲殻類の未記載種および日本初記録種が発見された.	2,3
					大浦川河口部	底生動物	マングロープ湿地内にシマカノコ, マングロープアマガイ, オイランカワザンショウ, カタシイノミミガイ, ゴマセンバイアワモチなどが生息する.	2
575	ヤガジハネジ屋我地(羽地内海を含む)	沖縄県	名護市, 国頭郡今帰仁村	マングロープ湿地, 干潟, 藻場	羽地内海(饒平名)	マングロープ	世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングロープ樹種が生育する(メヒルギ, オヒルギ). マングロープ湿地が湿地生態系の機能を有し, 多様な動植物の生息・生育地となっている. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1
					羽地内海(我部)	マングロープ	世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングロープ樹種が生育する(メヒルギ, オヒルギ). マングロープ湿地が湿地生態系の機能を有し, 多様な動植物の生息・生育地となっている. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1
					屋我地(羽地内海を含む)	海草・海藻*	種の多様性の高い海草群落.	3
					屋我地	湿地性鳥類	ベニアジサシ, エリグロアジサシの集団繁殖地.	2
					羽地内海	淡水魚類*	トビハゼ, マサゴハゼ, ミナミアシシロハゼなどの生息地.	2
					羽地内海	底生動物	希少巻貝の多様性がきわめて高い. オオズングリアゲマキの生息地. ミニカドカドの生息地. チゴガニの生息地.	2,3
576	アミスガー	沖縄県	国頭郡今帰仁村	湧水	アミスガー	淡水藻類	シマチスジノリ(紅藻)の生育地.	2
577	センソコ瀬底島の小湿地および周辺沿岸	沖縄県	国頭郡本部町	藻場, その他湿地	瀬底島周辺沿岸	海草・海藻	ウミヒルモ, ヒメウミヒルモの生育地.	2
					瀬底島の小湿地	爬虫両生類	イボイモリ, シリケンイモリ, クロイトカゲモドキ, オキナワアオガエルの生息地.	2
578	塩川	沖縄県	国頭郡本部町	河川, 藻場	塩川	海草・海藻	アミアオサ, シオカワモッカの生育地. アオサ場.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
579	ミンナ 水納島周辺沿岸	沖縄県	国頭郡本部町	サンゴ礁	水納島周辺沿岸	造礁サンゴ	裾礁. 種の多様性が高い.	3
580	キンバル 慶武原川	沖縄県	国頭郡宜野座 村	マングロー ブ湿地	慶武原川	マングローブ	世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する（メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ）. マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり、そこを生息・生育地とする動植物が特異である.	1
581	大久保ガー	沖縄県	国頭郡宜野座 村	湧水	大久保ガー	淡水藻類*	シマチスジノリ（紅藻）の生育地.	2
582	漢那ダム	沖縄県	国頭郡宜野座 村	その他湿地	漢那ダム周辺湿 地（ビオトープ）	昆虫類*	コシプトンボ、リュウキュウトンボ、ヒメミズカマキリ、ホシマルミズムシ、マルケシゲンゴロウ属数種、トビイロゲンゴロウ、コウトウコガシラミズムシなどの生息地. 水生昆虫類の種の多様性が高い.	2,3
583	オククビ 億首川流域	沖縄県	国頭郡金武町	マングロー ブ湿地, 河川, 水田	億首川河口	マングローブ	世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する（メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギモドキ）. マングローブ湿地が湿地生態系の機能を有し、多様な動植物の生息・生育地となっている. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1
					億首川の下流 域・河口部	昆虫類	下流域に広がる水田地帯は、ツマキレオオミズスマシ、コガタノゲンゴロウ、コガタガムシなどの生息地. かつてはタガメやタイワンコオイムシが記録された.	2
					億首川河口	底生動物	さまざまな生息環境を擁し、底生動物の多様性がきわめて高い. ミナミオサガニ、ミナミムツハアリアケガニなどの希少種も生息し、種数も多い. 人為的な破壊が比較的少なく、自然状態がよく保たれた河口.	1,2,3
584	ヤカカカタバル 屋嘉田潟原	沖縄県	国頭郡恩納村	塩性湿地	屋嘉田潟原	底生動物	塩性湿地から海草藻場までの生息環境が残され、底生動物の種の多様性も高い.	3
585	瀬良垣海岸	沖縄県	国頭郡恩納村	砂浜, その他湿地	瀬良垣海岸	湿地性鳥類*	ベニアジサシ、エリグロアジサシの集団繁殖地.	2,5
586	ザンバ 残波岬周辺沿岸	沖縄県	中頭郡読谷村	サンゴ礁	残波岬周辺沿岸	造礁サンゴ	裾礁（海岸部に接して発達した珊瑚礁）. 種の多様性が高い.	3
587	イクイ 伊計島東岸地先	沖縄県	うるま市	藻場	伊計島東岸地先	海草・海藻*	南西諸島最大規模のガラモ場である. ホンダワラ類の種の多様性が高く、チュラシマモクの生育地.	1,3,4
588	藪地島周辺沿岸	沖縄県	うるま市	藻場	藪地島周辺沿岸	海草・海藻	ホンダワラ属、クビレミドロの生育地. 群落の規模が大きい.	1,2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
589	ナカグスク 中城湾	沖縄県	うるま市, 中頭郡北中城村・中城村, 沖縄市, 島尻郡与那原町, 南城市	干潟, 藻場, 浅海域	中城湾北部 (泡瀬, 久場沖など)	海草・海藻	リュウキュウスガモ, リュウキュウアマモ, ベニアマモなどアマモ類の種数が多い. イソスギナ. 熱帯産のヒメウミヒルモの日本では数少ない生育地. クビレミドロが生育する.	1,3
					中城湾北部	昆虫類	キバナガミズギワゴミムシ, ケシウミアメンボなどが生息する.	2
					泡瀬干潟	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い. ムナグロ, キアシシギ, アカアシシギ, ホウロクシギの渡来地. ムナグロの越冬数が多い.	2,3,4
					中城湾北部	底生動物	中城湾はトカゲハゼ, キララハゼ, トビハゼ, マサゴハゼの生息地. ナカグスクオサガニの国内唯一の生息地. 泡瀬はとくに希少貝類が豊富.	2,3
					佐敷干潟	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い. アカアシシギなどの渡来地.	2,3,4
					中城湾南部	海草・海藻	ヒジキ (南限), フタエヒイラギモク, ボタンアオサ (群落を形成).	1,3
					中城湾南部	底生動物	トカゲハゼ, キララハゼ, トビハゼ, マサゴハゼの生息地. ミナミオサガニ, シオマネキ, シモフリシオマネキ, コハクオカミミガイ, イチョウシラトリなどの貴重種も豊富.	2,3
590	大山湿地	沖縄県	宜野湾市	水田, 湧水	大山湿地	淡水藻類*	チョウチンミドロなどが生育している.	2
591	漫湖	沖縄県	那覇市, 豊見城市	マングローブ湿地, 干潟	漫湖	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い. ムナグロ, メダイチドリ, ダイシヤクシギ, キアシシギ, ハマシギ, アカアシシギ, セイタカシギ, ホウロクシギなどの渡来地.	2,3,4
					漫湖	湿地性鳥類	クロツラヘラサギ, ズグロカモメの渡来地.	2,4
					漫湖	淡水魚類*	各種ハゼ類など貴重な汽水性魚種の生息地.	2
					漫湖	甲殻類	干潟にはゴカイ類, 二枚貝類, オサガニ類などが多く, 渡り鳥の格好の餌になっている. ヒメアシハラガニモドキの生息地.	2,3
					漫湖	底生動物	貴重な種の生息地. とくにモモイロサギガイの生息地.	2
592	イクトクセン 育徳泉	沖縄県	那覇市	湧水	育徳泉	淡水藻類*	シマチスジノリ (紅藻) の生育地.	2
593	具志干潟から大嶺岬周辺沿岸	沖縄県	那覇市, 豊見城市	干潟	具志干潟から大嶺岬周辺沿岸	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い. キアシシギ, アカアシシギ, セイタカシギ, ホウロクシギなどの渡来地.	2,3,4
					具志干潟から大嶺岬周辺沿岸	昆虫類	岩礁地帯の潮間帯にはキバナガミズギワゴミムシが生息する.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					具志干潟から大嶺岬周辺沿岸	底生動物	絶滅危惧種が数多く記録されるなど、貴重な種が生息する。広範な塩性湿地の存在も貴重。	2
594	与根干潟および豊崎干潟	沖縄県	豊見城市	干潟	与根干潟	シギ・チドリ類*	シギ・チドリ類の個体数が多い。シロチドリ、ツルシギ、アカアシシギ、タカブシギ、オオソリハシシギ、ホウロクシギ、セイタカシギ、ツバメチドリ、ハマシギ、シベリアオオハシシギなどの渡来地。希少なヘラシギ、カラフトアオアシシギ、コシヤクシギの記録がある。	2,3,4
					豊崎干潟	湿地性鳥類*	クロツラヘラサギの渡来地。	2,4
					与根干潟	底生動物	オオツヤウロコガイ、コハクオカミミガイ、イチョウシラトリなどの希少種が生息する。	2
595	コメス 米須海岸	沖縄県	糸満市	その他湿地	米須海岸	シギ・チドリ類*	シギ・チドリ類の渡来地。	4
596	セーファウタキ 斉場御獄	沖縄県	南城市	その他湿地	斉場御獄	爬虫両生類	クロイワトカゲモドキ、シリケンイモリ、オキナワアオガエル、ヒメハブ、ハイの生息地。	2,3
597	コマカ島	沖縄県	南城市	その他湿地	コマカ島	湿地性鳥類*	ベニアジサシ、エリグロアジサシの集団繁殖地。	2,4,5
598	ヤフソガー 屋富祖井	沖縄県	島尻郡八重瀬町	湧水	屋富祖井	淡水藻類	シマチスジノリ（紅藻）の生育地。	2
599	慶良間諸島渡嘉敷島の山地水域	沖縄県	島尻郡渡嘉敷村	河川, その他湿地	渡嘉敷島の山地水域	爬虫両生類	リュウキュウヤマガメ、ホルストガエル、イボイモリ、シリケンイモリ、マダラトカゲモドキの生息地。	2,3
600	慶良間諸島周辺沿岸	沖縄県	島尻郡座間味村・渡嘉敷村	砂浜, サンゴ礁, 浅海域	慶良間諸島周辺沿岸	造礁サンゴ	裾礁。種の多様性が高く、自然状態がよく保たれている。希少種を含む代表的な地域。幼生供給源として重要。	1,2,3
					慶良間諸島屋嘉比島・久場島の周辺海域	ウミガメ	慶良間諸島の砂浜はアオウミガメ、アカウミガメ、タイマイが産卵する。後背の植生から海への一連の自然もきわめて健全な状態で残されている。周囲のサンゴ礁も発達し、日本でも有数なサンゴ礁景観を呈している。	5
601	トナキ 渡名喜島周辺沿岸	沖縄県	島尻郡渡名喜村	サンゴ礁	渡名喜島周辺沿岸	造礁サンゴ	裾礁（海岸部に接して発達した珊瑚礁）。種の多様性が高く、自然状態がよく保たれている。	1,3
602	クメ 久米島の溪流・湿地	沖縄県	島尻郡久米島町	河川, その他湿地	久米島の溪流・湿地	爬虫両生類	キクザトサワヘビの生息地。	2
					久米島白瀬川流域	昆虫類	クメジマボタルの生息地。	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
603	久米島の干潟および河口	沖縄県	島尻郡久米島町	マングローブ湿地, 干潟, 湧水湿地	久米島の干潟および河口	底生動物*	底生動物の種の多様性が高い。河口直上部の淡水域や汽水性の湧水にクメジマナガレゴカイの生息地。	2,3
604	南大東島の池と洞窟群	沖縄県	島尻郡南大東村	マングローブ湿地, 淡水湖沼, その他湿地	大池	マングローブ	オヒルギ群落。生態的な北限域の生育地。海から隔離された内陸湿地に群生するのが特徴。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1
					南大東島の池沼	昆虫類	コフキオオメトンボ、ヒメミズカマキリ、コガタノゲンゴロウ、チンメルマンセスジゲンゴロウなどの生息地。	2
					南大東島の池と洞窟群	甲殻類	南大東島はかつて環礁であったのが隆起した「隆起環礁」の島で、鍋底状の中央部には大小の池が発達している。大池周辺にはオヒルギが生育する。この島には多くの洞窟が発達し、水のある洞内にはドウクツヌマエビ、オハグロテッポウエビなど希少種なエビ類が生息する。	2
605	ヤビジ八重干瀬	沖縄県	宮古島市	サンゴ礁	八重干瀬	造礁サンゴ	離礁で、自然状態がよく保たれている。	1
606	池間湿原と周辺サンゴ礁	沖縄県	宮古島市	低層湿原, 汽水湖沼, 干潟, サンゴ礁	池間湿原	湿原植生*	もともと入り江だったところに、汽水の沼地と周辺の低層湿原が形成されている。オオバギ、ヤブギ、ガジュマル、タブノキ、マーニーなど石灰岩のアルカリ性土壌を好む植物が生育している。そのほかヒメガマ、フトイなどが生育する。	1,2
					池間湿原	昆虫類	リュウキュウベニイトトンボ、アメイトトンボ、メミズムシ、マルミズムシ、マダラミズカメムシ、コブイトアメンボ、セスジアメンボ、チビコツブゲンゴロウ、コクロヒラタガムシ、クロヒラタガムシのほか、コガタノゲンゴロウ、トビイロゲンゴロウのような中・大型種が多く生息可能な池も残存する、宮古諸島の中で貴重な環境である。	2,3
					池間湿原と周辺サンゴ礁	甲殻類	池間湿原は、かつて海水が流入する内湾であったが、漁港工事に伴って湾口が閉ざされて淡水化した。その後、水草が繁茂し湿地の大半が埋まり、北西部に淡水域が残っている。湿地とその周辺にはオカガニが多く生息する。砂礫干潟には、ルリマダラシオマネキが生息する。	2
607	島尻入江	沖縄県	宮古島市	マングローブ湿地	島尻入江	マングローブ	世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する（メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ）。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり、そこを生息・生育地とする動植物が特異である。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					島尻入江	甲殻類	島尻入江のマングローブ湿地は、宮古島では最も規模が大きく、ノコギリガザミ類などの有用水産動物が多い。	1,3
608	宮古島中北部の湿地	沖縄県	宮古島市	その他湿地	宮古島中北部の湿地	爬虫両生類	ミヤコヒバア、ヒメヘビ、ミヤコカナヘビ、ミヤコヒキガエルの生息地。	2
609	宮古島の洞窟群と湧泉群	沖縄県	宮古島市	湧水湿地、その他湿地	宮古島の洞窟群と湧泉群	甲殻類	宮古島は河川が少ないかわりに、地下河川がよく発達している。また、湧水の洞窟が多く、貴重な種を含むオカガニ、宮古島固有ホラアナマメシジミなどが生息している。サワガニ類、テナガエビ類の生息地。	1,2
610	宮古島東部 アガリヘンナザキ (東平安名崎)沿岸	沖縄県	宮古島市	藻場	宮古島東部(東平安名崎)沿岸	海草・海藻	ホンダワラ属(亜熱帯域の大規模なガラモ場として重要)が生育し、多様な生物相を有する。	1,3
611	カデカリ 嘉手刈入江	沖縄県	宮古島市	マングローブ湿地	嘉手刈入江	マングローブ	世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する(メヒルギ、オヒルギ、ヒルギダマシ)。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり、そこを生息・生育地とする動植物が特異である。	1
612	ヨナハ 与那覇湾および 周辺	沖縄県	宮古島市	干潟、藻場	与那覇湾沖(与那覇湾から来間島)	海草・海藻	【与那覇湾】リュウキュウスガモ、リュウキュウアマモなど複数種からなるアマモ場。ウミヒルモ、クビレズタの生育地。	1,2,3
					与那覇湾沿岸	シギ・チドリ類	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多い。ムナグロ、メダイチドリ、チュウシヤクシギ、ダイシヤクシギ、キアシシギ、アカアシシギなどの渡来地。希少なコシヤクシギの記録がある。	2,3,4
613	イラブ 伊良部島の入江	沖縄県	宮古島市	マングローブ湿地	伊良部島の入江	マングローブ	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。	1
614	平久保半島北東沿岸	沖縄県	石垣市	サンゴ礁	平久保半島北東沿岸	造礁サンゴ	裾礁があり、種の多様性が高い。	1,3
615	カラ 嘉良川	沖縄県	石垣市	マングローブ湿地	嘉良川	マングローブ	世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する(メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ)。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり、そこを生息・生育地とする動植物が特異である。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
616	フキドウ 吹通川河口および沿岸	沖縄県	石垣市	マングローブ湿地, 河川, 藻場	吹通川	マングローブ	世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する（メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギモドキ）。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり、そこを生息・生育地とする動植物が特異である。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1
					吹通川河口沿岸	海草・海藻	複数種の熱帯性海草からなる藻場。	2,3
					吹通川河口	昆虫類	ハラアカナホシキンカメムシの個体数が多い。汽水域植生に依存する種が生息する。	2
					吹通マングローブおよび流入河川	甲殻類	流入河川には貴重な種が生息する。	2
617	カビラ ヨネハラ 川平湾, 米原地 先沿岸	沖縄県	石垣市	干潟, 藻場, サンゴ礁	川平湾から米原地先沿岸	海草・海藻	ホンダワラ属, シマテングサの生育地であり、多様な生物相を有する。	1,3
					川平湾	造礁サンゴ	裾礁があり、種の多様性が高い。	1,3
					米原	造礁サンゴ	裾礁があり、種の多様性が高い。	1,3
					川平湾	甲殻類*	川平湾は沖縄でも数少ない閉鎖的性質をもつ内湾環境である。潮間帯に発達する干潟には、カニ類やアナジャコ類が生息する。また、カスリモミジガイ（ヒトデ類）の個体群がある。一方、潮下帯も砂泥底であり、甲殻類の種数が多い。	1,2,3
					川平湾	底生動物	きわめて多様な内湾環境を持ち、底生動物相も豊富。	3
618	カビラ湧水および川平の水田	沖縄県	石垣市	湧水, 水田	カビラ湧水および川平の水田	淡水藻類	オオイシソウモドキ（紅藻）の全国でも希少な生育地（県内唯一）。	2
619	ウガンザキ 御神崎から石崎地先沿岸	沖縄県	石垣市	サンゴ礁	御神崎から石崎地先沿岸	造礁サンゴ	裾礁があり、種の多様性が高い。	1,3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
620	ナグラ 名蔵湾および名蔵川集水域	沖縄県	石垣市	マングローブ湿地, 河川, 干潟, 藻場, その他湿地	名蔵川 (アンパル)	マングローブ	世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する (メヒルギ, オヒルギ, ヤエヤマヒルギ, ヒルギダマシ, ヒルギモドキ, マヤブシキ). マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち, とくに地理的に重要である. マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり, そこを生息・生育地とする動植物が特異である. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1
					名蔵湾	海草・海藻	リュウキュウスガモ, リュウキュウベニアマモ, ベニアマモなどが生育する熱帯性海草藻場. 貴重な種を含み, 種の多様性が高い.	1,2,3
					アンパル	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い. セイタカシギ, アカアシシギなどの渡来地.	2,3,4
					於茂登岳の溪流および湿地	爬虫両生類	コガタハナサキガエル, オオハナサキガエル, ヤエヤマヒバア, セマルハコガメの生息地.	2,3
					椶海於茂登岳, 於茂登山麓白水地区	昆虫類	ヒメイトトンボ, コナカハグロトンボ, ヤエヤマサナエ, ヒメホソサナエ, サキシマヤンマ, イシガキヤンマ, ヒナヤマトンボ, サキシマヤマトンボ, オオキイロトンボなどの生息地.	2
					名蔵川 (アンパル)	甲殻類	マングローブ樹種と規模と成因・鳥類・魚介類など独特で重要. 水生動物では, 大型巻貝のキバウミナや唯一の海産ヌマエビで希少種のマングローブヌマエビの分布北限になっている. 流入河川には, 貴重な種が生息する.	1,2,3
					名蔵湾	底生動物	広大なマングローブ湿地を擁し, 底生動物相も豊富.	1,3
621	ミヤラ 宮良湾および宮良川集水域	沖縄県	石垣市	マングローブ湿地, 河川, 干潟	宮良川河口	マングローブ	世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する (メヒルギ, オヒルギ, ヤエヤマヒルギ). マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり, そこを生息・生育地とする動植物が特異である. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1
					宮良湾	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い. メダイチドリ, ムナグロ, シロチドリ, キョウジョシギ, キアシシギ, セイタカシギ, アカアシシギ, ホウロクシギ, オオジシギなどの渡来地.	2,3,4
					宮良川	淡水魚類	キバラヨシノボリ, ヒラヨシノボリの生息地. タナゴモドキを含む多様な汽水魚類群集.	2
					宮良川河口	甲殻類	ヌマエビ類やサワガニ類など貴重な種の生息地. 種の多様性が高い.	2,3
					宮良川および支流の山地性溪流	淡水藻類*	ヤエヤマカワモズクの生育地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
622	シラホ 白保海岸とその 沿岸	沖縄県	石垣市	藻場, サン ゴ礁	白保海岸	海草・海藻	ウミヒルモ, ウミシヨウブ, リュウキュウアマモ, リュウキュウアマモ, ボウバアマモなどの生育地.	3
					白保海岸	造礁サンゴ	キョシヨウ 裾 礁 (海岸近くに浅瀬が形成されるサンゴ礁のタイプ) があり, 貴重な種が生息している. また種の多様性が高く, 多様な生物相を有する.	1,2,3
					白保海岸	シギ・チドリ 類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い. メダイチドリ, ムナグロ, シロチドリ, キョウジョシギ, キアシシギ, セイタカシギ, アカアシシギ, ホウロクシギ, オオジシギなどの渡来地.	2,3,4
623	石西礁湖	沖縄県	八重山郡竹富 町	サンゴ礁	石西礁湖(鳩間島 沿岸を含む)	造礁サンゴ	ホシヨウ 堡 礁 (海岸から離れて浅瀬が形成されるサンゴ礁のタイプ). 種の多様性が高く, 自然状態がよく保たれている. 希少種を含む代表的な地域. 幼生供給源として重要.	1,2,3
624	西表島の山地陸 水域	沖縄県	八重山郡竹富 町	河川, その他湿地	後良川および支 流の山地小流	淡水藻類*	イリオモテカワモズクの生育地.	2
					西表島の山地水 域	淡水魚類	貴重な種を含む亜熱帯性淡水魚類の多様性が高い. 溪流性ハゼ科魚類の生息地. オオミジャ 【大見謝川】上流にはツバサハゼが生息する.	2,3
					西表島の山地水 域	爬虫両生類	コガタハナサキガエル, オオハナサキガエル, ヤエヤマヒバア, セマルハコガメの 生息地.	2,3
					西表島の山地水 域	昆虫類	ヤエヤマハナダカトンボ, ヒナヤマトンボ, イリオモテミナミヤンマ, アシブトカ タビロアメンボ, イリオモテケシカタビロアメンボなど八重山諸島固有の種を含む 多くの種が生息する.	2,3
625	西表島の平地部 の陸水域	沖縄県	八重山郡竹富 町	マングロー ブ湿地, 河川, 水田, その他湿地	西表島の北部地 域の水田	水草*	アカウキクサ, ヒメシロアサザ, スブタなどの生育地.	2
					西表島の平地部 の湿地	淡水魚類	貴重な種を含む亜熱帯性淡水魚類の多様性が高い.	2,3
					西表島の平地部 の湿地	爬虫両生類	コガタハナサキガエル, オオハナサキガエル, ヤエヤマヒバア, セマルハコガメの 生息地.	2,3
					西表島大見謝川	昆虫類*	八重山諸島固有の水生昆虫類が豊富. 溪流性および湿地性の昆虫が多様で, 質・量 とも豊富.	3

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					大正池付近をはじめとした湿地	昆虫類	ホソアカトンボ、キイロハラビロトンボ、ミナミトンボ、リュウキュウカトリヤンマ、チビセスジゲンゴロウ、ヤエヤマセスジゲンゴロウなどの生息地。 【大正池】乾燥前はマダラアシミズカマキリやタイワンマツモムシも豊富にみられた。	2
626	ナカマ 仲間川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ湿地、 河川	仲間川河口	マングローブ	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり、そこを生息・生育地とする動植物が特異である。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1
					仲間川	淡水魚類	亜熱帯性淡水魚類の多様性が高い。上流はツバサハゼの生息地。	2,3
					仲間川河口	甲殻類	貴重な種の生息地。	2
					仲間川河口	底生動物	マングローブ湿地固有の底生動物の種の多様性が大きい。	3
627	シイラ アイラ 後良川, 相良川, マイラ 前良川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ湿地、 河川	相良川河口	マングローブ	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり、そこを生息・生育地とする動植物が特異である。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1
					後良川河口	マングローブ	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり、そこを生息・生育地とする動植物が特異である。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					前良川河口	マングローブ	メヒルギ, オヒルギ, ヤエヤマヒルギ, ヒルギダマシ, ヒルギモドキ, マヤブシキの生育地。世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり、そこを生息・生育地とする動植物が特異である。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1
					後良川河口, 前良川河口	甲殻類	両河口のマングローブ域にはシオマネキ類, コメツキガニ類, イワガニ類, ワタリガニ類, オウギガニ類, ヤドカリ類, アナジャコ類などほとんどの汽水域性のカニ類が生息する。とくに、河口部の外干潟では、干潮時にヒメシオマネキとミナミコメツキガニの大群が見られる。この湿地は、古見集落の民謡でシオマネキ類, クマドリオウギガニ, ノコギリガザミ類などを歌った「ヤクジャマ節」の発祥の地でもある。流入河川には、希少種のエビ類やサワガニ類が生息する。	2,3
					後良川河口, 前良川河口	底生動物	マングローブ湿地の規模が大きい。マングローブ湿地固有の底生動物の種の多様性が大きい。	1,3
					後良川および支流の山地性溪流	淡水藻類*	ヤエヤマカワモズクの生育地。	2
628	ユブ 由布島および干潟	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ湿地, 干潟	由布島および干潟	マングローブ	メヒルギ, オヒルギ, ヤエヤマヒルギ, ヒルギダマシ, ヒルギモドキ, マヤブシキの生育地。世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり、そこを生息・生育地とする動植物が特異である。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1
629	コハマ 小浜島 (細崎からアカヤ崎)	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ湿地	細崎からアカヤ崎	マングローブ	メヒルギ, オヒルギ, ヤエヤマヒルギ, ヒルギダマシ, ヒルギモドキ, マヤブシキの生育地。世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり、そこを生息・生育地とする動植物が特異である。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
630	船浦湾と流入河川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ湿地, 河川, 干潟	船浦湾	マングローブ	メヒルギ, オヒルギ, ヤエヤマヒルギ, ヒルギダマシ, ヒルギモドキ, ニッパヤシの生育地。世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち, とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり, そこを生息・生育地とする動植物が特異である。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1
					船浦湿地と流入河川	甲殻類	【船浦湾】 大小3つの河川(西田川・ヒナイ川・マーレ川)が流入し, マングローブがよく発達している。とくに, ニッパヤシは船浦が分布北限になっている。貴重な種が生息する。 【流入河川と周辺陸域】 オカヤドカリ類を含む貴重な種の生息地。	1,2,3
					船浦湾	底生動物	広大なマングローブ湿地を持ち, 湿地内にはキバウミニナが高密度に生息。干潟域にはカニノテムシロやタテジマユムシが多数生息する。	1,2
631	浦内川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ湿地, 河川	浦内入江, 浦内川河口	マングローブ	メヒルギ, オヒルギ, ヤエヤマヒルギ, ヒルギダマシ, ヒルギモドキの生育地。世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち, とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり, そこを生息・生育地とする動植物が特異である。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1
					浦内川河口	淡水魚類	オオメジロザメ, テッポウウオ, ウラウチフエダイ, アトクギスの生息地。	2,3
					浦内川マングローブと流入河川	甲殻類	浦内川の汽水域には周縁性魚類や甲殻類が多く, 淡水域には希少種や危急種に該当する甲殻類やハゼ類が生息する。河川上流部には河川陸封性のショキタテナガエビなどが生息している。	2
					浦内川河口	底生動物	マングローブ湿地固有の底生動物が豊富。ノコハオサガニの生息地。	2
632	西表島南西部海域および河口	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ湿地, 砂浜, 藻場, サンゴ礁	西表島南西部海域	ウミガメ	八重山諸島でもアオウミガメが多く生息する海域で, 湾奥の藻場を餌場としていることが分かっている。タカハマ, ワカレハマと呼ばれている砂浜は, 南西諸島では最もアオウミガメが高密度で産卵する砂浜。	5
					仲良川河口	マングローブ	メヒルギ, オヒルギ, ヤエヤマヒルギ, ヒルギダマシ, ヒルギモドキの生育地。世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち, とくに地理的に重要である。マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり, そこを生息・生育地とする動植物が特異である。群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある。	1

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準					
					クイラ川河口	マングローブ	メヒルギ, オヒルギ, ヤエヤマヒルギ, ヒルギダマシ, ヒルギモドキの生育地. 世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する. マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち, とくに地理的に重要である. マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり, そこを生息・生育地とする動植物が特異である. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1					
					ウダラ川河口	マングローブ	メヒルギ, オヒルギ, ヒルギダマシ, ヒルギモドキの生育地. 世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する. マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち, とくに地理的に重要である. マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり, そこを生息・生育地とする動植物が特異である. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1					
					アヤンダ川河口	マングローブ	メヒルギ, オヒルギ, ヒルギダマシ, ヒルギモドキの生育地. 世界的な分布の視点から, 北限域に分布するマングローブ樹種が生育する. マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち, とくに地理的に重要である. マングローブ林が生態系として他の動植物との相互作用があり, そこを生息・生育地とする動植物が特異である. 群落サイズも個体群を維持する上で十分な面積がある.	1					
					網取湾	海草・海藻	熱帯性海藻群落. 種の多様性が高い.	1,3					
					網取湾	造礁サンゴ	種の多様性が高く, 希少種を含む.	1,2,3					
					崎山湾	海草・海藻	リュウキュウスガモ, リュウキュウアマモ, ウミシヨウブの群落. 多様な生物相を有する.	1,3					
					崎山湾	造礁サンゴ	自然状態がよく保たれ, 種の多様性が高い.	1,3					
					田ノ浜海岸(南風見田浜)	海草・海藻*	リュウキュウスガモを中心とした海草類やサンゴ場が広がっている.	2					
					633	与那国島の湿地・河川	沖縄県	八重山郡与那国町	低層湿原, 湧水湿地, 河川, その他湿地	与那国島の湿原	湿原植生*	【田原川湿原】ヨシを中心とした低層湿原で, 一部にマングローブが生育する. 多くの水鳥や水生生物の生息地として重要. 【樽舞湿原】断層運動によりできた谷底低地に広がる湿地帯でヨシクラスの植生であり, 他の動植物の生息・生育場として重要.	1
										久部良岳山腹の湿地・河川	爬虫両生類	ヨナグニシュウダ, ミヤラヒメヘビ, ヨナグニキノボリトカゲの生息地.	2

番号	湿地名	都道府県	市町村	湿地タイプ	生息・生育域	生物分類群	選定理由	選定基準
					比川付近, 祖納付近の湿地, 樽舞湿原, 田原川	昆虫類	トンボ類をはじめとして, 水生・半水生昆虫が多数生息する. アオナガイトトンボ, エサキタイコウチ, トゲアジアメンボ, ヨナグニアシナガドロムシなどの生息地.	2,3
					与那国島の田原川流域	甲殻類*	下流部には小規模な干潟やマングローブ湿地もあり, 湿地帯となっている. 河川流域には希少な甲殻類の生息地として重要.	1,2
					比川湧水地	淡水貝類	ヨナグニカタヤマガイ, オキナワミズゴマツボの生息地.	2,3
					田原川	淡水貝類	ヨシカワニナ, スグカワニナ, カノコガイ類などの生息地.	2

IV. 重要湿地の現状

1. 全国的な湿地の現状

(1) 現状の分析方法

平成 11 年度から平成 12 年度の重要湿地選定調査時の情報提供者及びその他の情報収集のために必要とされる者から、平成 13 年度に選定された「日本の重要湿地 500」について、平成 25 年度及び 26 年度に当該湿地の現状に関する基礎情報を収集した。

具体的には、連絡がとれた平成 13 年度の情報提供者に加え、検討委員の紹介により選定した者等に対し、平成 13 年度に作成した重要湿地リストを送付し、湿地及び選定生物群毎に整理された選定理由についての現在の情報を収集した。

生物分類群毎の視点でみた 961 湿地のうち、情報が得られた湿地は 823 湿地であった。それらを「顕著な変化なし」「改善傾向」「悪化傾向」に分け、その湿地数と割合を整理した。

1 つの湿地に対して複数の情報提供者から異なる情報（例えば、「顕著な変化なし」と「悪化傾向」）が寄せられた場合には、情報の内容を総合的に判断し、いずれかのカテゴリーに分けた。

(2) 分析結果

分析した結果を表 1 に示す。

- 湿地の劣化は、すべての生物群に及んでおり、全体的に見れば、湿地環境は悪化傾向にあった。とくに、淡水魚類、爬虫両生類、ウミガメ等の生息環境が悪化していた。
- 水草で選ばれていた湿地のなかには、選定理由となった種が生育しなくなったために、再選定見送りの判定となった生育地が、他の生物分類群よりも多かった。
- 一方、調査や保全・再生の取組が進められた結果、とくにサンゴ礁、淡水藻類、ガンカモ類などの鳥類については、環境が改善傾向にある湿地も見られた。

表1. 「日本の重要湿地」の現状

生物分類群	湿地数	顕著な変化なし	改善傾向	悪化傾向	その他*
(1)湿原植生	136	55	2	64	15
(2)マングローブ	37	28	2	5	2
(3)海草・海藻	129	43	0	69	17
(4)造礁サンゴ	31	11	6	13	1
(5)水草	55	16	0	28	11
(6)淡水藻類	27	2	3	17	5
(7)シギ・チドリ類	54	11	4	37	2
(8)ガンカモ類	60	24	5	21	10
(9)湿地性鳥類	35	13	2	14	6
(10)淡水魚類	73	5	4	60	4
(11)爬虫両生類	25	4	0	20	1
(12)ウミガメ	12	0	0	10	2
(13)昆虫類	112	28	0	53	31
(14)甲殻類	17	3	0	8	6
(15)淡水貝類	50	7	0	33	10
(16)底生動物	108	19	2	72	15
合計	961	269	30	524	138

*: 情報が不足しているが、重要性が高いと判断され再選定とした湿地等

なお、以下の湿地は、悪化傾向の程度がはなはだしいとする有識者の意見があったため、今回の見直しでは一旦、重要湿地への再選定を見送った。ただし、今後の詳細な調査結果や、環境の改善状況次第では、次回の改定で再選定する可能性を含む。

● 「明石市大久保町周辺のため池群」(水草)

(有識者の見解—明石市大久保町周辺には、日本最大のオニバス群落と言われた西島大池はじめ、オニバス群落が各所に見られた。しかし、現在、ため池の水質の悪化や管理不足によりヘドロの堆積が著しく、オニバスの群生する池は見られなくなった。トチカガミやガガブタなどの希少種もほぼ消滅した。水質悪化の一因は池に汲み上げられる地下水の塩分濃度の上昇にあり、これは対症的な対応では解決できず、オニバスはじめ、ため池の水草群落の復活はきわめて困難な状況になっている。)

また、劣化状況が著しいものの、回復可能性を期待して再選定とした湿地もあり、例えば、見沼代用水や神代川(淡水藻類)、三和村ため池群¹⁾や忍野村湧水群(水草)、蒲生田海岸(ウミガメ)、大沼や鳥屋野潟²⁾(淡水貝類)などが挙げられた。

1) 「上越市(三和区)のため池群」に湿地名を変更した。

2) 「佐潟および鳥屋野潟を含む新潟砂丘湖沼群」に湿地名を変更した。

そのほか、木曾三川合流域の河川・水路・ため池(水草)、沼池(水草)、多鯰ヶ池(水草)、有明海および筑後川(諫早湾)(シギ・チドリ類)、万之瀬川のカワゴケソウ類自生地(水草)、鰻池(淡水貝類)、石垣島の水草・湿地(水草)については、以下に示すように、環境劣化が顕著であるなどの理由で、該当する生物分類群でのみ、再選定を見送った。

旧番	旧湿地名	生物分類群	生息・生育域	再選定見送りの理由
229	木曾三川合流域の河川・水路・ため池群	水草	木曾三川地域の水路・ため池群	かつては輪中内の池や水路を中心にオニバスやトチカガミ、クロモなど、種多様性の高い水草群落が各所に見られた。しかし、近年、開発により消滅した水域も多く、また残された池や水路も富栄養化の進行が著しく、水草はほとんど消滅した。
287	沼池	水草	沼池	前回の選定後の情報蓄積により、選定理由にあるイトタヌキモの産地は他にも多くあり、この種のみで当湿地を重要湿地として再選定することは合理性を欠く。

298	多鯰ヶ池	水草	多鯰ヶ池	外来水生植物の園芸スイレンが水面に広がり、水中はハゴロモモ（フサジュンサイ）の繁茂で、在来種の水草はごくわずかししか残存しない状況になっている。特に前回の選定理由とされた絶滅危惧種ヒメイバラモは近年確認できない。
365	有明海および筑後川（感潮域）	シギ・チドリ類	諫早湾	国営諫早湾干拓事業に伴い、シギ・チドリ類の生息地であった干潟が消失した。潮受け堤防の水門が閉じられたままで、現時点では、当該干潟が再生する状況にない。
418	薩摩半島のカワゴケソウ類自生地	水草	万之瀬川のカワゴケソウ類自生地	発電所と取水施設の建設により万之瀬川本流ではカワゴケソウが生育できない状況となっていた。支流の白川との合流点においてわずかに残存するカワゴケソウが確認されていたが、現在ではほとんど消滅し、回復の見込みもない。
427	鰻池	淡水貝類	鰻池	前回の選定後の情報蓄積により、選定理由にあるチビマメシジミの産地は他にも多くあり、この種のみで当湿地を重要湿地として再選定することは合理性を欠く。
487	名蔵湾および名蔵川集水域	水草	石垣島の水田・湿地	かつてこの地域に存在したブネラ湿地とその周辺の水田は水草の宝庫であった。しかし、その後水田の圃場整備とサトウキビ畑への転換が進み、選定理由とされた希少な水草は完全に消滅した。名蔵川もボタンウキクサやヨウサイなどの外来水草の優占が著しい。

2. 全国的な湿地の劣化要因

(1) 劣化要因の分析方法

「1. 全国的な湿地の現状」における情報収集時において、「悪化傾向にある湿地」として回答のあったものについては、その劣化要因について、生物多様性の第1～4の危機、複合的要因、その他の分類に分けて情報を収集した。

平成13年度に選定された「日本の重要湿地500」で、生物分類群毎の視点でみた961湿地のうち、「悪化傾向」にある湿地は524湿地であった。そのうち、劣化要因について情報のあった368湿地について、その主たる要因を以下のとおり分類した。

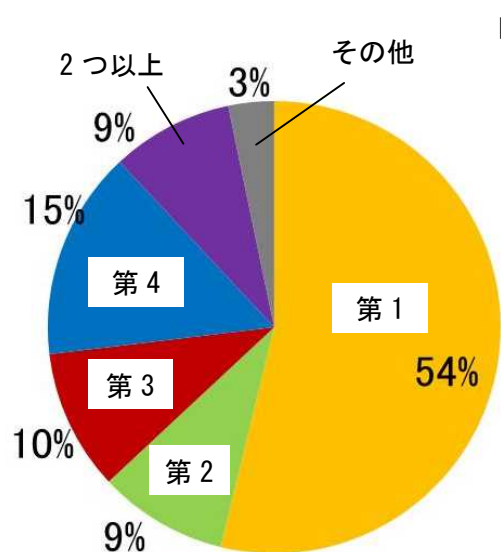
- 「第1の危機」（開発など人間活動による危機）
- 「第2の危機」（自然に対する働きかけの縮小による危機）
- 「第3の危機」（外来種など人間により持ち込まれたものによる危機）
- 「第4の危機」（地球温暖化や海洋酸性化など地球環境の変化による危機）

- 「複合的要因」(第1から第4の危機とその他の2つ以上に該当するもの)
- 「その他」 (人為的な影響によらない地震や津波など自然災害等)

(2) 分析結果

分析した結果を図1に示す。

- 「第1の危機」、とりわけ埋め立てや護岸整備等の開発の影響が大きかった。
- 「第2の危機」では、ニホンジカによる湿原植生への食害が多く報告された。
- 「第3の危機」では、淡水魚類などに対して、依然として、国外外来種のオオクチバスの在来種への捕食圧が大きいほか、モツゴなど国内外来種による影響がでている湿地もあった。
- 「第4の危機」の割合が「第1の危機」に次いで大きく、地球温暖化による海水温の上昇が、とくに藻場やサンゴ礁に見られた。
- 第1から第4の危機とその他のうち2つ以上が主因となって、湿地環境の劣化を引き起こしている事例もあった。
- 「その他」では、とくに東北地方の湿地で、東日本大震災による津波と地盤沈下による影響が大きかった。



N=368

図1 湿地の劣化要因について

第1の危機：開発など人間活動による危機

第2の危機：自然に対する働きかけの縮小による危機

第3の危機：人間により持ち込まれたものによる危機

第4の危機：地球環境の変化による危機

※全湿地 961 湿地のうち、悪化傾向と判定された 524 湿地のうち、情報のあった湿地 368 湿地の集計

3. 生物分類群毎の劣化要因

(1) 分析方法

「1. 全国的な湿地の現状」における情報収集時に、「悪化傾向」にある湿地で、劣化の主たる要因について複数回答で情報収集をした。

(2) 分析結果

(a) 湿原植生 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 136 の湿地のうち、少なくとも約 5 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、湿地の乾燥化が生じているという報告が多く寄せられた。そのほか、開発工事（第 1 の危機）や外来種（第 3 の危機）が劣化要因となっている湿地もあった。具体的には、湿原の乾燥化が進むと分布を広げるササ類の影響や、全国で増加しているシカ類の食害や踏圧が報告されている。

- (ア) ササ類の分布拡大等による湿地の乾燥化（16 件）
- (イ) 開発工事（護岸工事やダム建設を含む）（6 件）
- (ウ) 外来種（オオハンゴンソウやアマゾントチカガミ、アメリカザリガニ等）（6 件）
- (エ) シカ類などによる食害や踏圧（6 件）
- (オ) 水質汚濁や富栄養化（4 件）
- (カ) 東日本大震災による津波と地盤沈下（3 件）
- (キ) 盗掘や過剰採取（2 件）
- (ク) その他（9 件）

(b) マングローブ湿地 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 37 の湿地では、湿地環境の顕著な悪化傾向の報告はあまり多くない（1 割未満）。しかし、マングローブ植生から陸上植物への植生変化などが生じているという報告が多く寄せられた。そのほか、土砂堆積・泥土流出や開発工事（第 1 の危機）が劣化要因として懸念されている湿地もあった。なお、本来の分布域にない国内起源あるいは国外起源の外来種が植栽され、在来のマングローブ湿地が劣化している事例があった。

- (ア) 植生変化（マングローブ湿地の陸地化が進みマングローブ種の正常な更新不良による陸上植物への遷移）（6 件）
- (イ) 泥土よりも粒径の大きい砂土などの堆積による陸地化、泥土流出による生育基盤ならびに土壌の劣化（6 件）
- (ウ) 護岸工事などの開発工事による消失（3 件）
- (エ) 国内から移入された外来種による劣化（3 件）
- (オ) 浸食（2 件）
- (カ) その他（2 件）

(c) 海草・海藻 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 129 の湿地のうち、少なくとも約 5 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、温暖化・高水温化の影響（第 4 の危機）が見られるという報告が多く寄せられた。これらの影響は、しばしば磯焼

けなどの現象とともに報告された。魚類による海藻の捕食や、開発工事に加えて、東北地方では津波の影響が見られる湿地もあった。

- (ア) 温暖化や高水温化 (16 件)
- (イ) 食害 (アイゴなど) (11 件)
- (ウ) 開発工事 (9 件)
- (エ) 水質汚濁 (7 件)
- (オ) 東日本大震災による津波と地盤沈下 (6 件)
- (カ) その他 (9 件)

(d)造礁サンゴ 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 31 の湿地のうち、少なくとも約 4 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、捕食者の増加、海水温の変動による影響が多く報告された (第 4 の危機)。そのほかにも、陸域からの赤土の流入と堆積が、サンゴ礁を劣化させる要因となっていた。ただし、この 10 数年で、衰退したサンゴ礁が回復傾向にある事例も報告された。

- (ア) 食害 (オニヒトデ、トゲレイシダマシ) (6 件)
- (イ) 温暖化や高水温化 (2 件)
- (ウ) 台風による生育地の劣化 (3 件)
- (エ) 赤土流入 (2 件)

(e)水草 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 55 の湿地のうち、少なくとも約 4 割で湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、水質汚濁にともなう富栄養化の進行、開発工事 (第 1 の危機) の影響が大きいという報告が多かった。また、外来種の繁茂 (第 3 の危機) や管理不足による植生遷移の進行と環境の悪化 (第 2 の危機) が劣化要因となっている湿地もあった。劣化が進むいくつかの湿地では、選定根拠となった種が消滅した湿地もあり、他の生物分類群に比べて再選定見送りの判定となった湿地が多かった。

- (ア) 水質汚濁や富栄養化 (7 件)
- (イ) 開発工事 (埋め立てによる農耕地化等) (4 件)
- (ウ) 外来種 (アメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメ、ボタンウキクサ等) (3 件)
- (エ) 管理不足による生息地の荒廃 (3 件)
- (オ) 水量減少や生育地の乾燥化 (4 件)

(f)淡水藻類 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 27 の湿地のうち、少なくとも約 6 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、開発工事 (第 1 の危機) のほ

か、外来種（第3の危機）や管理不足（第2の危機）など多岐にわたっていた。いくつかの湿地では、選定根拠となった種が見られなくなっている湿地もあった。ただし、水質や日射条件の改善に伴う生育状況の回復が認められた湿地もあった。

- (ア) 開発工事（2件）
- (イ) 外来種（ウチダザリガニ）（1件）
- (ウ) 管理不足による生育地の荒廃（1件）
- (エ) 水量減少（1件）
- (オ) その他（3件）

(g)シギ・チドリ類 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 54 の湿地のうち、少なくとも約 7 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、開発工事（第 1 の危機）の影響がとくに大きかった。具体的には、浚渫工事などの影響で、干潟の泥質が変化し、生息環境が変化したことにより渡来数が減少していることなどがモニタリングデータから明らかにされた。また、東日本大震災の津波の影響が劣化要因になっている湿地もあった。

- (ア) 開発工事（底質変化も含む）（15 件）
- (イ) 植生変化（2 件）
- (ウ) 干潟の浸食による生息地の減少（2 件）
- (エ) 東日本大震災による津波と地盤沈下（2 件）
- (オ) その他（9 件）

(h)ガンカモ類 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 60 の湿地のうち、少なくとも約 4 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、開発工事（第 1 の危機）の影響がとくに大きかった。また、津波の影響が劣化要因になっている湿地もあった。ただし、干拓地の一角に自然公園が作られ、生息地が確保されて改善傾向にある湿地もあった。

- (ア) 開発工事（4 件）
- (イ) 東日本大震災による津波と地盤沈下（2 件）
- (ウ) 生息地の乾燥化（1 件）
- (エ) その他（7 件）

(i)湿地性鳥類 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 35 の湿地のうち、少なくとも約 4 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、開発工事や土砂の堆積、利用者の増加（いずれも第 1 の危機）が原因になっている湿地があった。具体的には、高速道路建設などに伴い、生息地が狭められている事例があった。

- (ア) 開発工事（2件 ナベヅル・マナヅル）
- (イ) 土砂堆積（1件 タンチョウ）
- (ウ) 利用者増加（1件 ベニアジサシ・エリグロアジサシ）
- (エ) その他（1件 オオセッカ）

(j)淡水魚類 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 73 の湿地のうち、少なくとも約 8 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、開発工事（第 1 の危機）が、外来種の影響（第 3 の危機）とともに大きかった。また、乱獲（第 1 の危機）が劣化要因となっている湿地もあった。なお、選定の根拠となった種が確認されていない湿地もあった。

- (ア) 開発工事（護岸工事、圃場整備、宅地開発等）（18 件）
- (イ) 外来種（オオクチバス、ブルーギル等）（17 件）
- (ウ) 管理不足による生育地の荒廃（ため池・水田等の管理）（11 件）
- (エ) マニア・業者による乱獲（5 件）
- (オ) 観光客による生息地の過剰利用（4 件）
- (カ) 台風や集中豪雨による生息地の劣化（3 件）
- (キ) 東日本大震災による津波と地盤沈下（2 件）
- (ク) その他（11 件）

(k)爬虫両生類 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 25 の湿地のうち、少なくとも約 8 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、開発工事（第 1 の危機）のほか、生息地の乾燥化や、管理不足（第 2 の危機）が原因となっている湿地があった。具体的には、生息地である湿原植生が貧弱になり、夏季に乾燥化することなどで、生息環境が悪化している事例が報告された。

- (ア) 開発工事（5 件）
- (イ) 生息地の乾燥化（4 件）
- (ウ) 管理不足による生育地の荒廃（2 件）
- (エ) 観光客増加等に伴う生息地の踏みつけ（2 件）
- (オ) その他（7 件）

(l)ウミガメ 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 12 の湿地のうち、少なくとも約 8 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、付近の開発工事に起因する砂

浜の浸食の影響が大きい湿地があった。「その他」には、産卵場での過剰な観光利用により、繁殖が妨げられている事例や、タヌキによる卵の食害の事例が含まれる。

- (ア) 開発工事 (2件)
- (イ) 砂浜の浸食による繁殖場の減少 (2件)
- (ウ) その他 (5件)

(m)昆虫類 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 112 の湿地のうち、少なくとも約 5 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、外来種の影響 (第 3 の危機) のほか、開発工事 (第 1 の危機) や生息地の乾燥化の影響が見られる湿地が多かった。そのほか、植生変化や採集圧 (第 1 の危機) の影響が見られる湿地が多かった。ただし、湿地現況の情報が得られなかった湿地もあり、悪化傾向にある湿地の割合がこれよりも多い可能性がある。

- (ア) 外来種 (アメリカザリガニ、オオクチバス、ブルーギル等) (17件)
- (イ) 開発工事 (15件)
- (ウ) 生息地の乾燥化 (13件)
- (エ) 植生変化 (10件)
- (オ) 乱獲など採集圧の増加 (9件)
- (カ) 水質汚濁や富栄養化 (2件)
- (キ) 管理不足による生育地の荒廃 (2件)
- (ク) その他 (6件)

(n)甲殻類 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 17 の湿地のうち、少なくとも約 5 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、植生変化や、開発工事 (第 1 の危機) が影響している湿地があった。具体的には、道路工事に伴う土砂の流入により、生息環境が悪化している場合があった。

- (ア) 植生変化 (2件)
- (イ) 開発工事 (2件)
- (ウ) 外来種 (1件)
- (エ) その他 (6件)

(o)淡水貝類 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた 50 の湿地のうち、少なくとも約 6 割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、開発工事や水量変化、水質汚

濁など（第1の危機）の影響が大きかった。また、外来種の影響（第3の危機）、湖底の溶存酸素の減少や底質の変化などにより、生息環境が悪化している場合もあった。

- (ア) 開発工事（5件）
- (イ) 水量変化（4件）
- (ウ) 水質汚濁と富栄養化（3件）
- (エ) 外来種（ヌートリア、オオクチバス等）（2件）
- (オ) 溶存酸素の不足（2件）
- (カ) その他（13件）

(p)底生動物 「日本の重要湿地 500」に選ばれていた108の湿地のうち、少なくとも約7割で、湿地環境の悪化傾向が見られた。劣化の要因について、開発工事に加えて、東北地方では津波の影響が多く報告された。ただし、津波により生息環境が劣化した湿地でも、種の多様性が回復しつつあるところもあった。

- (ア) 開発工事（21件）
- (イ) 東日本大震災による津波と地盤沈下（13件）
- (ウ) 水質汚濁や富栄養化（4件）
- (エ) 外来種（サキグロタマツメタ）（4件）
- (オ) 土砂流入もしくは土砂減少（3件）
- (カ) 台風や集中豪雨による生息地の劣化（3件）
- (キ) その他（12件）

4. 悪化傾向にある湿地の改善策

今回の見直しでは、悪化傾向にある湿地であるにもかかわらず、新規・再選定された湿地が多かった。これは、劣化の程度が軽微であるからということではなく、現状では、劣化の程度が著しい状況であっても、回復の可能性がある湿地については、重要湿地として再選定とする方針としたことによる。今後、地域において保全・再生の気運が醸成されることと、その成果が現れることを期待してのことである。

今後の課題は、悪化傾向にある湿地の改善を如何に効果的・効率的に進めるかのステージに移る。劣化要因を絞り込み、適切に課題設定をしたうえで改善策を進めれば、湿地環境の回復の道筋が開ける。実際、「日本の重要湿地 500」に選定された静岡県の巴川麻機遊水地、福井県の三方五湖、広島県の八幡湿原などの重要湿地において、地域の多様な主体が参加する自然再生協議会が立ち上がり、自然再生の取り組みが進められた結果、環境改善に成功した事例もある。また、ヨシ原を適切に管理することで昆虫類の生息地が回復し

た例や、サトウキビ畑からの赤土の流出を抑えてサンゴ礁を守る取り組み例もある。さらには、大阪府の高安地域のように初めは小規模なニッポンバラタナゴの保全活動であっても、地域による森林やため池の自然再生へと発展した例もある。他方、地域が主体となって身近な自然を再生する「小さな自然再生」の推進も重要であり、全国的な展開が期待される。

今回得られた湿地の現況情報や分析結果などを踏まえて、湿地に関する施策の基礎資料として活用するだけでなく、積極的に湿地の保全・再生の取り組みを支援していくことが望まれる。また、継続的なモニタリング等の保全活動が必要となることから、悪化傾向にある湿地を対象に、地域の NPO や企業の CSR 活動など民間企業や地域住民の協力を組み込んだ仕組みづくりも重要である。

[参考] よくある質問

1. 生物多様性の観点から重要度の高い湿地（日本の重要湿地 500）の見直しについて

Q 1：生物多様性の観点から重要度の高い湿地（以下、重要湿地とする。）の選定経緯は。

A： 「日本の重要湿地 500」が平成 13 年度に公表され、すでに 10 数年が経過しています。この間、東日本大震災の影響、人的開発行為等に伴う湿地環境の劣化、地球温暖化や外来種の問題などが顕在化しており、現状を踏まえた見直しの必要性が高まりました。また、自然環境保全の制度も法改正や制度の見直しが進んでおり、「生物多様性国家戦略 2012-2020」では、「日本の重要湿地 500 の見直し」が基本戦略の一つに盛り込まれ、湿地の保全・再生の取り組みを推進することが掲げられております。

Q 2：「共通の選定基準」を満たしていても、選定されていない湿地があるのでは。

A： 平成 26 年度の「重要湿地見直し検討会」を通じて、「共通の選定基準」や「生物分類群毎の選定の考え方」を設定して、全国的な視点から生物多様性の重要度に鑑みて選定しており、基準を満たしていても、今回選定されなかった湿地もあります。

Q 3：県や市町が指定している自然環境保全地区等が選定されていないのでは。

A： 生物多様性の観点から「共通の選定基準」や「生物分類群毎の選定の考え方」を設け全国的な視点に立って選定されており、各地方自治体が指定している自然環境保全区域と必ずしも一致するものではありません。

Q 4：選定されている湿地範囲がよくわからないので詳しい位置情報を示してもらいたい。

A： 選定されている湿地の範囲を詳しく示すと、絶滅危惧種の乱獲リスクが高まることなどを考慮して、湿地範囲を示す詳細な位置情報図は示さないこととしております。

2. 重要湿地に選定されることについて

Q 5：農業、水産業、林業などの生業や開発行為などについて何か制約を受けるか。

A： これに選定されることによって、特段に法的な制約が発生するものではありません。生物多様性の観点から重要性を鑑みて湿地を選定しており、湿地の保全と再生の取り組みを推進することに役立てたいと考えております。

Q 6：重要湿地に選定されていることによって補助金等の優遇措置があるのか。

A： 重要湿地に選定されることで、環境省が行う補助事業などの優遇措置は特段設けられておりませんが、施策等を検討する際の基礎資料として活用される可能性はあります。

Q 7：重要湿地の追加や削除をしてもらえないか。

A：原則として、各分野の専門家により構成される検討委員会を通じて、できるだけ公平・公正な選定を行っており、原則的に追加や削除することへ対応することはできません。ただし、乱獲リスクが高まるなど生物多様性の観点から特段の事情がある場合には、検討委員会の委員に確認して、適宜修正することもあります。

Q 8：絶滅危惧種の情報が公表されており乱獲リスクがあるのではないか。

A：絶滅危惧種の乱獲リスクは、種名と位置情報がセットになった場合に、増大します。種名等の公開にあたっては、各生物分類群の有識者による全国的な視点での判断に加え、地方自治体による地域的な視点での意見を参考にしております。他方、絶滅危惧種がいることで、その湿地の保全が推進される事例もあることも考慮しております。

3. 今後について

Q 9：次回、重要湿地の見直しを行う予定は。

A：次回の見直し時期については未定です。将来的に湿地環境や生物多様性に大きな変化が見られた場合には、状況を踏まえて見直すことも検討します。

5. その他

Q 10：情報収集にあたって、現地調査は実施しているか。

A：とくに情報が不足している湿地のうち、マングローブ2ヶ所、海草・海藻1ヶ所、シギ・チドリ類1ヶ所、ガンカモ類1ヶ所、昆虫類13ヶ所、甲殻類1ヶ所、底生動物3ヶ所の計22ヶ所において、現地調査を実施しています。

Q 11：湿地環境の劣化が著しい湿地が選定されているのでは。

A：「共通の選定基準」や「生物分類群毎の選定の考え方」を設けて、専門的知見のある検討委員により選定しており、劣化状況が著しいものの、回復可能性を期待して再選定した湿地もあります。今後、地域において保全・再生の気運が醸成され、その効果が発現することを期待しております。

Q 12：重要湿地における湿地とは。

A：今回の重要湿地の見直しにおいては、高層湿原、中間湿原、低層湿原、雪田草原、河川、淡水湖沼、汽水湖沼、汽水域、干潟、塩性湿地、藻場、砂浜、浅海域、サンゴ礁、マングローブ湿地、水田、休耕田、ため池、水路、湧水、湧水湿地、その他湿地の22の生態系タイプに分類して、これらに該当するものを湿地としております。